



エッジゲートウェイシリーズ
GUI ユーザーズマニュアル



ライセンスおよび商標

ライセンス

本製品では、GPL（GNU General Public License）等のオープンソースライセンスに基づくソフトウェアを使用しています。詳細については、当社 Web サイトに記載しております。

[オープンソースソフトウェア使用許諾条件書\(amnimo X/G/R シリーズ\)](#)

[オープンソースソフトウェア使用許諾条件書\(amnimo C シリーズ\)](#)

- 保証の範囲と対応責任
本製品において、GPL 等の条項に従いオープンソースソフトウェアそのものの動作に関しては、保証を行いません。

商標

- 本文中に使われている商品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

目次

| | |
|--------------------------------|----|
| ライセンスおよび商標..... | 2 |
| ライセンス..... | 2 |
| 商標..... | 2 |
| 目次..... | 3 |
| はじめに..... | 8 |
| ネットワーク構成..... | 9 |
| 本製品について..... | 10 |
| マニュアルの対象ファームウェアバージョン..... | 10 |
| 本製品に関するご注意..... | 10 |
| 本書について..... | 11 |
| 本書に関するご注意..... | 11 |
| マニュアル一覧..... | 11 |
| 本書で使用しているアイコンと記号..... | 12 |
| 対応機種の見かた..... | 12 |
| GUI の動作確認済み環境..... | 13 |
| Chap 1 本製品の基本操作..... | 14 |
| 1.1 サインイン／サインアウトする..... | 14 |
| 1.1.1 初回にサインインする..... | 14 |
| 1.1.2 2回目以降にサインインする..... | 16 |
| 1.1.3 サインアウトする..... | 17 |
| 1.2 パスワードを変更する..... | 18 |
| 1.3 本製品の画面構成..... | 19 |
| 1.3.1 画面構成..... | 19 |
| 1.3.2 サイドメニュー..... | 20 |
| 1.4 簡易設定をする..... | 23 |
| 1.4.1 一般的な通信キャリアを選択して設定する..... | 23 |
| 1.4.2 その他の通信キャリアを選択して設定する..... | 27 |
| 1.5 機器情報を確認する..... | 28 |
| 1.5.1 機器情報の表示操作をする..... | 28 |
| 1.5.2 モバイルモジュール情報を更新する..... | 29 |
| 1.5.3 SIM 情報を更新する..... | 30 |
| 1.5.4 機器情報画面の表示項目..... | 31 |

| | | |
|--------|---------------------|----|
| 1.6 | 運用情報を確認する | 33 |
| 1.6.1 | インターフェイスのステータスを確認する | 33 |
| 1.6.2 | ルーティングテーブルの情報を確認する | 34 |
| 1.6.3 | モバイル回線の通信ステータスを確認する | 35 |
| 1.6.4 | 無線 LAN 情報を確認する | 37 |
| 1.6.5 | IPsec の接続状態を確認する | 41 |
| 1.6.6 | DHCP のリース状況を確認する | 43 |
| 1.6.7 | ストレージの設定状況を確認する | 44 |
| 1.6.8 | PoE の状況を確認する | 53 |
| 1.6.9 | 接点変化履歴を確認する | 56 |
| 1.6.10 | SYSLOG の表示操作をする | 59 |
| 1.6.11 | AMLOG の表示操作をする | 62 |
| 1.6.12 | 本製品の時刻を確認する | 65 |
| 1.7 | 本製品を再起動・停止する | 66 |
| 1.7.1 | 本製品を再起動する | 66 |
| 1.7.2 | 本製品をシャットダウンする | 68 |
| 1.8 | ファームウェアを操作する | 70 |
| 1.8.1 | ファームウェア画面を表示する | 71 |
| 1.8.2 | ファームウェアの差分を更新する | 72 |
| 1.8.3 | ファームウェア全体を更新する | 75 |
| 1.8.4 | 冗長エリアを同期する | 84 |
| 1.9 | 設定ファイルの操作をする | 86 |
| 1.9.1 | 設定ファイル画面を表示する | 86 |
| 1.9.2 | 現在の設定内容を本製品に保存する | 87 |
| 1.9.3 | 設定ファイルを初期化する | 88 |
| 1.9.4 | 設定ファイルをダウンロードする | 89 |
| 1.9.5 | 設定ファイルをアップロードする | 91 |
| 1.10 | アムニモ診断情報をダウンロードする | 93 |
| 1.10.1 | アムニモ診断情報をダウンロードする | 93 |
| 1.11 | ユーザーズマニュアルを閲覧する | 94 |
| 1.11.1 | ユーザーズマニュアルを表示する | 94 |
| Chap 2 | 本製品の詳細設定 | 95 |
| 2.1 | パッケージリポジトリを設定する | 95 |
| 2.1.1 | パッケージリポジトリの一覧を表示する | 95 |
| 2.1.2 | パッケージリポジトリを追加する | 97 |
| 2.1.3 | パッケージリポジトリを編集する | 99 |

| | | |
|-------|----------------------------|-----|
| 2.1.4 | パッケージリポジトリを削除する | 100 |
| 2.2 | ホスト名を設定する | 102 |
| 2.3 | タイムゾーンを設定する | 103 |
| 2.4 | アカウント設定をする | 104 |
| 2.4.1 | アカウントの一覧を表示する | 104 |
| 2.4.2 | アカウントを追加する | 105 |
| 2.4.3 | アカウントを編集する | 107 |
| 2.4.4 | アカウントを削除する | 109 |
| 2.5 | グループ設定をする | 111 |
| 2.5.1 | グループの一覧を表示する | 111 |
| 2.5.2 | グループを追加する | 112 |
| 2.5.3 | グループを編集する | 114 |
| 2.5.4 | グループを削除する | 115 |
| 2.6 | モバイル通信設定をする | 117 |
| 2.6.1 | モバイル通信設定の一覧を表示する | 117 |
| 2.6.2 | モバイル通信設定を追加する | 118 |
| 2.6.3 | モバイル通信設定を編集する | 126 |
| 2.6.4 | モバイル通信設定を削除する | 127 |
| 2.7 | 無線 LAN 設定をする | 129 |
| 2.7.1 | WPS を設定する | 129 |
| 2.7.2 | アクセスポイント設定の一覧を表示する | 131 |
| 2.7.3 | アクセスポイント設定を追加する | 131 |
| 2.7.4 | アクセスポイント設定を編集する | 134 |
| 2.7.5 | アクセスポイント設定を削除する | 135 |
| 2.7.6 | ステーション設定の一覧を表示する | 137 |
| 2.7.7 | ステーション設定を追加する | 138 |
| 2.7.8 | ステーション設定を編集する | 140 |
| 2.7.9 | ステーション設定を削除する | 141 |
| 2.8 | PPP(PPPoE)設定をする | 143 |
| 2.8.1 | PPP(PPPoE)設定の一覧を表示する | 143 |
| 2.8.2 | PPP(PPPoE)設定を追加する | 144 |
| 2.8.3 | PPP(PPPoE)設定を編集する | 146 |
| 2.8.4 | PPP(PPPoE)設定を削除する | 147 |
| 2.9 | インターフェイス設定をする | 149 |
| 2.9.1 | インターフェイス設定の一覧を表示する | 149 |
| 2.9.2 | インターフェイスを追加する | 150 |
| 2.9.3 | インターフェイスを編集する | 161 |

| | | |
|--------|------------------------------|-----|
| 2.9.4 | インターフェイスを削除する | 162 |
| 2.10 | スタティックルーティング設定をする | 164 |
| 2.10.1 | スタティックルーティング設定の一覧を表示する | 164 |
| 2.10.2 | スタティックルーティング設定を追加する | 165 |
| 2.10.3 | スタティックルーティング設定を編集する | 167 |
| 2.10.4 | スタティックルーティング設定を削除する | 168 |
| 2.11 | フィルター設定をする | 170 |
| 2.11.1 | フィルター設定の一覧を表示する | 170 |
| 2.11.2 | デフォルトポリシーを設定する | 171 |
| 2.11.3 | パケットフィルタリングのルールを追加する | 172 |
| 2.11.4 | パケットフィルタリングのルールを編集する | 176 |
| 2.11.5 | パケットフィルタリングのルールを削除する | 177 |
| 2.12 | NAT 設定をする | 179 |
| 2.12.1 | NAT 設定の一覧を表示する | 179 |
| 2.12.2 | NAT 設定を追加する | 180 |
| 2.12.3 | NAT 設定を編集する | 183 |
| 2.12.4 | NAT 設定を削除する | 184 |
| 2.13 | IPsec 設定をする | 186 |
| 2.13.1 | IPsec 設定の一覧を表示する | 186 |
| 2.13.2 | IPsec 設定を追加する | 187 |
| 2.13.3 | IPsec 設定を編集する | 194 |
| 2.13.4 | IPsec 設定を削除する | 195 |
| 2.14 | DNS 設定をする | 197 |
| 2.14.1 | DNS 設定を表示する | 197 |
| 2.14.2 | DNS 設定をする | 198 |
| 2.15 | DHCP サーバー設定をする | 206 |
| 2.15.1 | DHCP サーバー設定の一覧を表示する | 206 |
| 2.15.2 | DHCP サーバー設定を追加する | 207 |
| 2.15.3 | DHCP サーバー設定を編集する | 209 |
| 2.15.4 | DHCP サーバー設定を削除する | 210 |
| 2.16 | DHCP リレー設定をする | 212 |
| 2.16.1 | DHCP リレー設定の一覧を表示する | 212 |
| 2.16.2 | DHCP リレー設定を追加する | 213 |
| 2.16.3 | DHCP リレー設定を編集する | 215 |
| 2.16.4 | DHCP リレー設定を削除する | 216 |
| 2.17 | プロキシサーバー設定をする | 218 |
| 2.18 | 時刻を設定する | 220 |

| | | |
|------------|--------------------------|-----|
| 2.18.1 | 時刻の設定画面を表示する | 220 |
| 2.18.2 | 手動で時刻を設定する | 221 |
| 2.18.3 | NTP サーバーと定期的に同期する | 225 |
| 2.19 | SSH の設定をする | 228 |
| 2.20 | ストレージ設定をする | 231 |
| 2.20.1 | ストレージの一覧を表示する | 231 |
| 2.20.2 | ストレージ設定を追加する | 232 |
| 2.20.3 | ストレージ設定を編集する | 234 |
| 2.20.4 | ストレージ設定を削除する | 235 |
| 2.21 | スケジュールを設定する | 237 |
| 2.21.1 | スケジュールの一覧を表示する | 237 |
| 2.21.2 | スケジュールを追加する | 239 |
| 2.21.3 | スケジュールの設定項目 | 242 |
| 2.21.4 | スケジュールを編集する | 246 |
| 2.21.5 | スケジュールを削除する | 248 |
| 2.22 | PoE 設定をする | 252 |
| 2.22.1 | PoE 設定の一覧を表示する | 252 |
| 2.22.2 | PoE 設定を編集する | 253 |
| 2.22.3 | PoE 設定を初期化する | 254 |
| 2.23 | SYSLOG の設定をする | 256 |
| 2.24 | CPU 動作設定をする | 258 |
| 2.24.1 | CPU 動作設定を表示する | 258 |
| 2.24.2 | CPU 動作設定をする | 258 |
| 2.25 | DMS 設定をする | 259 |
| 2.25.1 | DMS 設定を表示する | 259 |
| 2.25.2 | DMS 設定を有効化/無効化する | 259 |
| 2.26 | Nx Witness 設定をする | 260 |
| 2.26.1 | Nx Witness 設定を表示する | 260 |
| 2.26.2 | Nx Witness 設定を変更する | 261 |
| 2.26.3 | Nx Witness 設定を保存する | 262 |
| 2.26.4 | Nx Witness 設定を読み込む | 263 |
| 2.27 | remote.it の設定をする | 264 |
| 2.28 | GUI の設定をする | 266 |
| 改訂履歴 | | 268 |

はじめに

このたびは当社の AI エッジゲートウェイ amnimo X series (以下「AI エッジゲートウェイ」)、エッジゲートウェイ amnimo G series (以下「エッジゲートウェイ」)、IoT ルーター amnimo R series (以下、「IoT ルーター」)、コンパクトルーター amnimo C series (以下、「コンパクトルーター」) をご採用いただき、誠にありがとうございます (以下、上記当社シリーズ製品を「本製品」と呼びます)。

amnimo エッジゲートウェイシリーズ GUI ユーザーズマニュアル (以下「本書」) は、GUI (Graphical User Interface) による本製品の基本的な操作方法について説明したマニュアルです。

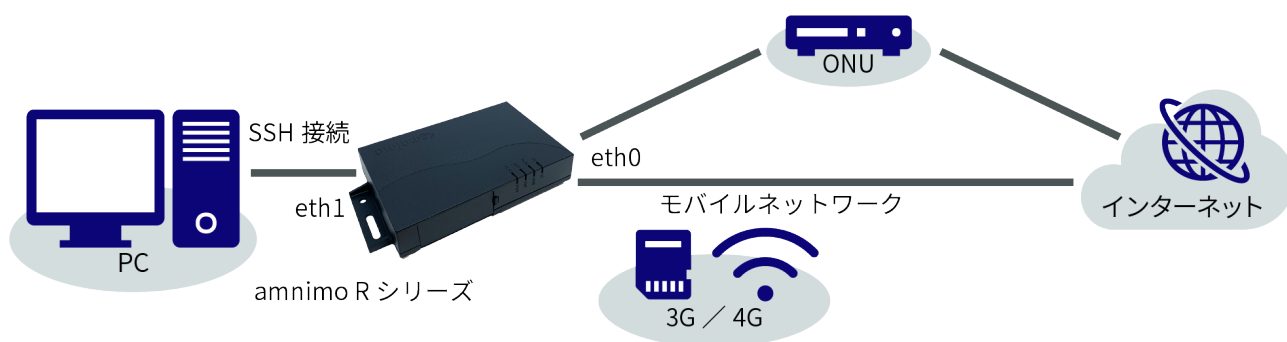
本書は、電気通信の用語と概念を理解しているシステムインテグレーターや管理者を対象としています。

本製品の機能を活かし、正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みになり、機能や操作内容を十分に理解され、取り扱いに慣れていただきますようお願いいたします。

ネットワーク構成

本書では、以下のようなネットワーク構成で、LAN ケーブルで PC と本製品を接続し、Web ブラウザーを用いて各種設定をする方法について説明しています。

→ CLI (Command Line Interface) で設定する方法については、『[エッジゲートウェイシリーズ CLI ユーザーズマニュアル](#)』を参照してください。



GUI 設定画面にサインインして設定するためには、本製品と PC が同一ネットワークに所属している必要があります。ご利用の PC の IP アドレスを、本製品の eth1 の IP アドレス「192.168.0.254」にあわせて変更してください。

→ IP アドレスの変更方法については、お使いの OS のマニュアルなどを参照してください。



- エッジゲートウェイの場合、PC と接続するポートは **lan0～lan3** のいずれかとなります。
- AI エッジゲートウェイの場合、PC と接続するポートは **lan0～lan3** のいずれか、ONU と接続するポートは **wan0** となります。

本製品について

マニュアルの対象ファームウェアバージョン

本マニュアルでは以下のバージョンのファームウェアをベースに記載しています。

| 製品 | ファームウェアバージョン |
|---|--------------|
| AI エッジゲートウェイ  | 2.4.2 |
| エッジゲートウェイ   | |
| IoT ルーター   | |
| コンパクトルーター屋内タイプ  | 2.5.0 |
| 無線 LAN 搭載コンパクトルーター 屋内タイプ  | |
| 無線 LAN 搭載コンパクトルーター 屋外タイプ  | |

本製品に関するご注意

- 本製品は、設定データの低位互換を保証していません。

本書について

本書に関するご注意

- 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気づきのことがありましたら、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

連絡先： アムニモカスタマーサポート

E-mail : support@amnimo.com

URL : <https://support.amnimo.com/>

- 機能／性能上とくに支障がないと思われる仕様変更、構造変更、および使用部品の変更については、その都度の改訂はしない場合がありますのでご了承ください。

マニュアル一覧

全般

- [amnimo ゲートウェイシリーズ GUI ユーザーズマニュアル](#) (本書)
- [amnimo ゲートウェイシリーズ CLI ユーザーズマニュアル](#)
- [デバイス管理システムマニュアル](#)

amnimo X/G/R シリーズ




- [amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo X シリーズ AI エッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [amnimo G シリーズ エッジゲートウェイユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo G シリーズ エッジゲートウェイスタートアップガイド](#)
- [amnimo R シリーズ IoT ルーターユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo R シリーズ IoT ルータースタートアップガイド](#)
- [amnimo ゲートウェイシリーズデベロッパーズマニュアル](#) (amnimo G/X シリーズのみ)
- [エッジゲートウェイシリーズオープンソースソフトウェア使用許諾条件書](#)

amnimo C シリーズ

- [amnimo C シリーズ コンパクトルーターユーザーズマニュアル](#)
- [amnimo C シリーズ コンパクトルータースタートアップガイド](#)
- [コンパクトルーターCシリーズオープンソースソフトウェア使用許諾条件書](#)

本書で使用しているアイコンと記号









本書のアイコンと記号には、以下の意味があります。

| | |
|---|-----------------------------|
|  | 機能や操作に関して、特に注意する情報を記載しています。 |
|  | 機能や操作に関して、補足的な情報を記載しています。 |
|  | 本書内や他の文書への参照情報を記載しています。 |

対応機種の見かた

本書は、複数の機種に対応しています。以下に、対応機種のアイコンを示します。

- 章または節の先頭に以下のアイコンが表記されている場合、その章または節で説明している機種に対応しています。
- 節または項の先頭に以下のアイコンが表記されていない場合、属する章または節のアイコン表記の機種に対応しています。

| | |
|---|---|
|  | 屋内タイプの AI エッジゲートウェイに対応していることを表しています。 |
|  | 屋内タイプのエッジゲートウェイに対応していることを表しています。 |
|  | 屋外タイプのエッジゲートウェイに対応していることを表しています。 |
|  | 屋内タイプの IoT ルーターに対応していることを表しています。 |
|  | 屋外タイプの IoT ルーターに対応していることを表しています。 |
|  | 屋内タイプのコンパクトルーターに対応していることを表しています。 |
|  | 屋内タイプの無線 LAN 搭載コンパクトルーターに対応していることを表しています。 |
|  | 屋外タイプの無線 LAN 搭載コンパクトルーターに対応していることを表しています。 |

GUI の動作確認済み環境

| OS | ブラウザ | 動作確認バージョン |
|---------------------------|----------------|-----------------------|
| Windows10 Pro2004 (64bit) | Google Chrome | 124.0.6367.61 (64bit) |
| Windows10 Pro20H2 (64bit) | Microsoft Edge | -* |
| Windows10 Pro20H1 (64bit) | Firefox | -* |
| mac OS big Sur 11.6 | Safari | -* |
| | Google Chrome | -* |
| | Firefox | -* |

※今後のリリースにて対応予定

Chap 1 本製品の基本操作



この章では、本製品へのサインイン／サインアウト、再起動、ファームウェアや設定ファイルの操作といった基本操作について説明します。

1.1 サインイン／サインアウトする

本製品にサインインする手順は、初回の場合と、2回目以降の場合で異なります。

1.1.1 初回にサインインする

初回にサインインする場合は、admin のパスワードを設定したあとにサインインします。

操作手順

- 1 ブラウザーを起動し、本製品の GUI 設定画面の URL にアクセスします。

<http://192.168.0.254>

「パスワード登録」画面が表示されます。

- 2 「パスワード」と「パスワード（確認用）」に admin に設定したいパスワードを入力して、[登録] ボタンをクリックします。



パスワードには、以下の条件にあてはまる文字列を設定してください。

- 8文字以上
- 英大文字、英小文字、数字、記号の2種類以上を含む

また、上記の条件を満たすパスワードでも、以下の条件にあてはまる場合、設定することはできません。

- 辞書に含まれる単語（例：test）
- 数字やアルファベットのキーボード配列（例：1234、abcde、qwert）などの規則性がある言葉
- 上記の組み合わせ（例：test1234）



admin のパスワードが設定され、「サインイン」画面が表示されます。

- 3 「ユーザー名」に「admin」、「パスワード」に手順 2 で設定したパスワードを入力して、[サインイン] ボタンをクリックします。



本製品へのサインインが完了すると、以下のロゴ画面が表示されます。



1.1.2 2回目以降にサインインする

2回目以降にサインインする場合は、初回に設定したパスワードを入力します。

操作手順

- 1 ブラウザーを起動し、本製品の GUI 設定画面の URL にアクセスします。
<http://192.168.0.254>
「サインイン」画面が表示されます。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、[サインイン] ボタンをクリックします。



本製品へのサインインが完了すると、以下のロゴ画面が表示されます。



1.1.3 サインアウトする

本製品の GUI 設定画面からサインアウトします。

操作手順

- 1 画面右上に表示されているアカウント名をクリックし、[サインアウト] を選択します。



サインアウトの「確認」画面が表示されます。

- 2 [サインアウト] ボタンをクリックします。



GUI 設定画面からサインアウトし、「サインイン」画面が表示されます。

1.2 パスワードを変更する

パスワードの変更手順について説明します。

操作手順

- 1 画面右上に表示されているアカウント名をクリックし、[パスワード] を選択します。



パスワード設定画面が表示されます。

- 2 現在のパスワードと、新しいパスワードを入力し、[設定] をクリックします。



パスワードが変更されます。

サインアウトされることなく、引き続き操作は可能です。

1.3 本製品の画面構成

本製品の基本的な画面構成とサイドメニューについて説明します。

1.3.1 画面構成

画面に表示される内容や設定項目、制御項目は、サインインしているユーザーの権限によって異なります。

→ ユーザーの権限については、『2.4 アカウント設定をする』や『2.5 グループ設定をする』を参照してください。

参考画面



| No. | 項目 | 説明 |
|-----|--------------|---|
| ① | サイドメニュー表示ボタン | クリックすると、⑤のサイドメニューを隠したり、表示したりできます。 |
| ② | ホスト名 | 本製品のホスト名が表示されます。 |
| ③ | 言語 | 現在の言語設定が表示されます。 クリックして、英語と日本語を切り替えることができます。 |
| ④ | アカウント名 | サインインしているユーザーのアカウント名が表示されます。 クリックすると、[サインアウト]を選択することができます。 → 『1.1.3 サインアウトする』 |
| ⑤ | サイドメニュー | 本製品を操作するためのメニューが表示されます。 → 『1.3.2 サイドメニュー』 |
| ⑥ | メインエリア | クリックすると、⑤のサイドメニューで選択したメニューに応じた画面が表示されます。 |

1.3.2 サイドメニュー



グループ設定の権限によって表示される項目が異なります。

| メニュー | サブメニュー | 説明 |
|---------|--|--|
| 簡易設定 | — | 本製品を動かすために必要なモバイル通信やインターフェイスの設定を 1 つの画面で行うために用意されているメニューです。 → 『1.4 簡易設定をする』 |
| 機器情報 | — | 機器情報やファームウェアの情報を表示するためのメニューです。SIM 情報を確認することもできます。 → 『1.5 機器情報を確認する』 |
| 運用情報 | インターフェイス | インターフェイスの設定を表示させるためのメニューです。 → 『1.6.1 インターフェイスのステータスを確認する』 |
| | ルーティング | ルーティングの設定を表示させるためのメニューです。 → 『1.6.2 ルーティングテーブルの情報を確認する』 |
| | モバイル通信 | モバイル通信の設定を表示させるためのメニューです。 → 『1.6.3 モバイル回線の通信ステータスを確認する』 |
| | 無線 LAN | 無線 LAN の設定を表示させるためのメニューです。 → 『1.6.4 無線 LAN 情報を確認する』 |
| | IPsec | IPsec の接続状況を確認するためのメニューです。 → 『1.6.5 IPsec の接続状態を確認する』 |
| | DHCP リース | DHCP のリース状況を確認するためのメニューです。 → 『1.6.6 DHCP のリース状況を確認する』 |
| | ストレージ | ストレージの設定を表示させるためのメニューです。パーティションの追加をすることも出来ます。 → 『1.6.7 ストレージの設定状況を確認する』 |
| | PoE | PoE の設定を表示するためのメニューです。各インターフェイスの PoE リセットを行うこともできます。 → 『1.6.8 PoE の状況を確認する』 |
| | 接点変化履歴 | 接点変化履歴を確認するためのメニューです。 → 『1.7.8 接点変化履歴を確認する』 |
| | SYSLOG | SYSLOG を表示するためのメニューです。キーワードを指定して SYSLOG を検索したり、SYSLOG ファイルをダウンロードしたりすることができます。 → 『1.6.10 SYSLOG の表示操作をする』 |
| | AMLOG | AMLOG を表示するためのメニューです。キーワードを指定して AMLOG を検索したり、AMLOG ファイルをダウンロードしたりすることができます。 → 『1.6.11 AMLOG の表示操作をする』 |
| 時刻表示 | 本製品に設定されている時刻を表示するためのメニューです。 → 『1.6.12 本製品の時刻を確認する』 | |
| 詳細設定・制御 | パッケージリポジトリ設定 | パッケージリポジトリの認証情報を設定するための画面を表示します。 → 『2.1 パッケージリポジトリを設定する』 |

| メニュー | サブメニュー | 説明 |
|------|----------------|---|
| | ホスト名設定 | 本製品のホスト名を設定するための画面を表示します。 → 『2.2 ホスト名を設定する』 |
| | タイムゾーン | 本製品のタイムゾーンを設定するための画面を表示します。 → 『2.3 タイムゾーンを設定する』 |
| | アカウント設定 | アカウントの設定をするための画面を表示します。 → 『2.4 アカウント設定をする』 |
| | グループ設定 | グループの設定をするための画面を表示します。 → 『2.5 グループ設定をする』 |
| | モバイル通信設定 | モバイルの通信設定をするための画面を表示します。 → 『2.6 モバイル通信設定をする』 |
| | 無線 LAN 設定 | 無線 LAN の設定をするための画面を表示します。 → 『2.7 無線 LAN 設定をする』 |
| | PPP(PPPoE)設定 | PPP(PPPoE)設定をするための画面を表示します。 → 『2.8 PPP(PPPoE)設定をする』 |
| | インターフェイス設定 | インターフェイスの設定をするための画面を表示します。 → 『2.9 インターフェイス設定をする』 |
| | スタティックルーティング設定 | スタティックルーティング設定をするための画面を表示します。 → 『2.10 スタティックルーティング設定をする』 |
| | フィルター設定 | フィルター設定をするための画面を表示します。 → 『2.11 フィルター設定をする』 |
| | NAT 設定 | NAT 設定をするための画面を表示します。 → 『2.12 NAT 設定をする』 |
| | IPsec 設定 | IPsec 設定をするための画面を表示します。 → 『2.12 IPsec 設定をする』 |
| | DNS 設定 | DNS 設定をするための画面を表示します。 → 『2.14 DNS 設定をする』 |
| | DHCP 設定 | DHCP 設定をするための画面を表示します。 → 『2.15 DHCP サーバー設定をする』 |
| | DHCP リレー設定 | DHCP リレー設定をするための画面を表示します。 → 『2.15 DHCP リレー設定をする』 |
| | プロキシサーバー設定 | プロキシサーバー設定をするための画面を表示します。 → 『2.16 プロキシサーバー設定をする』 |
| | 時刻設定 | 本製品の時刻を設定するための画面を表示します。 → 『2.18 時刻を設定する』 |
| | SSH 設定 | 本製品に SSH でアクセスする際の設定画面を表示します。 → 『2.19 SSH の設定をする』 |
| | ストレージ設定 | ストレージの設定画面を表示します → 『2.20 ストレージ設定をする』 |
| | スケジュール設定 | 本製品のスケジュール設定をするための画面を表示します。 → 『2.21 スケジュールを設定する』 |
| | PoE 設定 | PoE の設定画面を表示します → 『2.22 PoE 設定をする』 |
| | SYSLOG 設定 | 本製品の SYSLOG の設定をするための画面を表示します。 → 『2.23 SYSLOG の設定をする』 |

| メニュー | サブメニュー | 説明 |
|------------|------------------|--|
| | CPU 動作設定 | CPU 動作設定の画面を表示します → 『2.24 CPU 動作設定をする』 |
| | DMS 設定 | DMS 設定画面を表示します → 『2.25 DMS 設定をする』 |
| | Nx Witness 設定 | Nx Witness の設定画面を表示します → 『2.26 Nx Witness 設定をする』 |
| | remote.it の設定をする | remote.it の設定画面を表示します → 『2.26 remote.it の設定をする』 |
| | GUI 設定 | 本製品を GUI で設定するための設定画面を表示します。 → 『2.28 GUI の設定をする』 |
| 再起動 | — | 本製品を再起動するための画面を表示します。 → 『1.7 本製品を再起動・停止する』 |
| ファームウェア | — | 本製品のファームウェアを更新するための画面を表示します。 → 『1.8 ファームウェアを操作する』 |
| 設定ファイル | — | 本製品の設定ファイルを操作するための画面を表示します。 → 『1.9 設定ファイルの操作をする』 |
| ユーザーズマニュアル | — | ユーザーズマニュアルを表示します → 『1.10 ユーザーズマニュアルを閲覧する』 |

1.4 簡易設定をする



この機能を利用するには、管理者としてサインインする必要があります。
通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

本製品を使用するために必要なモバイル通信やインターフェイスなどの設定を、1つの画面で行うことができます。

なお、簡易設定をすると、DNSの設定およびフィルター設定が自動で適用されます。設定内容は簡易設定の「設定」ボタンをクリックしたときの確認画面に表示されます。

1.4.1 一般的な通信キャリアを選択して設定する

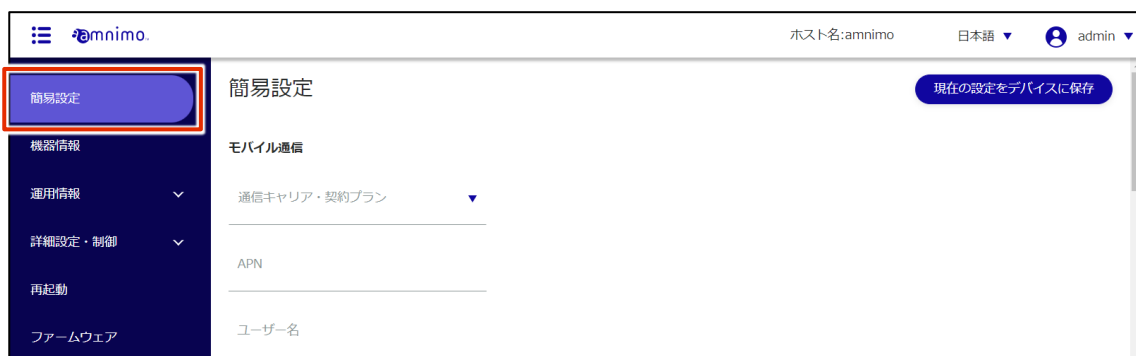
登録されている通信キャリアを選択して、簡易的な設定をします。

→ 登録されていない通信キャリアの設定をする場合は、『1.4.2 その他の通信キャリアを選択して設定する』を参照してください。

操作手順

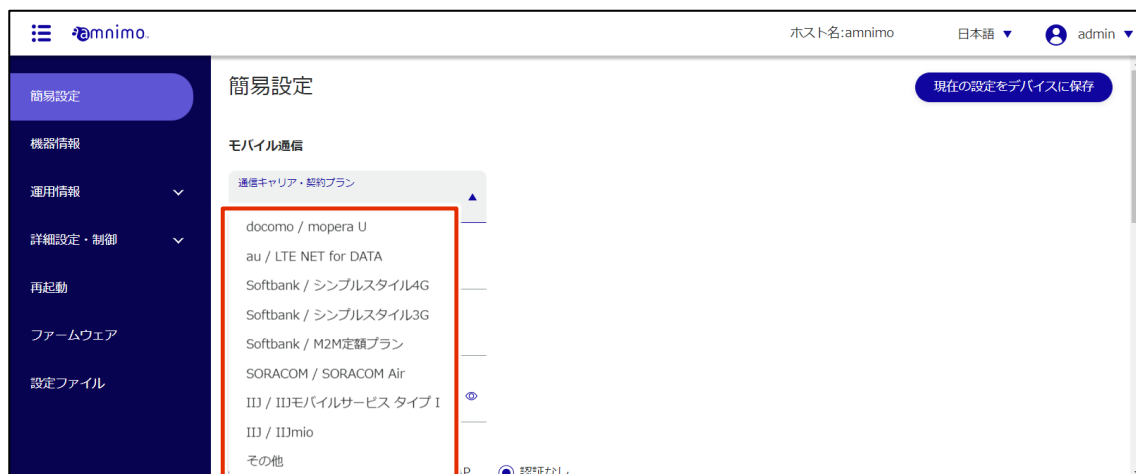
1 サイドメニューの「簡易設定」をクリックします。

「簡易設定」画面が表示されます。



2 モバイル通信設定の「通信キャリア・契約プラン」から登録済みの通信キャリアまたは契約プランを選択します。

選択した通信キャリアまたは契約プランに応じて、「APN名」「アカウント」「パスワード」「認証方式」が自動的に設定されます。



3 環境に応じて、インターフェイスの設定をします。



設定可能なインターフェイス名は、製品によって異なります。

- AI エッジゲートウェイ
ecm0、wan0、br0
- エッジゲートウェイ
ecm0、eth0、br0
- IoT ルーター
ecm0、eth0、eth1
- コンパクトルーター屋内タイプ
rmnet_data0、eth0
- 無線 LAN 搭載コンパクトルーター
rmnet_data0、br0

- 1 モバイル通信の際に必要な「ecm0」（コンパクトルーターの場合は、「rmnet_data0」に読み換えてください）の設定をします。
トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
また、必要に応じて、「動的 SNAT」にチェックを付けます。
- 2 WAN 接続の際に必要な「eth0」の設定をします。
トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
「IP アドレス」を割り当てる方法として、「DHCP クライアント」または「固定 IP アドレス」を選択します。「固定 IP アドレス」を選択した場合は、「IP アドレス」と「ネットマスク」を入力する必要があります。
また、必要に応じて、「動的 SNAT」にチェックを付けます。
- 3 LAN 接続の際に必要な「br0」の設定をします。
トグルをクリックして、有効または無効に設定します。
「IP アドレス」を割り当てる方法として、「DHCP クライアント」または「固定 IP アドレス」を選択します。「固定 IP アドレス」を選択した場合は、「IP アドレス」と「ネットマスク」を入力する必要があります。
また、必要に応じて、「動的 SNAT」にチェックを付けます。

The screenshot shows the 'mnimo' web interface with the following settings:

- ecm0:**
 - 有効 (Enabled)
 - ダイナミックSNAT
- eth0:**
 - 有効 (Enabled)
 - IPアドレス: DHCPクライアント 固定IPアドレス
 - ダイナミックSNAT
- br0:**
 - 有効 (Enabled)
 - IPアドレス: DHCPクライアント 固定IPアドレス
 - IPv4アドレス: 192.168.0.254
 - プレフィックス長: 24
 - ダイナミックSNAT

- 4 必要に応じて、パッケージリポジトリの認証情報として「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。



- コンパクトルーターには、この設定は表示されません。
- パッケージリポジトリのアカウントとパスワードについては、弊社サポートにお問い合わせください。

amnimo ホスト名:amnimo 日本語 admin

パッケージリポジトリの認証情報

ユーザー名
user

パスワード
.....

DMS
 有効

NxWitness
 有効

- 5 DMS の設定をします。トグルをスライドして、DMS を有効または無効に設定します。

amnimo ホスト名:amnimo 日本語 admin

パッケージリポジトリの認証情報

ユーザー名
user

パスワード
.....

DMS
 有効

NxWitness

- 6 NxWitness の設定をします。トグルをスライドして、NxWitness を有効または無効に設定します。



- IoT ルーター、コンパクトルーターは NxWitness には対応していないため、この設定は表示されません。
- NxWitness を有効に設定した場合、必要に応じて「ポート番号」と「パスワード」設定をします。

amnimo ホスト名:amnimo 日本語 admin

パッケージリポジトリの認証情報

ユーザー名
user

パスワード
.....

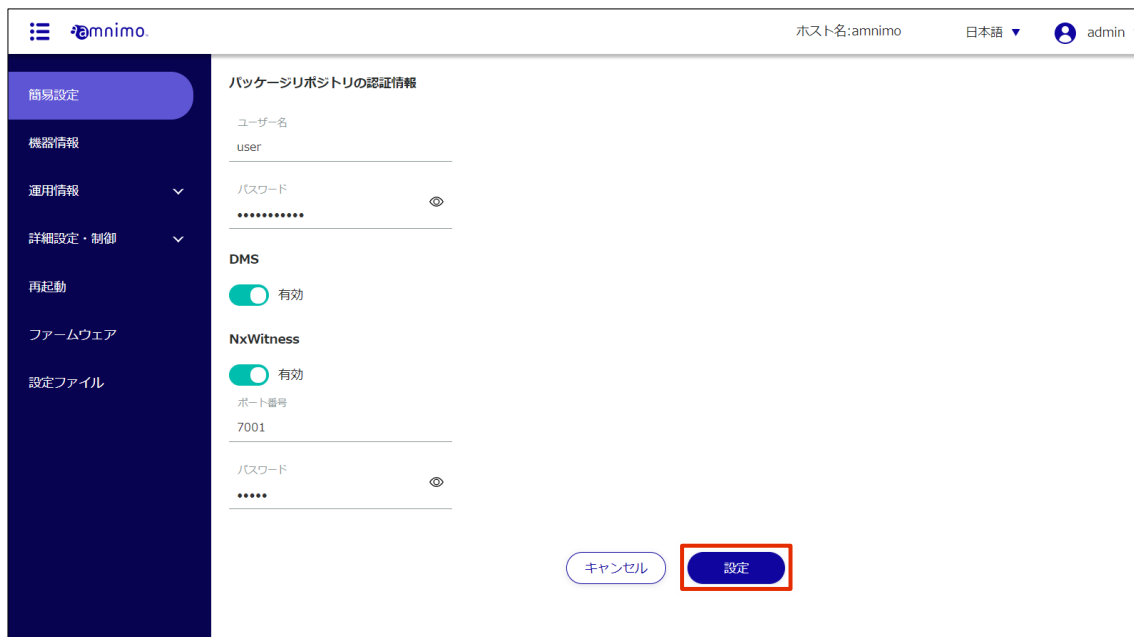
DMS
 有効

NxWitness
 有効

ポート番号
7001

パスワード
.....

- 7 画面を一番下までスクロールし、[設定] ボタンをクリックします。



設定の確認画面が表示されます。

- 8 [設定] ボタンをクリックします。



簡易設定画面で指定した内容が本体に設定されます。

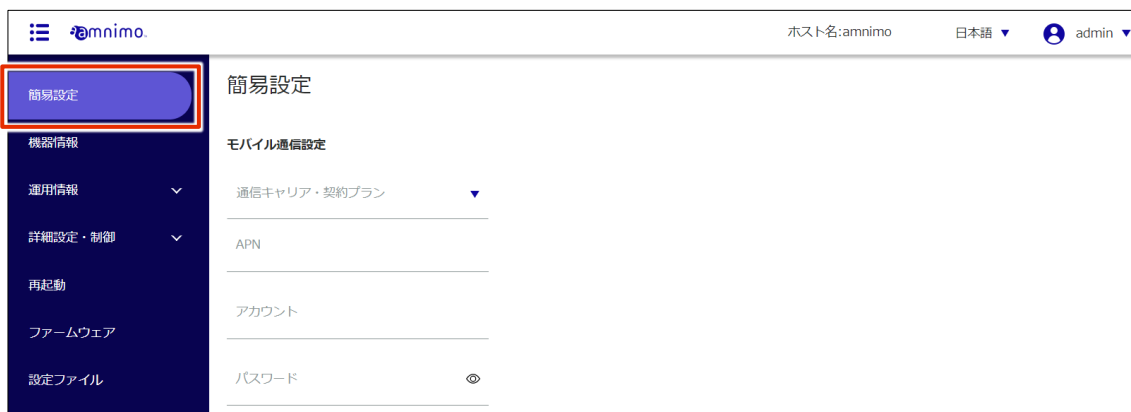
1.4.2 その他の通信キャリアを選択して設定する

利用している通信キャリアが一覧にない場合、以下の手順で設定することができます。

操作手順

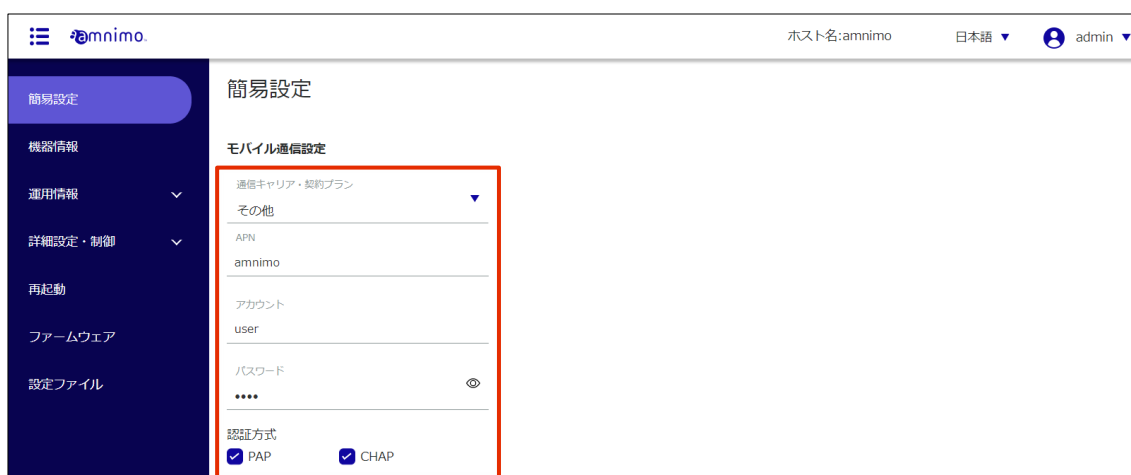
- 1 サイドメニューの「簡易設定」をクリックします。

「簡易設定」画面が表示されます。



- 2 モバイル通信の設定をします。

- ① モバイル通信設定の「通信キャリア・契約プラン」から「その他」を選択します。
- ② APN 名を入力します。
- ③ 選択した通信キャリアまたは契約プランのアカウントを入力します。
- ④ 選択した通信キャリアまたは契約プランのパスワードを入力します。
- ⑤ 認証方式として [PAP] または [CHAP] にチェックを付けます。



➔ 以降の「パッケージリポジトリの認証情報」「インターフェイス」「DMS」「NxWitness」の設定については、『1.4.1 一般的な通信キャリアを選択して設定する』の手順 4 以降を参照してください。

1.5 機器情報を確認する

本製品の機器情報、ファームウェアのバージョン、および SIM 情報は、「機器情報」画面で確認することができます。



- グループ設定の権限によって表示される項目が異なります。

1.5.1 機器情報の表示操作をする

機器情報を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「機器情報」をクリックします。

「機器情報」画面が表示されます。

➔ 表示される情報については、『1.5.4 機器情報画面の表示項目』を参照してください。



- 2 最新の機器情報を表示したい場合は、「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。



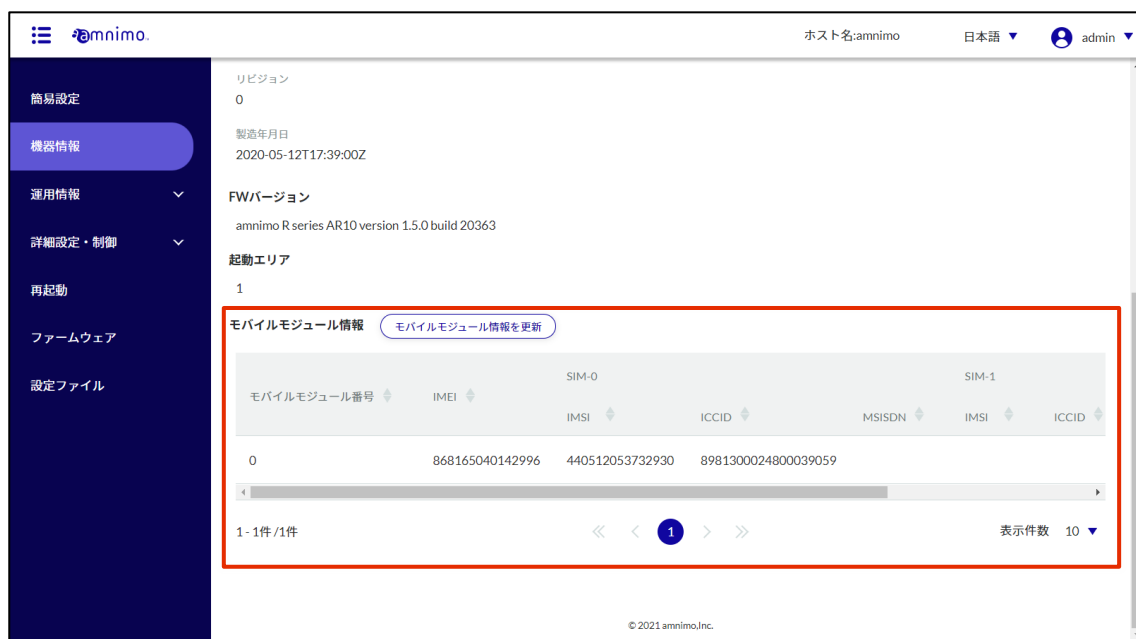
機器情報が更新されます。

1.5.2 モバイルモジュール情報を更新する

「機器情報」画面からモバイルモジュール情報の確認や、更新をすることができます。

操作手順

- 1 「機器情報」画面を下方向にスクロールすることで、「モバイルモジュール情報」を確認することができます。



- 2 モバイルモジュール情報が正しく反映されていない場合、「モバイルモジュール情報を更新」ボタンをクリックすることで表示内容を更新することができます。

モバイルモジュール情報を更新することで、SIM 情報も全て更新されます。



1.5.3 SIM 情報を更新する

「機器情報」画面から SIM 情報の確認や、更新をすることができます。

操作手順

- 1 「機器情報」画面を下方方向にスクロールし、「モバイルモジュール情報」に表示されているモバイルモジュールの「SIM 情報」をクリックします。



「SIM 情報」画面が表示されます。

- 2 最新の SIM 情報を表示したい場合は、「SIM 情報を更新」ボタンをクリックします。



- SIM 情報は最新ではない可能性があります。最新の SIM 情報は、SIM 情報を更新したあとにご確認ください。
- ecm0 インターフェイスが有効な状態で SIM 情報を更新すると、エラーが表示されます。その場合、「インターフェイス設定」画面で ecm0 を無効に設定（参考：2.8.3 インターフェイスを編集する）したあとに SIM 情報を更新し、再度「インターフェイス設定」画面で ecm0 を設定し直してください。



ecm0 経由で本機器にアクセスしている場合は、ecm0 を無効にするとアクセス出来なくなりますのでご注意ください。



SIM 情報が更新されます。

1.5.4 機器情報画面の表示項目

「機器情報」画面に表示される項目について説明します。

The screenshot shows the '機器情報' (Device Information) page. The left sidebar contains navigation options like '簡易設定', '機器情報', '運用情報', etc. The main content area is titled '機器情報' and includes a '最新の情報に更新' button. The device information is displayed in a list format, with the following items highlighted by red boxes and numbered callouts:

- 1**: 機器情報 (Device Information) section, containing: 製造組織 (amnimo), ボード (AR10), シリーズ名 (R), モデル (AR10-010JP-10), シリアル番号 (000065), リビジョン (0), 製造年月日 (2020-05-12T17:39:00Z).
- 2**: FWバージョン (FW Version) section, containing: amnimo R series AR10 version 1.5.0 build 20363.
- 3**: 起動エリア (Startup Area) section, containing: 1.
- 4**: モバイルモジュール情報 (Mobile Module Information) table, containing:

| モバイルモジュール番号 | IMEI | SIM-0 IMSI | ICCID | SIM-1 MSISDN | IMSI | ICCID |
|-------------|-----------------|-----------------|---------------------|-----------------|------|-------|
| 0 | 868165040142996 | 440512053732930 | 8981300024800039059 | | | |

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|----------|--|
| ① | 機器情報 | 以下の機器情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 製造組織 ● ボード ● シリーズ名 ● モデル ● シリアル番号 ● リビジョン ● 製造年月日 |
| ② | FW バージョン | 本製品のファームウェア情報が表示されます。 → ファームウェアの更新方法については、『1.8 ファームウェアを操作する』を参照してください。 |
| ③ | 起動エリア | 現在起動している冗長領域の起動エリアの番号 (0 または 1) が表示されます。 |

| No. | 項目 | 説明 |
|-----|-------------|---|
| 4 | モバイルモジュール情報 | <p>以下のモバイルモジュール情報が表示されます。</p> <p>複数のモバイルモジュールが接続されている場合、複数ページに渡って表示されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">● モバイルモジュール番号 モバイルモジュール番号が表示されます。● IMEI モバイルモジュールの IMEI が表示されます。● ICCID SIM または eSIM の ICCID (IC Card Identifier : 個別識別番号) が表示されます。● MSISDN SIM または eSIM に MSISDN (Mobile Subscriber ISDNNumber : 電話番号) が設定されている場合、「msisdn MSISDN」と表示されます。契約によって MSISDN が設定されていない場合があります。● SIM 情報 クリックすると、SIM 情報が表示されます。 <p>➔ SIM 情報については、『1.5.3 SIM 情報を更新する』を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● FW バージョン モバイルモジュールのファームウェアバージョンが表示されます。 <p>※コンパクトルーター (amnimo C シリーズ) のみに表示。</p> |

1.6 運用情報を確認する

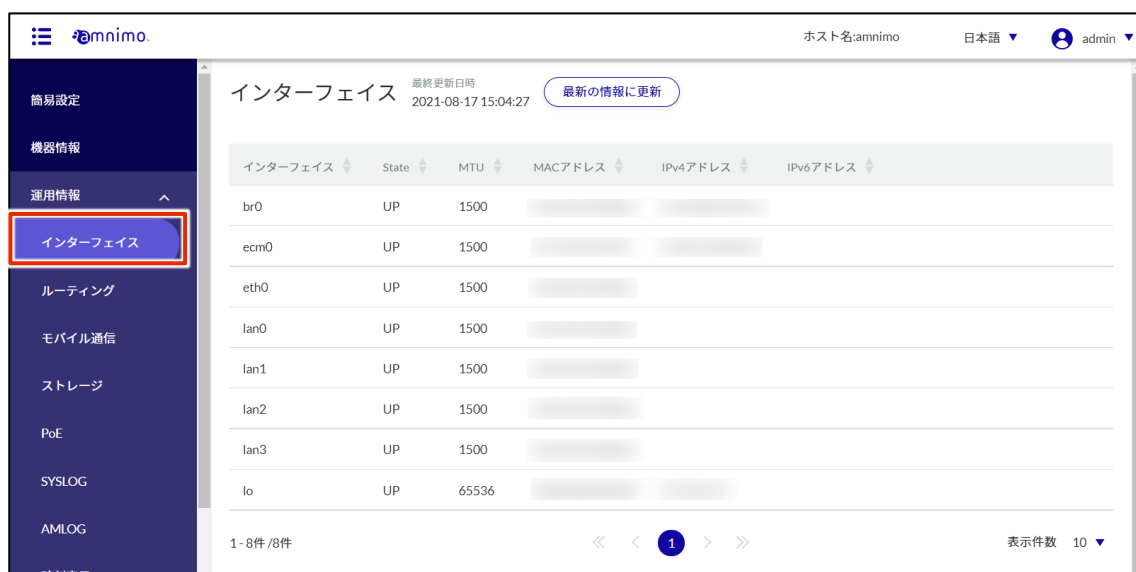
本製品に保存されているログや時刻を確認することができます。

1.6.1 インターフェイスのステータスを確認する

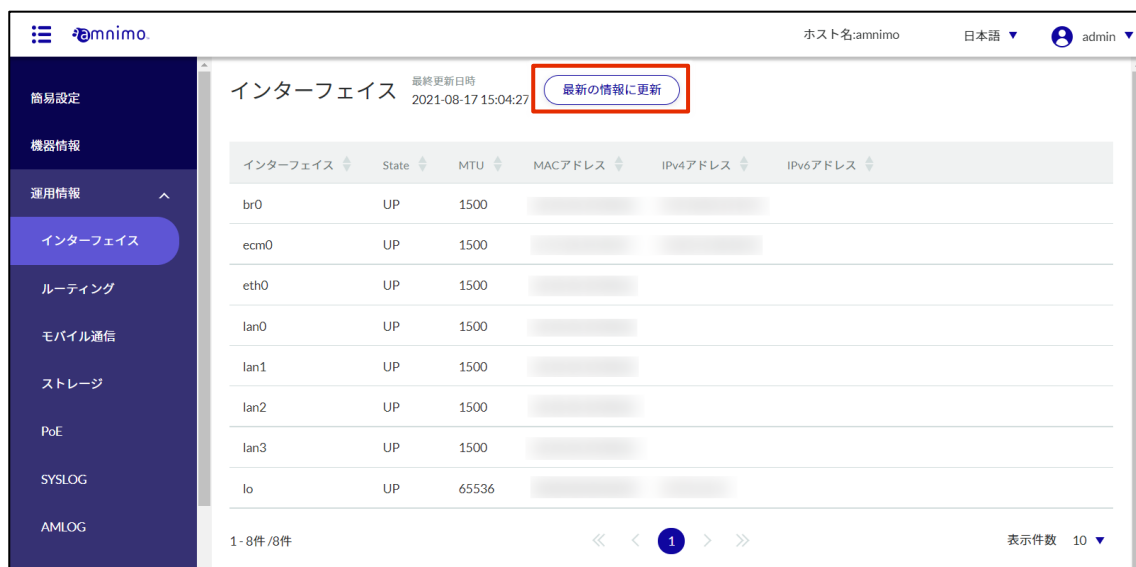
インターフェイスのステータスを確認することができます。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [インターフェイス] をクリックします。
[インターフェイス] 画面が表示されます。



- 2 画面に表示されているインターフェイス設定を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



1.6.2 ルーティングテーブルの情報を確認する



AI エッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ) では「種別」の情報が表示されません。

ルーティングテーブルの情報（ルーティング処理の際に参照される経路情報）を確認することができます。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [ルーティング] をクリックします。
[ルーティング] 画面が表示されます。

| 種別 | ステータス | 宛先ネットワーク | ゲートウェイアドレス | メトリック | インターフェイス |
|--------|-------|----------------|------------|-------|-------------|
| スタティック | ● 使用中 | 0.0.0.0/0 | 0.0.0.0 | 20 | rmnet_data0 |
| 直接接続 | ● 使用中 | | 0.0.0.0 | | rmnet_data0 |
| 直接接続 | ● 使用中 | | 0.0.0.0 | | lo |
| 直接接続 | ● 使用中 | 192.168.0.0/24 | 0.0.0.0 | | eth0 |

- 2 画面に表示されているルーティングテーブルの情報を最新の状態に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

| 種別 | ステータス | 宛先ネットワーク | ゲートウェイアドレス | メトリック | インターフェイス |
|--------|-------|----------------|------------|-------|-------------|
| スタティック | ● 使用中 | 0.0.0.0/0 | 0.0.0.0 | 20 | rmnet_data0 |
| 直接接続 | ● 使用中 | | 0.0.0.0 | | rmnet_data0 |
| 直接接続 | ● 使用中 | | 0.0.0.0 | | lo |
| 直接接続 | ● 使用中 | 192.168.0.0/24 | 0.0.0.0 | | eth0 |

1.6.3 モバイル回線の通信ステータスを確認する



通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

モバイル回線の通信ステータスを確認します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [モバイル通信] をクリックします。

「モバイル通信」画面が表示されます（下図の例）。

モバイル接続が未接続の場合は、[未接続状態] を知らせる画面が表示されます。

The screenshot displays the 'モバイル通信' (Mobile Communication) page in the amnimo management interface. The page title is 'モバイル通信' with a '最終更新日時' (Last Updated Time) of '2024-01-23 13:37:04' and a '最新の情報に更新' (Update to latest information) button. The left sidebar menu is visible, with 'モバイル通信' highlighted. The main content area lists the following parameters and values:

| 項目 | 値 |
|---------------|------------------|
| インターフェイス | rmnet_data0 |
| モバイルモジュール番号 | 0 |
| モバイルモジュール名 | ME3630-AC |
| モバイルモジュールの設定名 | WizardMagic |
| モバイルセッション名 | WizardMagic |
| SIM番号 | 0 |
| アクセスポイント名 | m2m4biz.softbank |
| モバイルモジュールの状態 | connected |
| 通信継続時間(分) | 189.9 |
| RAT | E-UTRAN |
| EARFCN | 1675 |
| BAND | 3 |
| MCC | 440 |
| MNC | 20 |
| TAC | 6155 |
| CELLID | 27230721 |
| PCI | 373 |
| RSSI | -70.8 |
| RSRP | -96.2 |
| RSRQ | -8.0 |
| SINR | 10.0 |

- 2 画面に表示されている通信ステータスを最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



1.6.4 無線 LAN 情報を確認する



AI エッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター屋内タイプ (AC10) には、この機能はありません。

無線 LAN の情報を確認する

無線 LAN 情報や詳細情報を確認します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [無線 LAN] をクリックします。

「無線 LAN」画面が表示されます (下図の例)。



「アクセスポイントモード」で動作している場合、画面下部には「接続ステーション一覧」として、本デバイスに接続されているステーションが表示されます。

「ステーションモード」で動作している場合、画面下部には「アクセスポイント一覧」として、本デバイスが接続可能なアクセスポイントが表示されます。

| インターフェイス名 | モード | 状態 | SSID | 無線チャンネル | 接続ステーション数 | |
|-----------|----------|---------|------------|---------|-----------|----------------------|
| wlan0 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-2G- | 4 | 1 | 詳細情報 |
| wlan1 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-5G- | 44 | 0 | 詳細情報 |

接続ステーション一覧

| <input type="checkbox"/> | MACアドレス | 接続インターフェイス | |
|--------------------------|-------------------|------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | a8:6d:aa:04:a3:71 | wlan0 | 切断 |

- 2 画面に表示されている情報を最新の状態に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

| インターフェイス名 | モード | 状態 | SSID | 無線チャンネル | 接続ステーション数 | |
|-----------|----------|---------|------------|---------|-----------|----------------------|
| wlan0 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-2G- | 4 | 1 | 詳細情報 |
| wlan1 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-5G- | 44 | 0 | 詳細情報 |

接続ステーション一覧

| <input type="checkbox"/> | MACアドレス | 接続インターフェイス | |
|--------------------------|-------------------|------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | a8:6d:aa:04:a3:71 | wlan0 | 切断 |

- 3 無線 LAN の詳細情報を確認したい場合は、各インターフェイス右側の [詳細情報] をクリックします。



- 4 「無線 LAN 詳細情報」画面が表示され、詳細情報（インターフェイス名、モード、状態、無線チャンネル、SSID、BSSID、接続ステーション数）、パケットカウンターを確認することができます。



- 5 接続ステーション一覧にて「切断」をクリックすることで、コンパクトルーターに接続されているステーションとの接続を切断することができます。



「アクセスポイントモード」で動作している場合の機能です。

無線LAN 最終更新日時: 2023-05-29 15:09:33 [最新の情報に更新](#)

無線LAN WPS

無線LAN情報

| インターフェイス名 | モード | 状態 | SSID | 無線チャンネル | 接続ステーション数 | |
|-----------|----------|---------|------------|---------|-----------|----------------------|
| wlan0 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-2G- | 12 | 1 | 詳細情報 |
| wlan1 | アクセスポイント | ENABLED | amnimo-5G- | 48 | 0 | 詳細情報 |

接続ステーション一覧 [切断](#)

| <input type="checkbox"/> | MACアドレス | 接続インターフェイス | |
|--------------------------|-------------------|------------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | a8:6d:aa:04:a3:71 | wlan0 | 切断 |

接続ステーション一覧にて「接続」をクリックすることで、設定済の他のアクセスポイントへ接続切替を行うことができます。



「ステーションモード」で動作している場合の機能です。

無線LAN 最終更新日時: 2023-05-29 15:26:19 [最新の情報に更新](#)

無線LAN

無線LAN情報

| インターフェイス名 | モード | 状態 | SSID | 無線チャンネル | 認証方式 | |
|-----------|--------|-----------|------|---------|----------|----------------------|
| wlan0 | ステーション | COMPLETED | | 112 | WPA2-PSK | 詳細情報 |

アクセスポイント一覧

| SSID | 状態 | |
|------|-------|--------------------|
| | ● 接続中 | 接続 |
| | ○ 未接続 | 接続 |

WPS を実行する

WPS を実行します。

操作手順

- 1 「無線 LAN」画面で、[WPS] タブをクリックします。
「WPS」画面が表示されます。



- 2 WPS を実行します。



- WPS は、無線 LAN 搭載コンパクトルーターが「アクセスポイントモード」として動作する際、接続に使用することが出来ます。「ステーションモード」として他のアクセスポイントへ接続する際には使用出来ません。
- 「PIN コード方式」を使用する際は、接続されるステーション側で生成した PIN コードを入力する必要があります。
- WPS を使用した接続方法については『[amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド](#)』を参照してください。

- 1 設定方式を選択します。
- 2 待ち受け時間を入力します。
- 3 [実行] をクリックします。



1.6.5 IPsec の接続状態を確認する



あらかじめ、IPsec 設定の実施が必要です。

→ 設定方法については、『2.13 IPsec 設定をする』を参照してください。

IPsec の接続状態や詳細情報を確認します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [IPsec] をクリックします。

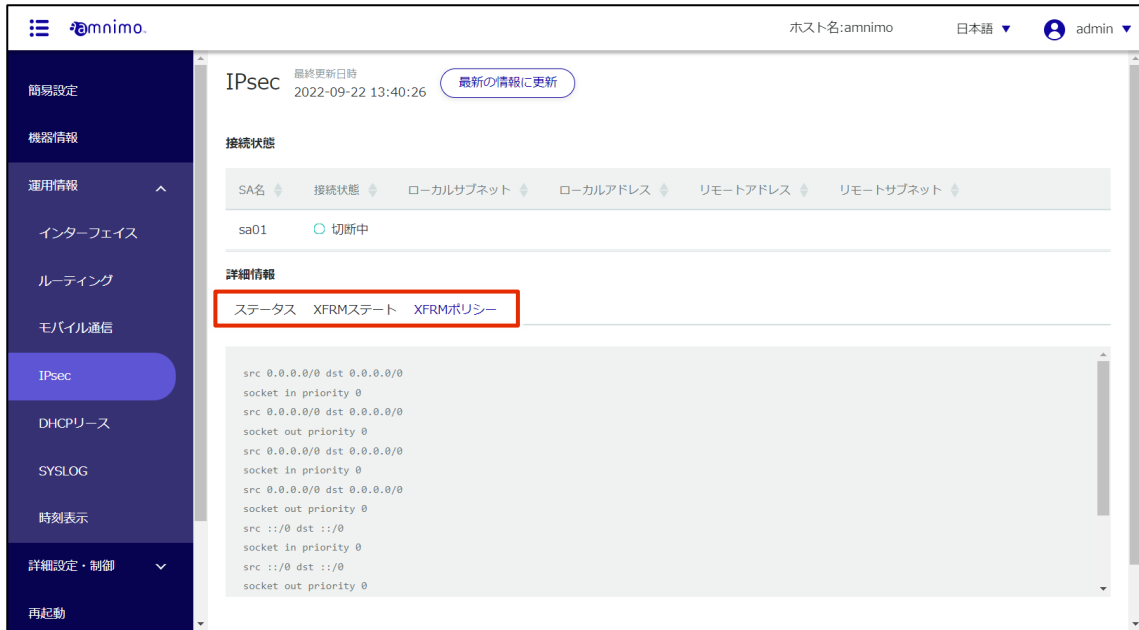
「IPsec」画面が表示されます（下図の例）。

The screenshot shows the IPsec configuration page. The left sidebar has a menu with 'IPsec' highlighted. The main content area displays the IPsec status for 'sa01' as '切断中'. A button labeled '最新の情報に更新' is located at the top right of the main content area.

- 2 画面に表示されている情報を最新の状態に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

The screenshot shows the IPsec configuration page with the '最新の情報に更新' button highlighted by a red box. The status of 'sa01' remains '切断中'. The '最新の更新日時' (Latest update time) is now 2022-09-22 13:40:26.

- 3 詳細情報にてタブを切り替えることで、ステータスや XFRM ステート、ポリシーを確認することが出来ます。



The screenshot displays the IPsec configuration page in the amnimo web interface. The page title is "IPsec" and it shows the last update time as "2022-09-22 13:40:26". A button labeled "最新の情報に更新" (Update latest information) is visible. The "接続状態" (Connection Status) section shows the SA name "sa01" and its status as "切断中" (Disconnected). The "詳細情報" (Detailed Information) section is active, with tabs for "ステータス" (Status), "XFRMステート" (XFRM State), and "XFRMポリシー" (XFRM Policy). The "ステータス" tab is selected, displaying a list of socket configurations:

```
src 0.0.0.0/0 dst 0.0.0.0/0
socket in priority 0
src 0.0.0.0/0 dst 0.0.0.0/0
socket out priority 0
src 0.0.0.0/0 dst 0.0.0.0/0
socket in priority 0
src 0.0.0.0/0 dst 0.0.0.0/0
socket out priority 0
src ::/0 dst ::/0
socket in priority 0
src ::/0 dst ::/0
socket out priority 0
```

1.6.6 DHCP のリース状況を確認する



この機能を使用するためには、該当のインターフェイスにおける DHCP サーバー設定が必要です。
 → 設定方法については、『2.14 DNS 設定をする』を参照してください。

DHCP サーバー設定したインターフェイスからリースされている、IP アドレスの状況を確認します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [DHCP リース] をクリックします。

「DHCP リース」画面が表示されます（下図の例）。



コンパクトルーターの場合、「manufacturer」は表示されません。

| インターフェイス | MAC | IP | hostname | valid until | manufacturer |
|----------|-----|--------------|----------|---------------------|--------------|
| eth0 | | 192.168.1.20 | -NA- | 2022-04-28 19:25:07 | amnimo Inc. |

- 2 画面に表示されている DHCP リース状況を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

| インターフェイス | MAC | IP | hostname | valid until | manufacturer |
|----------|-----|--------------|----------|---------------------|--------------|
| eth0 | | 192.168.1.20 | -NA- | 2022-04-28 19:25:07 | amnimo Inc. |

1.6.7 ストレージの設定状況を確認する



IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター (amnimo C シリーズ) には、この機能はありません。

ストレージの使用状況の表示や、ストレージのマウント/アンマウントなどの操作について説明します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [ストレージ] をクリックします。
「ストレージ」画面が表示されます。



- 2 画面に表示されているストレージ設定を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



パーティションを追加する

パーティションを新規に追加します。

操作手順

- 1 「ストレージ」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「パーティション作成」画面が表示されます。

- 2 パーティションの作成をします。

- 1 デバイスを選択します。

- 2 パーティション番号を 2~9 の範囲で選択します。

- 3 パーティションタイプを選択します。

Linux・・・Linux 標準のパーティションタイプです。デフォルトで設定されています。
fat32・・・FAT32 (LBA) のパーティションタイプです。Windows で使用する場合は、こちらを選択する必要があります。

- 4 パーティション容量をキロバイト単位で入力します。
省略すると、ストレージデバイスの最大値が使用されます。

- 5 [設定] をクリックします。



- 6 [追加] をクリックします。



パーティションが追加されます。



パーティションをフォーマットする

パーティションをフォーマットします。

操作手順

- 1 「ストレージ」画面で、フォーマットしたいパーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [詳細] を選択します。



パーティションの詳細画面が表示されます。

- 2 [フォーマット] ボタンをクリックします。



- 3 「フォーマット」画面が表示されます。ファイルシステムタイプを選択し、[確認] ボタンをクリックします。

[暗号化] にチェックを入れると、暗号化に使用する鍵長 (bit) として、256 または 512 を指定する必要があります。続けてパスワードを設定し、[確認] ボタンをクリックします。



- 4 「確認」画面が表示されます。[実行] ボタンをクリックします。



パーティションをマウントする

パーティションをマウントします。

操作手順

- 1 「ストレージ」画面で、パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [マウント] を選択します。

[詳細] 画面から [マウント] を選択することもできます。



- 2 [マウント] 画面が表示されます。

- ① 最大 32 文字の英数字でマウントポイントを指定します。
- ② ファイルシステムを選択します。
- ③ マウントオプションを選択します。
- ④ 確認ボタンをクリックします。



3 「確認」画面が表示されます。[実行] ボタンをクリックします。



パーティションをアンマウントする

パーティションをアンマウントします。

操作手順

- 1 「ストレージ」画面で、パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [アンマウント] を選択します。

[詳細] 画面から [アンマウント] を選択することもできます。



- 2 「確認」画面が表示されます。[実行] ボタンをクリックします。



パーティションを削除する

パーティションを削除します。

操作手順

- 1 「ストレージ」画面で、削除パーティションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [詳細] を選択します。



パーティションの詳細画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 3 [削除] ボタンをクリックします。



パーティションが削除されます。

1.6.8 PoE の状況を確認する



IoT ルーター屋内タイプ (AR10)、コンパクトルーター屋内タイプ (AC10)、無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋内タイプ (AC15) には、この機能はありません。

表示されるインターフェイスは以下の通りです。

- ・ AI エッジゲートウェイ : lan0~lan3
- ・ エッジゲートウェイ : lan0~lan3
- ・ IoT ルーター屋外タイプ (AR20) : eth0, eth1
- ・ 無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋外タイプ (AC25) : lan1

PoE のステータスを確認することができます。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [PoE] をクリックします。

Host名: amnimo 日本語 admin

PoE 最終更新日時 2021-08-17 16:07:59 [最新の情報に更新](#) [リセット](#)

| インターフェイス | 接続状態 | 電力クラス | PoE-Plus | 電流制限値(mA) | 電圧値(V) | 電流値(mA) | |
|----------|--------------|---------|----------|-----------|--------|---------|----------------------|
| lan0 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan1 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan2 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan3 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |

1 - 4件 / 4件 << < 1 > >> 表示件数 10

- 2 画面に表示されている PoE 設定を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

Host名: amnimo 日本語 admin

PoE 最終更新日時 2021-08-17 16:07:59 [最新の情報に更新](#) [リセット](#)

| インターフェイス | 接続状態 | 電力クラス | PoE-Plus | 電流制限値(mA) | 電圧値(V) | 電流値(mA) | |
|----------|--------------|---------|----------|-----------|--------|---------|----------------------|
| lan0 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan1 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan2 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |
| lan3 | disconnected | Unknown | off | 374 | 0 | 0 | リセット |

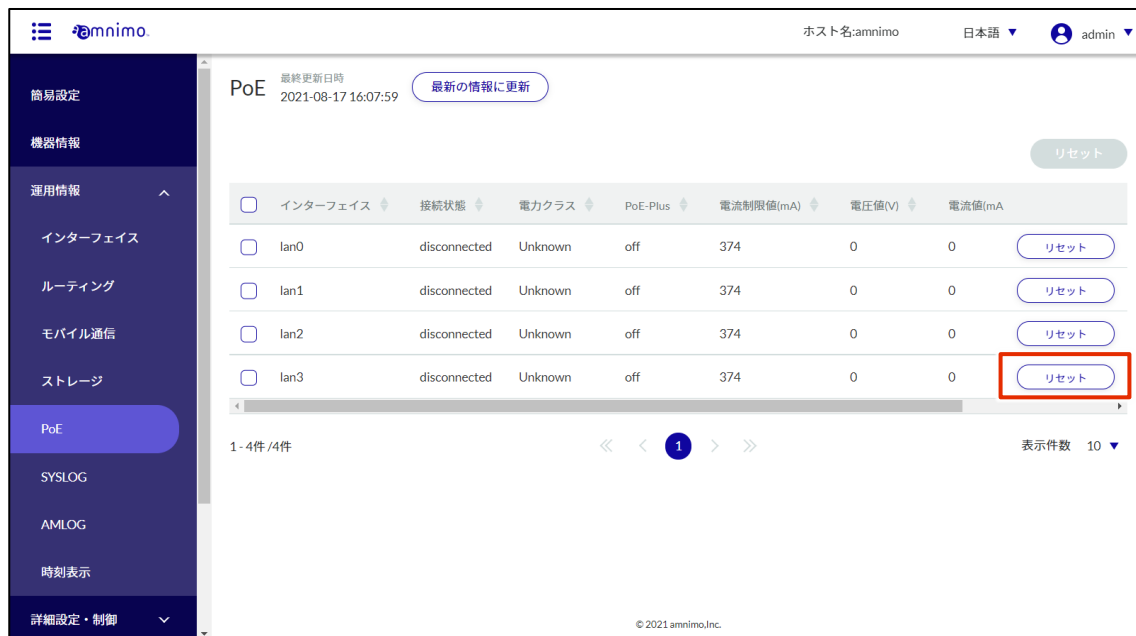
1 - 4件 / 4件 << < 1 > >> 表示件数 10

PoE をリセットする

PoE ポートをリセットします。

操作手順

- 1 「PoE」画面で、各インターフェイスのメニュー右側より [リセット] ボタンをクリックします。

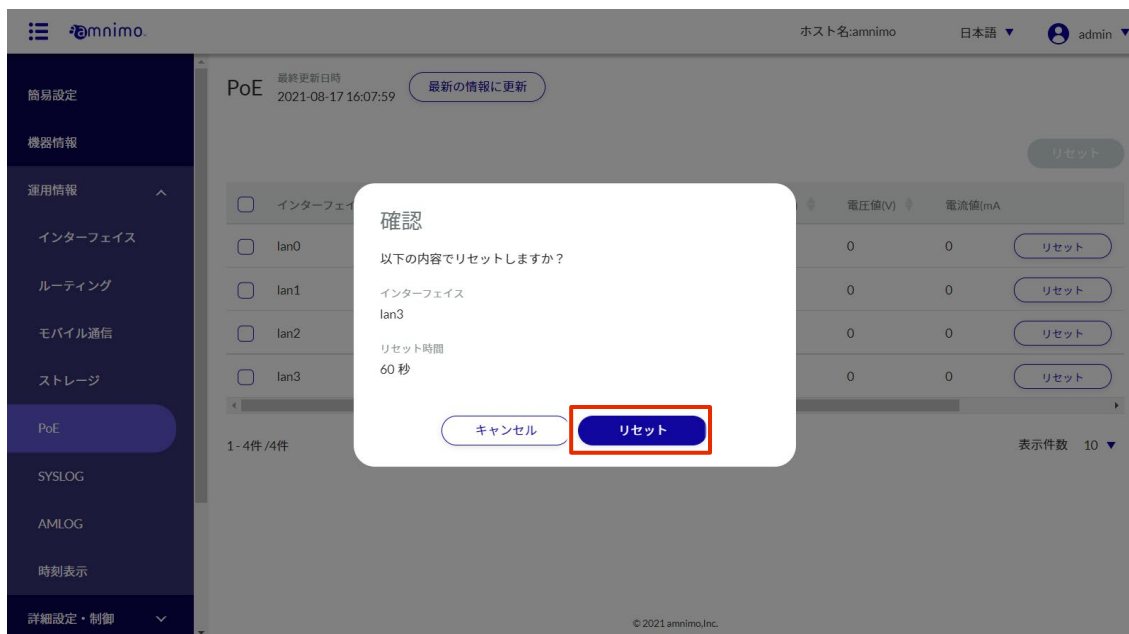


「PoE ポートリセット」画面が表示されます。

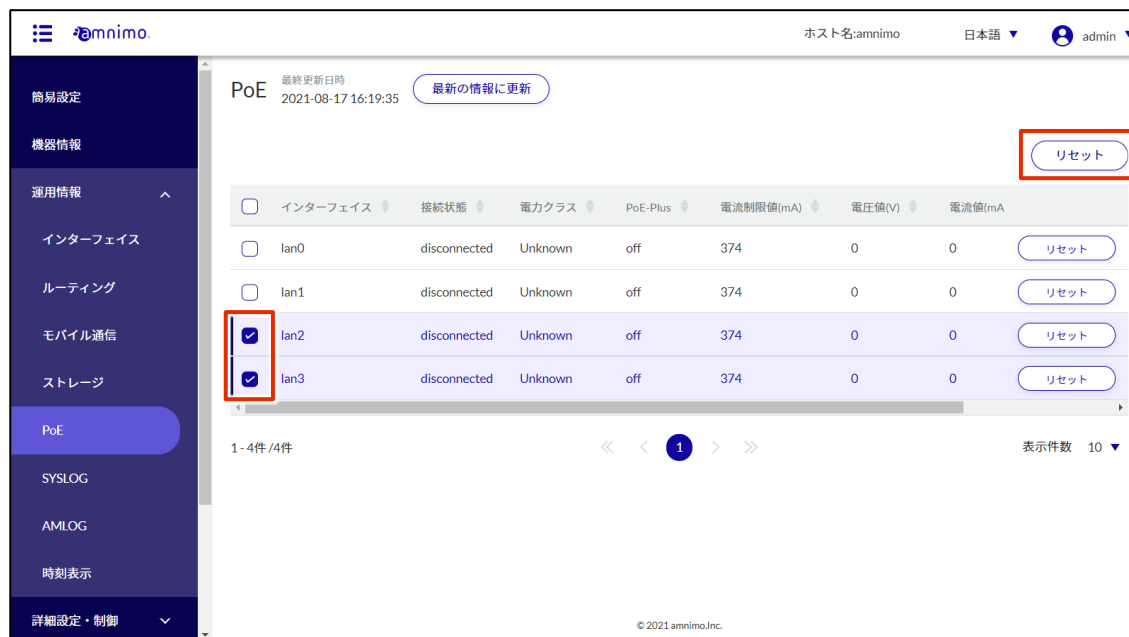
- 2 リセットの時間を選択し、[確認] ボタンをクリックします。



3 「確認」画面が表示されます。[リセット] ボタンをクリックします。



PoEのリセットは、「PoE」画面より複数選択し、まとめて実行することもできます。



1.6.9 接点変化履歴を確認する



IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター (amnimo C シリーズ) には、この機能はありません。

端末の後面にある D-IN 端子/D-OUT 端子における、接点の変化履歴を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [接点変化履歴] をクリックします。

「接点変化履歴」画面が表示されます。

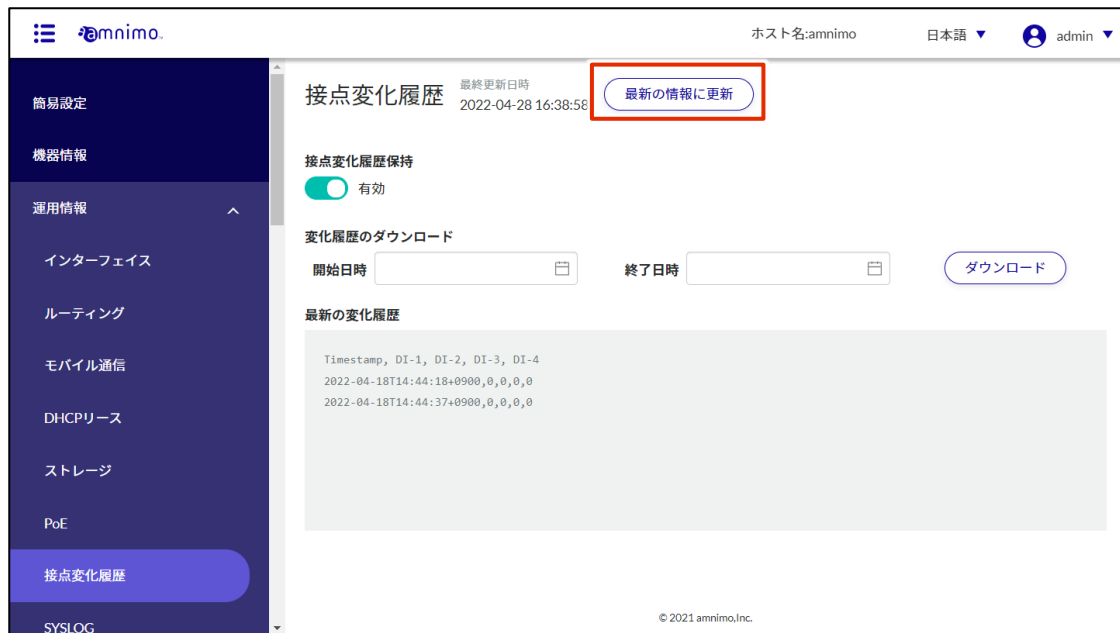


- 2 「接点変化履歴保持」のトグルをクリックし有効にすることで、「最新の変化履歴」フィールドに接点変化履歴が表示されるようになります（表示される履歴の最大数は最新の 1000 件です）。

無効になっている期間の履歴は表示されず、ダウンロードすることもできません。



- 3 画面に表示されている接点変化履歴を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



接点変化履歴をダウンロードする

接点変化履歴をダウンロードします。

操作手順

- 1 「接点変化履歴」画面で、ダウンロードする期間の開始日時と終了日時を指定します。



- 2 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、CSV ファイルがダウンロードされます。
最大 10 万件の履歴をダウンロードすることが可能です。



1.6.10 SYSLOG の表示操作をする

本製品のシステムログである SYSLOG を確認します。SYSLOG の検索とダウンロード、および SYSLOG を最新の情報に更新する手順について説明します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [SYSLOG] をクリックします。

「SYSLOG」画面が表示されます。



- 2 最も新しい SYSLOG を表示するには、画面を一番下にスクロールします。



3 SYSLOG を検索するには、検索欄にキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。



The screenshot shows the SYSLOG management interface. On the left is a navigation menu with options like '簡易設定', '機器情報', '運用情報', 'インターフェイス', 'ルーティング', 'モバイル通信', 'ストレージ', 'PoE', 'SYSLOG', 'AMLOG', '時刻表示', and '詳細設定・制御'. The main area displays 'SYSLOG' with a search bar containing '2021' and a '検索' button. The search results are a list of log entries, with the year '2021' highlighted in green in each entry.

検索キーワードがハイライトされて表示されます。



This screenshot is similar to the previous one, but the search results are more clearly visible. The search bar contains '2021' and the '検索' button is highlighted. The log entries are displayed with the year '2021' highlighted in green, indicating a successful search.

4 SYSLOG をダウンロードするには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



SYSLOG がダウンロードされます。



5 画面に表示されている SYSLOG を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。



1.6.11 AMLOG の表示操作をする



コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

amnimo のログである AMLOG を確認します。AMLOG の検索とダウンロード、および AMLOG を最新の情報に更新する手順について説明します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [AMLOG] をクリックします。
「AMLOG」画面が表示されます。



- 2 最も新しい AMLOG を表示するには、画面を一番下にスクロールします。



3 AMLOG を検索するには、検索欄にキーワードを入力し、[検索] ボタンをクリックします。



検索キーワードがハイライトされて表示されます。



4 AMLOG をダウンロードするには、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



AMLOG がダウンロードされます。



5 画面に表示されている AMLOG を最新の情報に更新する場合は、[最新の情報に更新] ボタンをクリックします。

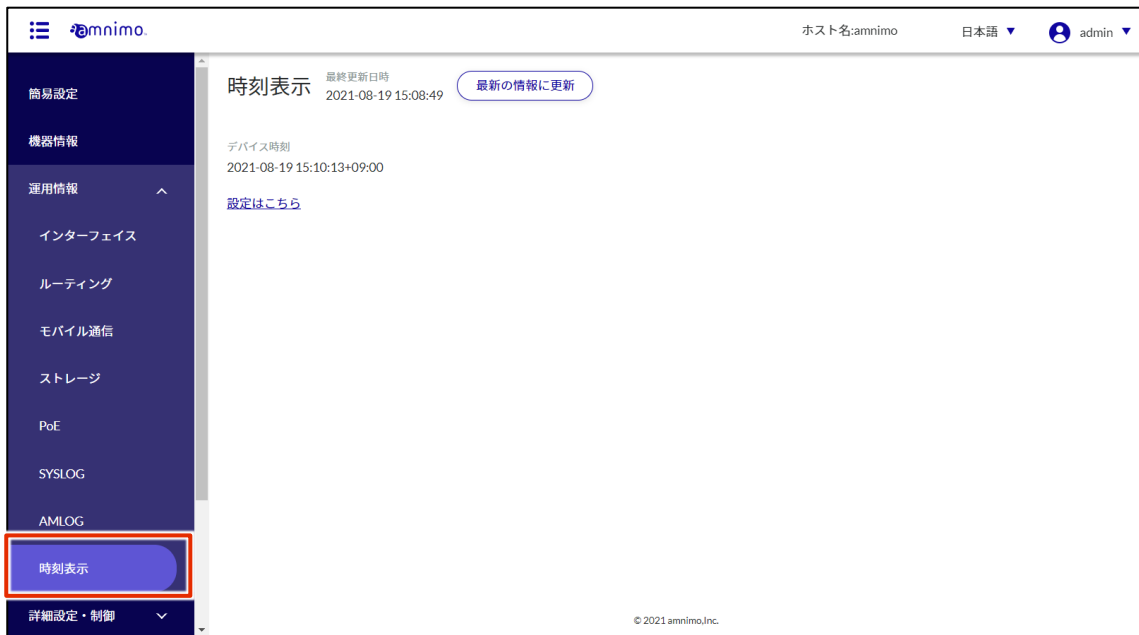


1.6.12 本製品の時刻を確認する

本製品の時刻を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [運用情報] - [時刻表示] をクリックします。
「時刻表示」画面が表示され、本製品の時刻がリアルタイムで表示されます。



「設定はこちら」をクリックすると、「時刻設定」画面が表示されます。

➔ 設定方法については、『2.18 時刻を設定する』を参照してください。

1.7 本製品を再起動・停止する

本製品にはシャットダウンの他に、再起動メニューとしてシステムを停止する「ソフトウェアリブート」とシステムを停止しない「ハードウェアリブート」の2種類があります。

- シャットダウン
ハードウェアの電源供給を停止します。
- ソフトウェアリブート
システムを停止したあとに再起動します。
- ハードウェアリブート
システムを停止せずに、ハードウェアの電源供給を停止し、再起動します。

1.7.1 本製品を再起動する

本製品を再起動します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「再起動・停止」をクリックします。
「再起動・停止」画面が表示されます。



- 2 再起動の方法として、[ソフトウェアリブート] または [ハードウェアリブート] にチェックを付けて、[実行] をクリックします。



再起動の「確認」画面が表示されます。

- 3 [実行] ボタンをクリックします。



本製品の再起動が開始されます。

再起動には数分程度かかります。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

1.7.2 本製品をシャットダウンする

本製品をシャットダウンします。

操作手順

- 1 サイドメニューの [再起動・停止] をクリックします。

「再起動・停止」画面が表示されます。



- 2 停止の方法として、[シャットダウン] にチェックを付けて、[実行] をクリックします。



シャットダウンの「確認」画面が表示されます。

3 [実行] ボタンをクリックします。






本製品のシャットダウンが開始されます。

1.8 ファームウェアを操作する

本製品のファームウェアの更新方法には、全体更新と差分更新があります。

それぞれの特徴に従い、利用状況に応じて使い分けることが可能です。

| | | 全体更新 | 差分更新 |
|---------------|--------|---|---|
| 更新領域 | 設定領域 | 対象外 (設定ファイルは保持されます) | 対象外 (設定ファイルは保持されます) |
| | rootfs | 全体更新  領域は初期化されるため、ユーザーが独自でインストールしたパッケージも削除されます。 | 差分更新  ユーザーが独自でインストールしたパッケージは保持されます。 |
| | userfs | 対象外 | 対象外 |
| | 共有領域 | 対象外 | 対象外 |
| | SSD | 対象外 | 対象外 |
| 冗長エリアの更新 | | 指定可能 | 指定不可 |
| ダウンロード時の通信コスト | | 大 | 小 |
| 更新時間 | | 長い | 短い  <ul style="list-style-type: none"> ● 起動エリア両面を同時に更新することは出来ません。両面を更新する場合は、別途エリア同期が必要になります。 ● 差分があるパッケージ数によっては、全体更新よりも時間がかかる場合があります。 |

1.8.1 ファームウェア画面を表示する

ファームウェアを更新するための「ファームウェア」画面を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [ファームウェア] をクリックします。
「ファームウェア」画面が表示されます。



1.8.2 ファームウェアの差分を更新する

ファームウェアパッケージの差分を取得して更新します。



- コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。
- ファームウェアを更新するには、パッケージリポジトリの認証情報を登録しておく必要があります。
➔ 詳しくは、『1.4 簡易設定をする』を参照してください。
- ファームウェアのパッケージを個別に指定して更新することはできません。
- 本機能は、apt パッケージ管理システムを使用しています。
- パッケージの更新時には「--force-confold」オプションが適用されます。これによって、パッケージ更新で各パッケージの設定ファイルが変更された場合でも、変更前の設定ファイルが使用されます。

操作手順

- 1 「ファームウェア」画面で、[パッケージ更新（差分更新）] タブをクリックします。



- 2 [更新] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

3 [更新] ボタンをクリックします。



ファームウェアパッケージの更新が開始されます。



ファームウェアパッケージの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

4 「閉じる」ボタンをクリックし、「サインイン画面」に遷移します。

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「再起動画面」から再起動が必要です。



1.8.3 ファームウェア全体を更新する

更新する冗長エリアを選択して、ファームウェアを全体更新します。

PC のファームウェアをアップロードするか、ファームウェアの URL を指定するかを選択することができます。



- この操作をすると、本製品が再起動します。
- この操作が完了するまで、5分～10分程度かかります。

ファームウェアをアップロードして更新する



更新に使用するファームウェアファイルは、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

以下の URL にアクセスし、パッケージリポジトリのユーザー名とパスワードを入力してログオンすると、ファームウェアファイルをダウンロードすることができます。

なお、パッケージリポジトリのユーザー名とパスワードについては、弊社サポートにご連絡ください。

<ファームウェアファイルのダウンロード URL>

- AI エッジゲートウェイ屋内タイプ (AX11)
<https://package.amnimo.com/firmware/ax11.amf>
- エッジゲートウェイ屋内タイプ (AG10)
<https://package.amnimo.com/firmware/ag10.amf>
- エッジゲートウェイ屋外タイプ (AG20)
<https://package.amnimo.com/firmware/ag20.amf>
- IoT ルーター屋内タイプ (AR10)
<https://package.amnimo.com/firmware/ar10.amf>
- IoT ルーター屋外タイプ (AR20)
<https://package.amnimo.com/firmware/ar20.amf>
- コンパクトルーター屋内タイプ (AC10)
<https://package.amnimo.com/firmware/ac10.amf>
- 無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋内タイプ(AC15)
 - ・ 011JP タイプ
<https://package.amnimo.com/firmware/ac15-011jp.amf>
 - ・ 061JP タイプ
<https://package.amnimo.com/firmware/ac15-061jp.amf>
- 無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋外タイプ(AC25)
 - ・ 011JP タイプ
<https://package.amnimo.com/firmware/ac25-011jp.amf>
 - ・ 061JP タイプ
<https://package.amnimo.com/firmware/ac25-061jp.amf>

操作手順

- 1 「ファームウェア」画面で、[エリア更新 (全体更新)] タブをクリックします。
エリア更新の設定画面が表示されます。



- 2 「更新エリア」を選択します。



- 片面
現在起動していない冗長エリアを更新する場合に選択します。
- 両側
現在起動しているエリアと、起動していない冗長エリアの両方を更新する場合に選択します。



- 3 ファームウェアを取得する方法として、「ファイルアップロード」を選択します。



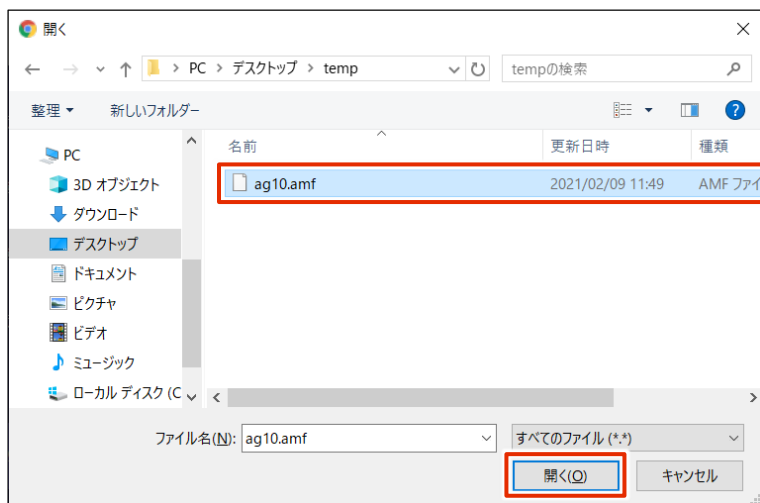
- 4 アップロードするファームウェアを選択します。

- 1 「ファイル名」の [参照] ボタンをクリックします。



「開く」画面が表示されます。

- 2 ファームウェアファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



「ファイル名」に選択したファームウェアファイルがセットされます。

5 [更新] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

6 [更新] ボタンをクリックします。



選択したファームウェアファイルのアップロードが開始されます。



ファームウェアファイルのアップロードが終わると、ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェアの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

7 [閉じる] ボタンをクリックします。



本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

ファームウェアの URL を指定して更新する

操作手順

- 1 「ファームウェア」画面で、「エリア更新（全体更新）」タブをクリックします。
エリア更新の設定画面が表示されます。



- 2 「更新エリア」を選択します。



- 片面
現在起動していない冗長エリアを更新する場合に選択します。
- 両側
現在起動しているエリアと、起動していない冗長エリアの両方を更新する場合に選択します。



- 3 ファームウェアを取得する方法として、「URL 指定」を選択し、ファームウェアを入手する URL を入力します。



弊社公開のファームウェアを取得するためには、「接続先とファームウェア」「アカウント名」「パスワード」の情報が必要です。アカウントとパスワードについては、弊社サポートに別途ご連絡ください。

- 例：屋内タイプエッジゲートウェイ
[https://\(アカウント名\):\(パスワード\)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf](https://(アカウント名):(パスワード)@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf)

各機器の URL については、各機種のリリースノートを参照ください。リリースノートには過去にリリースしたファームウェアの URL も記載されています。なおリリースノートへのアクセスもアカウントとパスワードが必要です。

| 機種 | リリースノート |
|----|---|
| | https://package.amnimo.com/docs/IM_AMD03A91-01JA_Edge%20Gateway%20Release%20Note.pdf |
| | https://package.amnimo.com/docs/IM_AMD06A91-01JA_Compact%20Router%20Release%20Note.pdf |

https は ftp に置き換え可能です。

https で接続する場合は装置の時刻が正しく設定されている必要があるため、事前に時刻設定を行ってください。

➔ 時刻設定については、『2.18 時刻を設定する』を参照してください。

ユーザー名とパスワードについては、弊社サポートにご連絡ください。

The screenshot shows the Amnimo web interface for firmware management. The left sidebar contains navigation options: 簡易設定, 機器情報, 運用情報, 詳細設定・制御, 再起動, **ファームウェア**, and 設定ファイル. The main content area is titled 'ファームウェア' and displays the current version as 'amnimo G series AG10 version 1.5.0 build 21467'. It offers update options: 'パッケージ更新(差分更新)', 'エリア更新(全体更新)', and 'エリア同期'. Under '更新エリア', '片面' is selected. In the 'ファームウェア' section, 'URL指定' is selected, and the URL field is populated with 'ftp://@package.amnimo.com/firmware/ag10.amf'. 'キャンセル' and '更新' buttons are at the bottom.

4 [更新] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

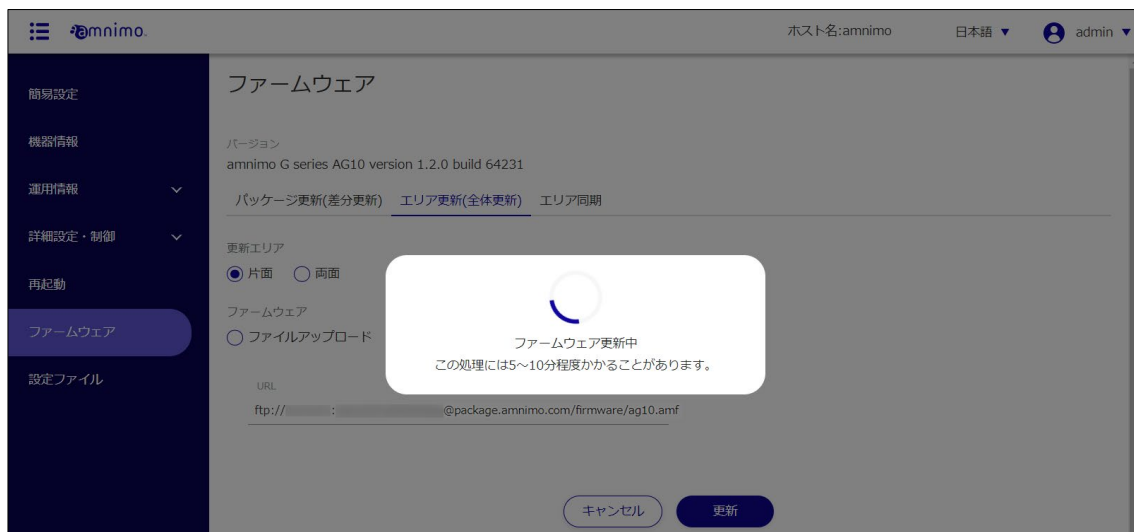
5 [更新] ボタンをクリックします。



指定した URL のファームウェアファイルのダウンロードが開始されます。



ファームウェアファイルのダウンロードが終わると、ファームウェアの更新が開始されます。



ファームウェアの更新が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

6 [閉じる] ボタンをクリックします。



本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。

1.8.4 冗長エリアを同期する

現在起動している冗長エリアをもう一方の冗長エリアにコピーします。

操作手順

- 1 「ファームウェア」画面で、[エリア同期] タブをクリックします。
エリア同期の設定画面が表示されます。



- 2 [更新] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 3 [同期] ボタンをクリックします。



エリア同期が開始されます。



エリア同期が完了すると、「更新完了」画面が表示されます。

4 [閉じる] ボタンをクリックします。



「サインイン」画面が表示されます。

1.9 設定ファイルの操作をする

本製品の設定は、設定ファイルに保存されており、本製品の起動時に読み込まれて、反映されるようになっています。設定画面で設定した内容を反映するためには、本製品へ保存する必要があります。



本製品へ設定ファイルの保存が完了していない場合、画面上部に「設定がデバイスに保存されていません。設定ファイルから保存してください。」というメッセージが表示されます。

「設定ファイル」画面では、以下の操作をすることができます。

- 「詳細設定・制御」メニューで設定した内容を本製品へ保存する
 - ➔ 『1.9.2 現在の設定内容を本製品に保存する』
- 設定を工場出荷時の状態にします。
 - ➔ 『1.9.3 設定ファイルを初期化する』
- 設定ファイルをダウンロードする
 - ➔ 『1.9.4 設定ファイルをダウンロードする』
- 設定ファイルをアップロードする
 - ➔ 『1.9.5 設定ファイルをアップロードする』

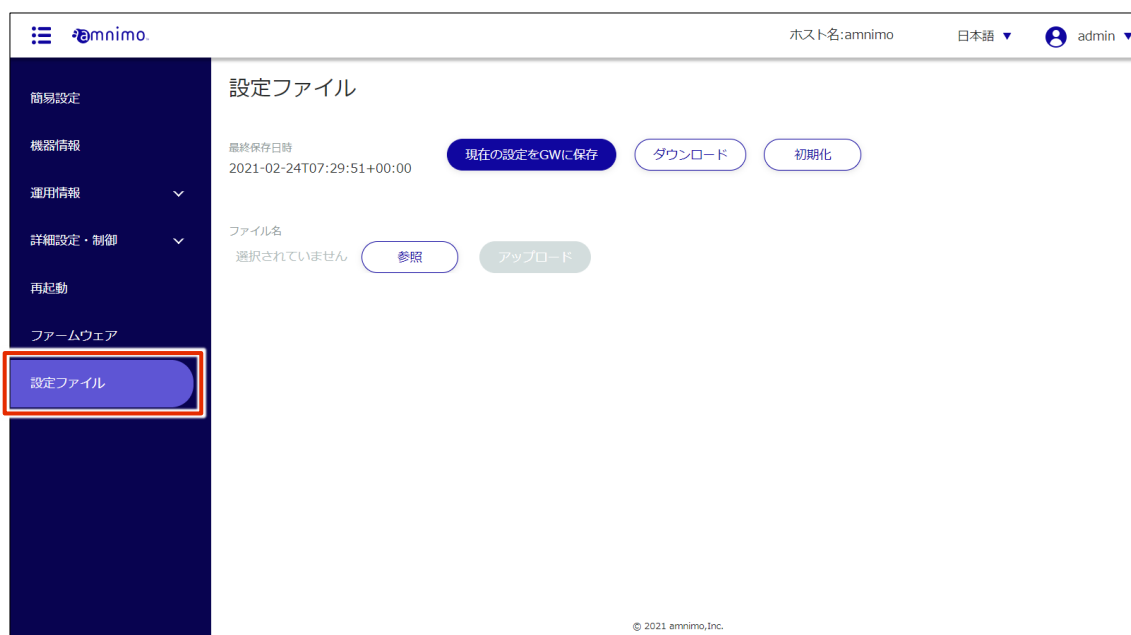
1.9.1 設定ファイル画面を表示する

設定ファイルを操作するための「設定ファイル」画面を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [設定ファイル] をクリックします。

「設定ファイル」画面が表示されます。



1.9.2 現在の設定内容を本製品に保存する

設定画面の設定内容を本製品へ保存します。

操作手順

- 1 「設定ファイル」画面で、「現在の設定をデバイスに保存」ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「保存する」ボタンをクリックします。



設定が設定ファイルに保存されます。

1.9.3 設定ファイルを初期化する

設定ファイルを初期化して、設定を工場出荷時の状態に戻します。

操作手順

- 1 「設定ファイル」画面で、「初期化」ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「初期化」ボタンをクリックします。



初期化が開始されます。

初期化が完了すると、本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。



再起動したあとに、IP アドレスが変更されたために「サインイン」画面が表示されない場合は、手動で以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://192.168.0.254>

1.9.4 設定ファイルをダウンロードする

設定ファイルを PC にダウンロードします。

ダウンロードした設定ファイルは、別の製品にアップロードして利用することが可能です。

→ アップロードについては、『1.9.5 設定ファイルをアップロードする』を参照してください。



ダウンロードした設定ファイルに設定した製品の固定 IP アドレスが記載されていると、別の製品に設定ファイルをアップロードして適用した際に設定がコンフリクトしてしまうため、注意が必要です。

操作手順

- 1 「設定ファイル」画面で、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [ダウンロード] ボタンをクリックします。



「startup_config.yaml」という名前で設定ファイルがダウンロードされます。

The screenshot displays the '設定ファイル' (Settings File) page in the amnimo web interface. The page features a dark blue sidebar on the left with navigation options: '簡易設定', '機器情報', '運用情報', '詳細設定・制御', '再起動', 'ファームウェア', and '設定ファイル'. The main content area shows the following information:

- 最終保存日時: 2021-02-24T07:29:51+00:00
- 現在の設定をGWに保存 (button)
- ダウンロード (button)
- 初期化 (button)
- ファイル名: 選択されていません
- 参照 (button)
- アップロード (button)

At the bottom of the page, a red box highlights a file name field containing 'startup-config.yaml' and a 'すべて表示' (Show All) button.

1.9.5 設定ファイルをアップロードする

PC にダウンロードした設定ファイルを本製品にアップロードすることができます。

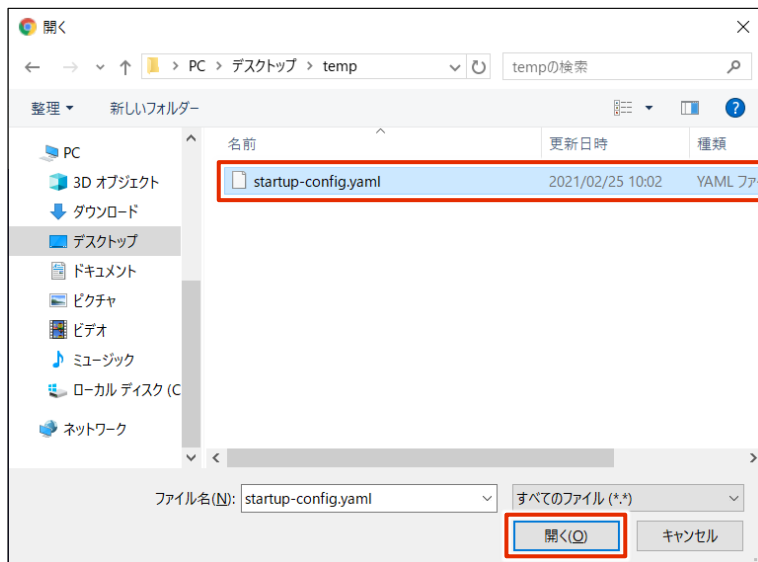
操作手順

- 1 「設定ファイル」画面で、「参照」ボタンをクリックします。



「開く」画面が表示されます。

- 2 設定ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックします。



「設定ファイル」画面の「ファイル名」に、選択した設定ファイルがセットされます。

3 [アップロード] ボタンをクリックします。



アップロードの「確認」画面が表示されます。

4 [アップロード] ボタンをクリックします。



設定ファイルがアップロードされます。

アップロードが完了すると、本製品の再起動が開始されます。

再起動が完了すると、「サインイン」画面が表示されます。



再起動したあとに、IP アドレスが変更されたために「サインイン」画面が表示されない場合は、手動で以下のアドレスにアクセスしてください。

<http://192.168.0.254>

1.10 アムニモ診断情報をダウンロードする



AI エッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ) には、この機能はありません。

障害発生時等の原因調査のために amnimo へ送る情報を、ワンクリックでダウンロードできる方法について説明します。

1.10.1 アムニモ診断情報をダウンロードする

アムニモ診断情報をダウンロードします。

操作手順

- 1 サイドメニューの [アムニモ診断情報] をクリックします。



- 2 [ダウンロード] をクリックします。



アムニモ診断情報がダウンロードされました。

1.11 ユーザーズマニュアルを閲覧する



エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ) IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター 屋内タイプ (AC10) には、この機能はありません。

amnimo ゲートウェイシリーズ GUI ユーザーズマニュアル (本書) の表示方法について説明します。

1.11.1 ユーザーズマニュアルを表示する

「ユーザーズマニュアル」画面を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [ユーザーズマニュアル] をクリックします。



「ユーザーズマニュアル」画面が表示されます。



Chap 2 本製品の詳細設定



本章では、本製品のネットワークやサーバーなどの詳細設定について説明します。

2.1 パッケージリポジトリを設定する



この機能を利用するには、管理者としてサインインする必要があります。
コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

本製品はパッケージ管理システムを用いているため、パッケージリポジトリから各アプリを更新することができます。

ここでは、パッケージリポジトリの追加、編集、削除の操作について説明します。

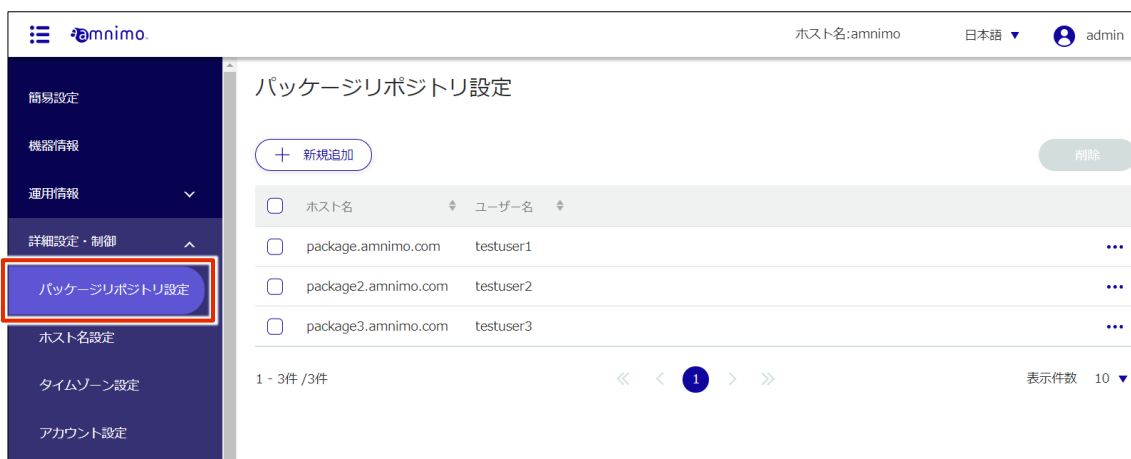
2.1.1 パッケージリポジトリの一覧を表示する

パッケージリポジトリの一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「パッケージリポジトリ設定」をクリックします。

「パッケージリポジトリ設定」画面に、登録されているパッケージリポジトリの一覧が表示されます。





パッケージリポジトリ一覧の「ホスト名」「ユーザー名」をクリックすることで、ホスト名またはユーザー名の降順／昇順でパッケージリポジトリを並び替えることができます。

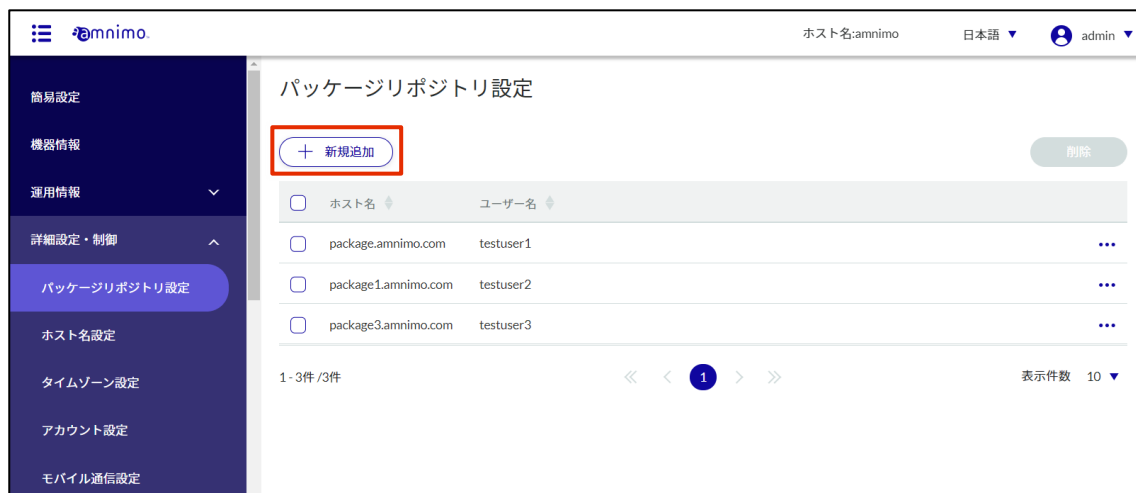
| <input type="checkbox"/> | ホスト名 | ユーザー名 |
|--------------------------|---------------------|-----------|
| <input type="checkbox"/> | package3.amnimo.com | testuser3 |
| <input type="checkbox"/> | package2.amnimo.com | testuser2 |
| <input type="checkbox"/> | package.amnimo.com | testuser1 |

2.1.2 パッケージリポジトリを追加する

パッケージリポジトリを新規で追加します。

操作手順

- 1 「パッケージリポジトリ設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「パッケージリポジトリの追加」画面が表示されます。

- 2 パッケージリポジトリの設定をします。

- ① ホスト名を入力します。
- ② ①で入力したホストを利用するためのユーザー名を入力します。
- ③ ②で入力したユーザー名のパスワードを入力します。
- ④ 「設定」をクリックします。



パッケージリポジトリが追加されます。

amnimo

ホスト名:amnimo 日本語 admin

パッケージリポジトリ設定

+ 新規追加 削除

| ホスト名 | ユーザー名 | |
|---------------------|-----------|-----|
| package.amnimo.com | testuser1 | ... |
| package1.amnimo.com | testuser2 | ... |
| package3.amnimo.com | testuser3 | ... |
| package4.amnimo.com | testuser4 | ... |

1-4件 / 4件 << < 1 > >> 表示件数 10

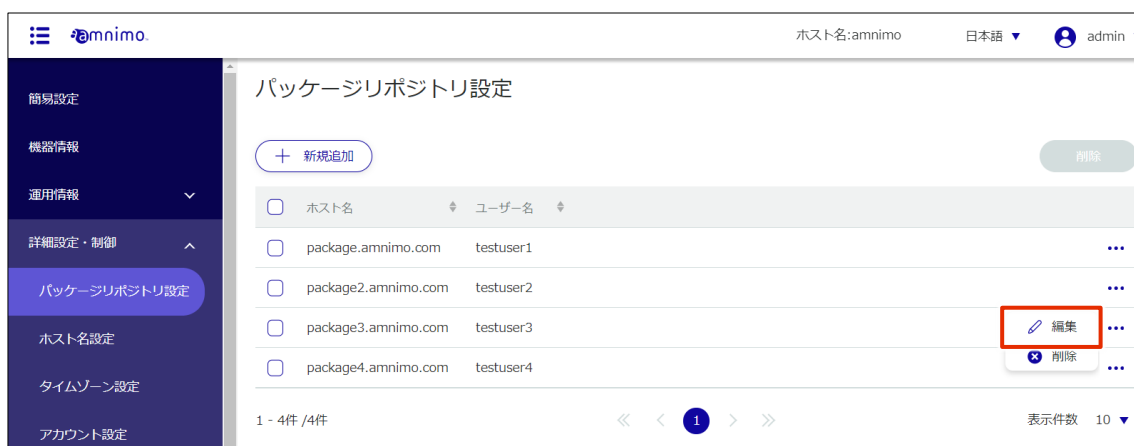
© 2021 amnimo, Inc.

2.1.3 パッケージリポジトリを編集する

登録されているパッケージリポジトリの情報を編集します。

操作手順

- 1 「パッケージリポジトリ設定」画面で、編集したいパッケージリポジトリの右に表示されている「…」をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。

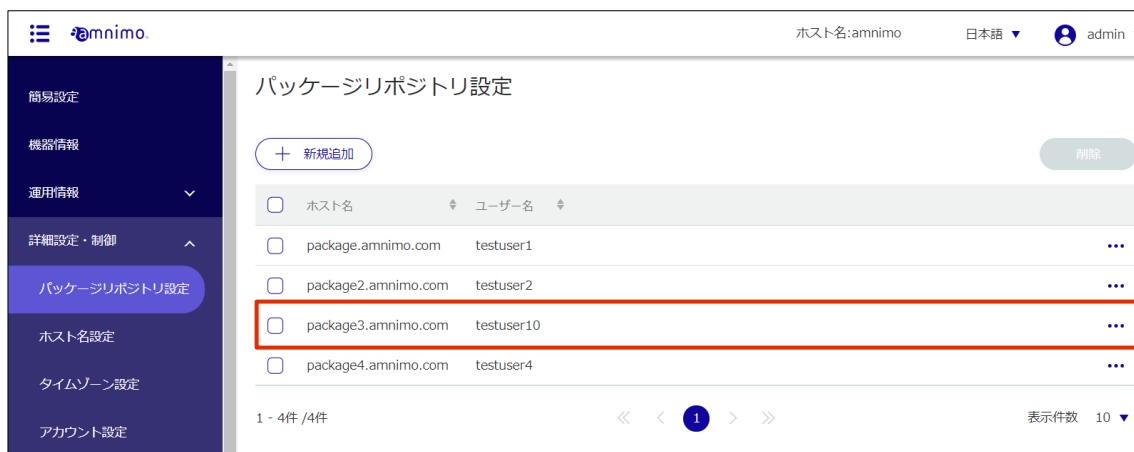


「パッケージリポジトリ設定の編集」画面が表示されます。

- 2 パッケージリポジトリ情報を編集して、「設定」ボタンをクリックします。



パッケージリポジトリの情報が更新され、パッケージリポジトリの一覧が表示されます。



2.1.4 パッケージリポジトリを削除する

登録されているパッケージリポジトリの削除には、パッケージリポジトリの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいパッケージリポジトリをすべて選択してから削除する方法があります。

パッケージリポジトリを個別に削除する

パッケージリポジトリの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「パッケージリポジトリ設定」画面で、削除したいパッケージリポジトリの右に表示されている「…」をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「削除」ボタンをクリックします。



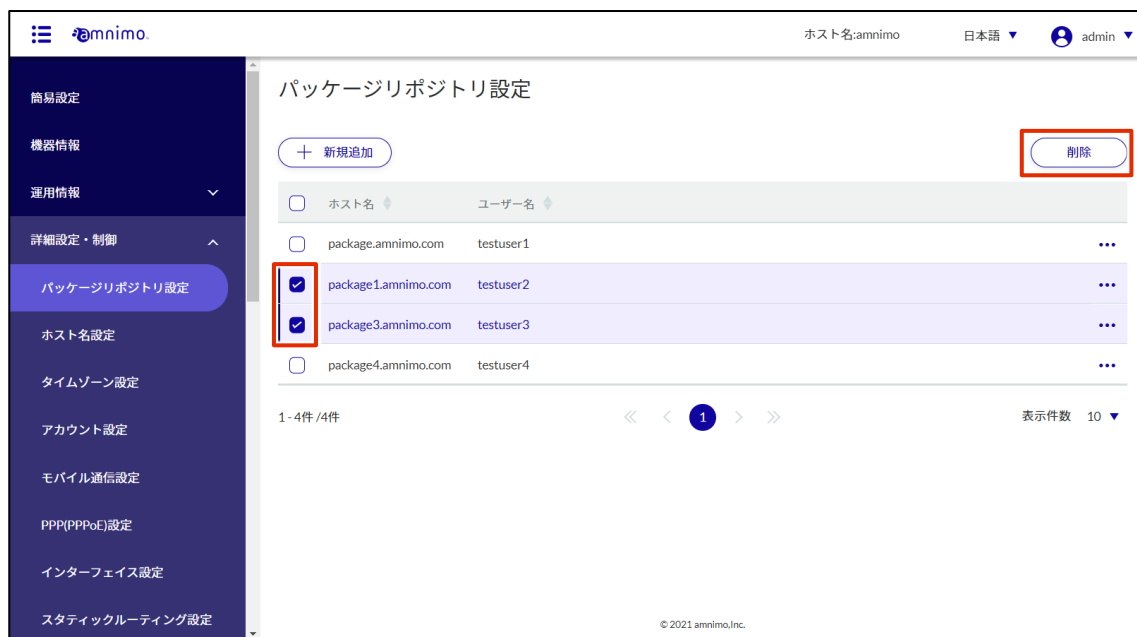
パッケージリポジトリが削除されます。

パッケージリポジトリを複数選択して削除する

削除したいパッケージリポジトリにチェックを付けてから削除する方法です。複数のパッケージリポジトリを一括で削除する際に便利です。パッケージリポジトリを1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「パッケージリポジトリ設定」画面で、削除したいパッケージリポジトリの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



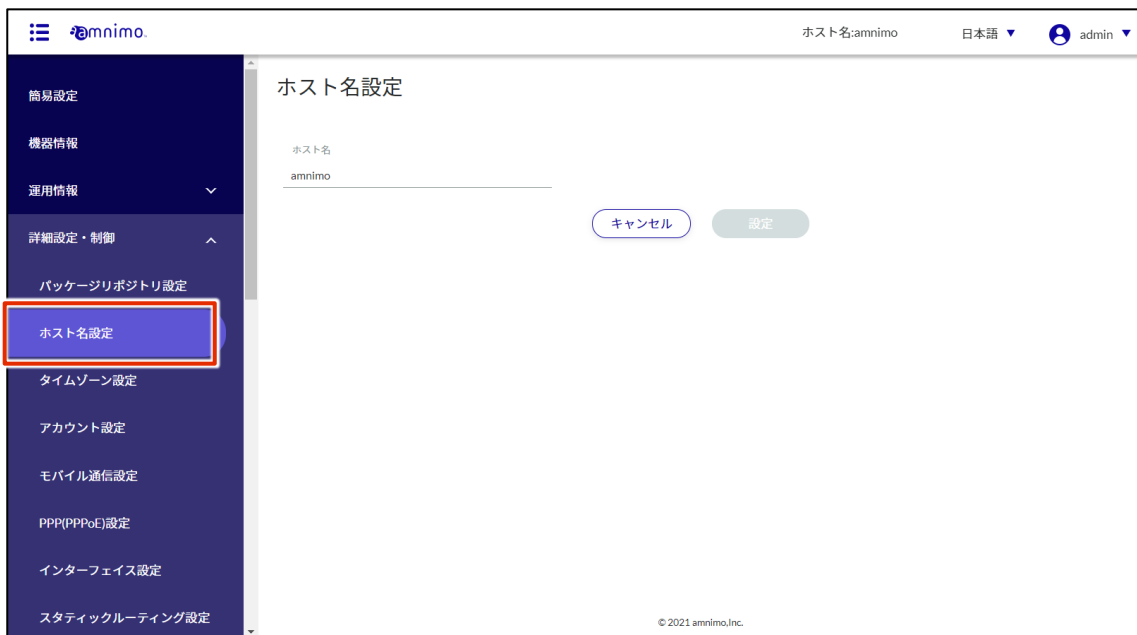
選択したパッケージリポジトリが削除されます。

2.2 ホスト名を設定する

本製品のホスト名を設定します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [ホスト名設定] をクリックします。
「ホスト名設定」画面が表示されます。



- 2 「ホスト名」にホスト名を入力して、[設定] ボタンをクリックします。



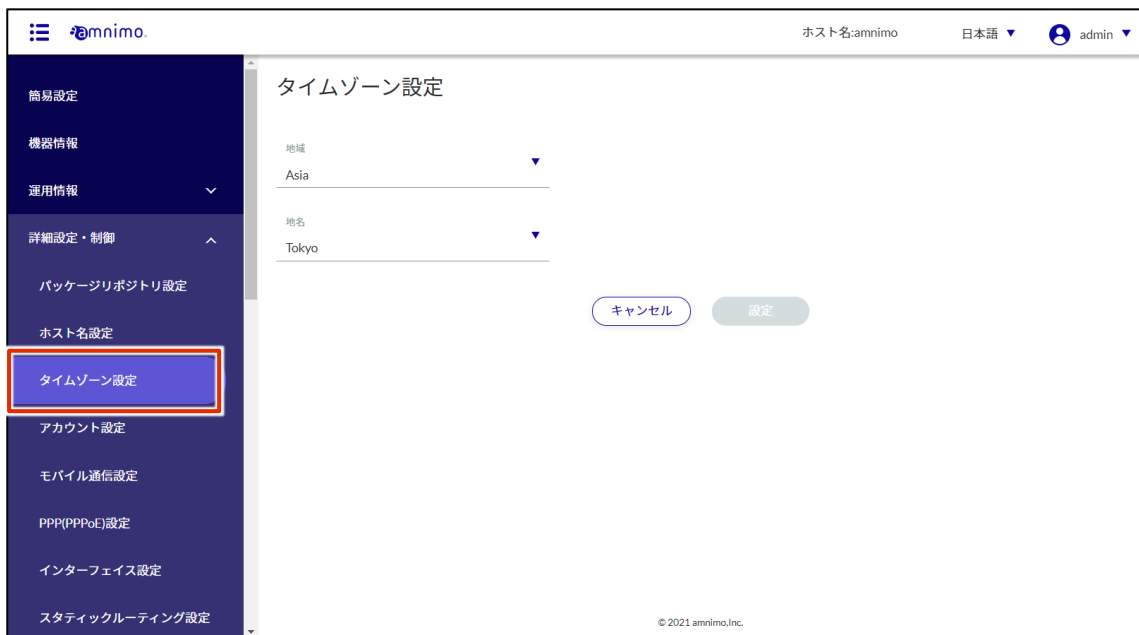
ホスト名が設定されます。

2.3 タイムゾーンを設定する

製品のタイムゾーンを設定します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [タイムゾーン設定] をクリックします。
「タイムゾーン設定」画面が表示されます。



- 2 タイムゾーンを設定します。
 - ① 「地域」を選択します。
 - ② 「地名」を選択します。
 - ③ 「設定」ボタンをクリックします。



タイムゾーンが設定されます。

2.4 アカウント設定をする

アカウントの追加、編集、削除の操作について説明します。

2.4.1 アカウントの一覧を表示する

アカウントの一覧を表示します。

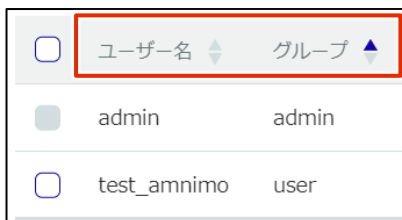
操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「アカウント設定」をクリックします。

「アカウント設定」画面に、本製品に登録されているアカウントの一覧が表示されます。



アカウント一覧の「ユーザー名」と「グループ名」をクリックすることで、ユーザー名またはグループ名の降順／昇順でアカウントを並び替えることができます。



2.4.2 アカウントを追加する

新規のアカウントを追加します。

操作手順

- 1 「アカウント設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「アカウント設定の追加」画面が表示されます。

- 2 アカウントの設定をします。

- 1 ユーザー名を入力します。
- 2 当該アカウントを所属させるグループを選択します。



工場出荷時は、admin と user の 2 グループが用意されていますが、新規作成も可能です。
➔ グループの設定については、『2.5 グループ設定をする』を参照してください。

- 3 アカウントのパスワードを入力します。
- 4 確認用に③と同じパスワードを入力します。
- 5 [設定] をクリックします。



アカウントが追加されます。

The screenshot shows the 'アカウント設定' (Account Settings) page in the amnimo web interface. The page title is 'アカウント設定' and there is a button '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device). Below the title, there is a '+ 新規追加' (Add new) button and a '削除' (Delete) button. A table lists the accounts:

| <input type="checkbox"/> | ユーザー名 | グループ | |
|--------------------------|-------------|-------|-----|
| <input type="checkbox"/> | admin | admin | ... |
| <input type="checkbox"/> | test_amnimo | user | ... |

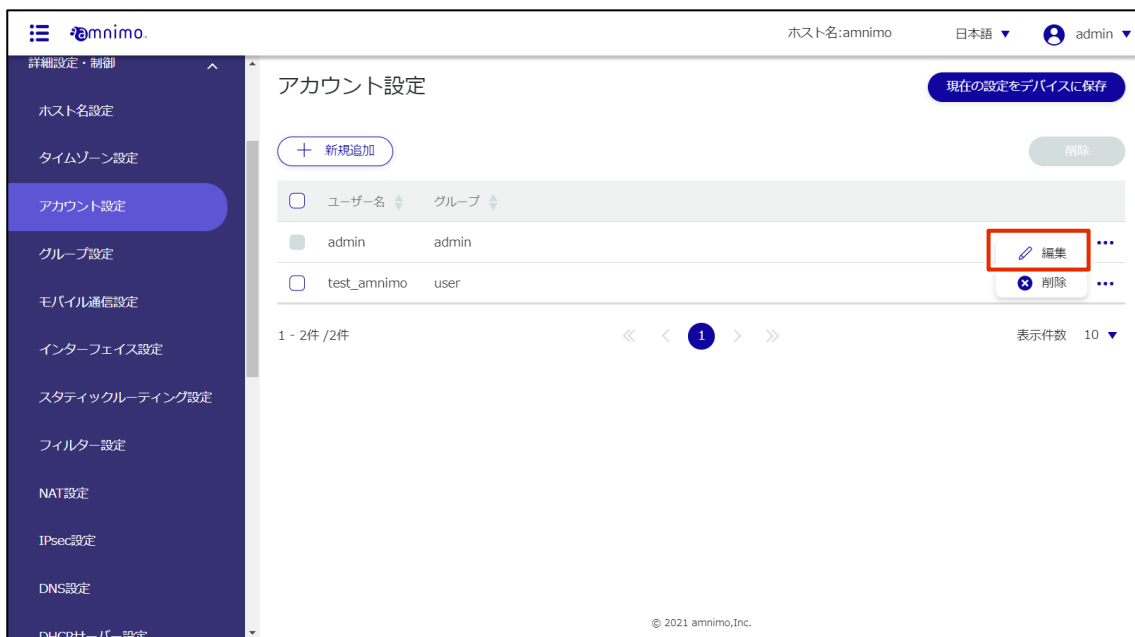
The row for 'test_amnimo' is highlighted with a red box. Below the table, there is a pagination indicator '1 - 2件 / 2件' and a '表示件数 10' (Display 10 items) dropdown. The footer shows '© 2021 amnimo, Inc.'

2.4.3 アカウントを編集する

登録されているアカウントの情報を編集します。

操作手順

- 1 「アカウント設定」画面で、編集したいアカウントの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「アカウント設定の編集」画面が表示されます。

- 2 アカウント情報を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



画面上では、パスワードは暗号化された状態で表示されます。パスワードを変更する場合、一度すべて消してから入力し直す必要があります。



アカウントの情報が更新され、アカウントの一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'アカウント設定' (Account Settings) page in the amnimo web interface. The page title is 'アカウント設定' and there is a button '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device). Below the title, there is a '+ 新規追加' (Add new) button and a '削除' (Delete) button. The main content area displays a table of accounts:

| <input type="checkbox"/> | ユーザー名 | グループ | |
|--------------------------|-------------|-------|-----|
| <input type="checkbox"/> | admin | admin | ... |
| <input type="checkbox"/> | test_amnimo | user | ... |

Below the table, there is a pagination indicator '1 - 2件 / 2件' and a '表示件数 10' (Display 10 items) dropdown. The footer contains the copyright notice '© 2021 amnimo, Inc.'.

2.4.4 アカウントを削除する

登録されているアカウントの削除には、アカウントの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいアカウントをすべて選択してから削除する方法があります。



- デフォルトで設定されている、admin のアカウントを削除することはできません。
- 所属しているユーザーが存在するグループは削除できません。

アカウントを個別に削除する

アカウントの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「アカウント設定」画面で、削除したいアカウントの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



アカウントが削除されます。

アカウントを複数選択して削除する

削除したいアカウントにチェックを付けてから削除する方法です。複数のアカウントを一括で削除する際に便利です。アカウントを1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「アカウント設定」画面で、削除したいアカウントの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したアカウントが削除されます。

2.5 グループ設定をする

本製品では、ユーザーの各種権限を、所属するグループ単位で管理します。

アカウントに付与したい権限をグループにて設定し、該当のアカウントを所属させます。

➔ アカウント設定については、『2.21.3 スケジュールの設定項目』を参照してください。

ここでは、グループの追加、編集、削除の操作について説明します。

2.5.1 グループの一覧を表示する

グループの一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「グループ設定」をクリックします。

「グループ設定」画面に、本製品に登録されているグループの一覧が表示されます。



グループ一覧の「グループ名」をクリックすることで、グループ名の降順／昇順でグループを並び替えることができます。

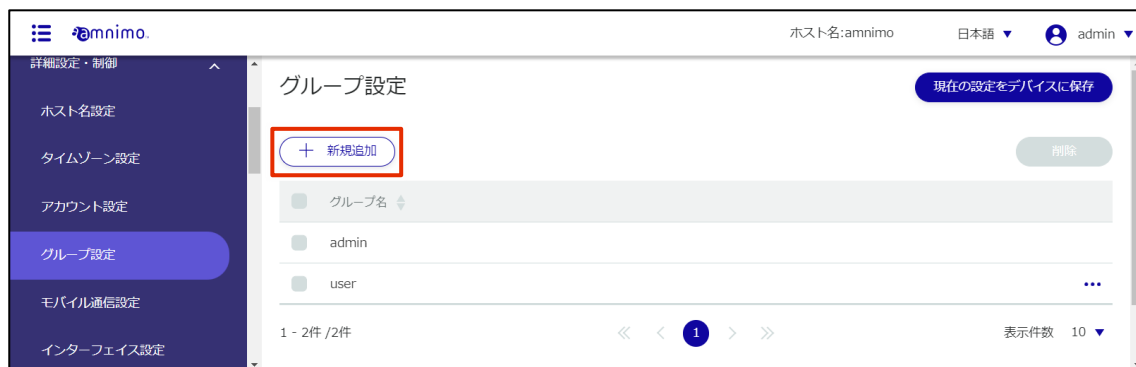


2.5.2 グループを追加する

新規のグループを追加します。

操作手順

- 1 「グループ設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「グループ設定の追加」画面が表示されます。

- 2 グループの設定をします。

- 1 グループ名を入力します。
- 2 当該グループのユーザーに付与する操作権限を選択します。



- グレーアウトしている項目は選択不可です。
- 画面右側の「全て許可」ボタンをクリックすると全項目が選択できます（その後、「全て禁止」ボタンへと切り替わります）。
- GUIを使用する場合は、[機器情報]の表示権限を付与することが必須です。（チェックを入れていない場合は、権限付与するようメッセージが表示されます）
- 設定ファイルのアップロードを行う場合は、アップロードの制御以外に、再起動の制御も許可する必要があります。



- 3 設定が完了したら、画面下部の [設定] をクリックします。



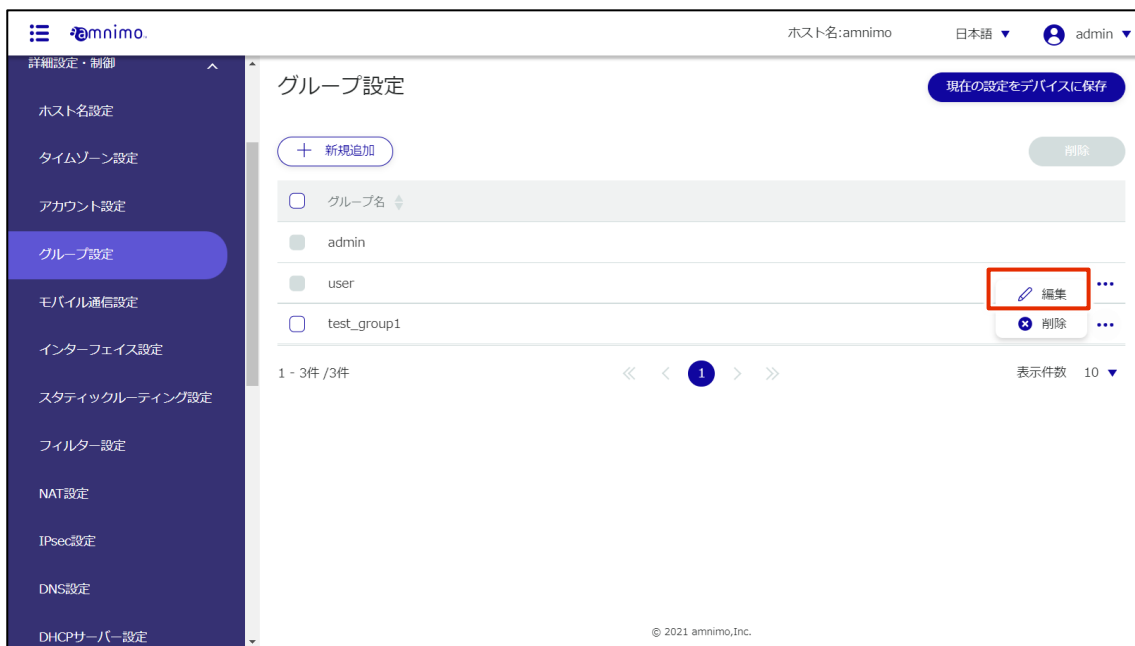
グループが追加されます。

2.5.3 グループを編集する

登録されているグループの操作権限を編集します。

操作手順

- 1 「グループ設定」画面で、編集したいグループの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「グループ設定の編集」画面が表示されます。

- 2 グループ情報を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



グループの情報が更新されます。

2.5.4 グループを削除する

登録されているグループの削除には、グループの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいグループをすべて選択してから削除する方法があります。



- 工場出荷時は、admin と user の 2 グループが設定されており、これらのグループを削除することはできません。
- 所属ユーザーがいる間は、グループを削除することができません。

グループを個別に削除する

グループの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「グループ設定」画面で、削除したいグループの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



グループが削除されます。

グループを複数選択して削除する

削除したいグループにチェックを付けてから削除する方法です。複数のグループを一括で削除する際に便利です。グループを1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「グループ設定」画面で、削除したいグループの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したグループが削除されます。

2.6 モバイル通信設定をする



通信モジュールが無い機器には、この機能はありません。

ここでは、モバイル通信設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

2.6.1 モバイル通信設定の一覧を表示する

モバイル通信設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「モバイル通信設定」をクリックします。
「モバイル通信設定」画面に、登録されているモバイル通信設定の一覧が表示されます。



モバイル通信設定一覧の「モバイル回線名」「セッション名」「優先度」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でモバイル通信設定を並び替えることができます。

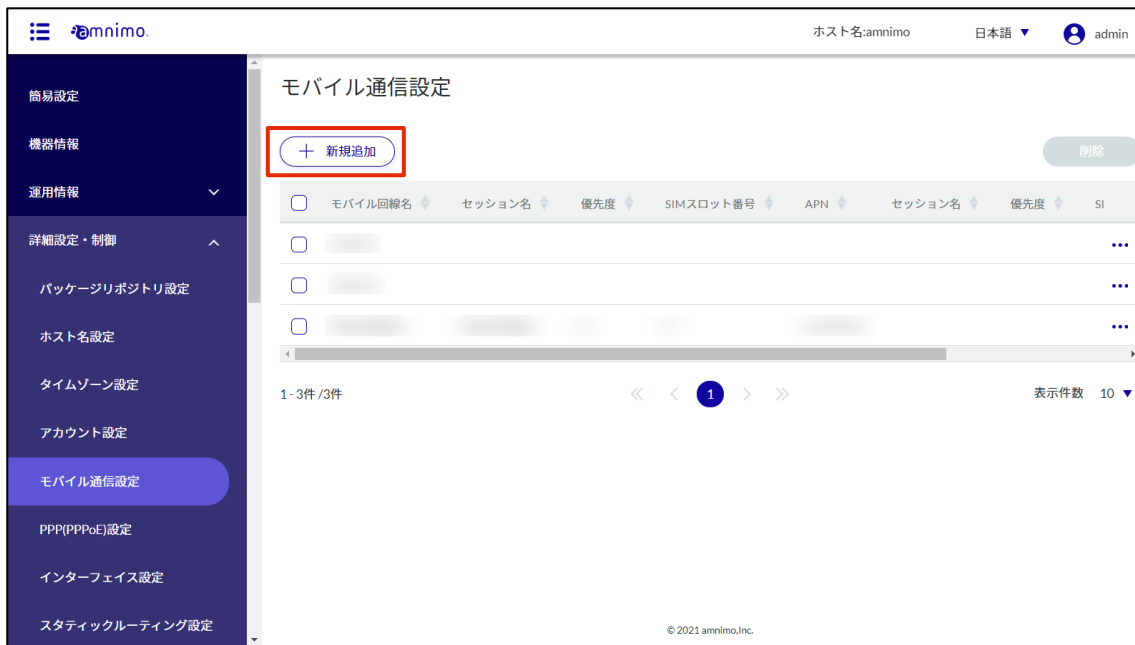


2.6.2 モバイル通信設定を追加する

モバイル通信設定を新規追加します。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「モバイル通信設定の追加」画面が表示されます。

- 2 モバイル通信設定の追加をします。

- ① モバイル回線名を入力します。
- ② メッセージ出力レベルを選択します。



- 3 必要に応じて、フェイルセーフの有効/無効を選択し、リトライ回数とリポート回数を設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



セッションを追加する

セッションを追加します。モバイル通信設定を追加した後も、当画面に遷移します。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定の編集」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



- 2 セッションの追加をします。

- 1 セッション名を入力し、トグルを「有効」にスライドします。
※ トグルを有効にした場合、セッションの追加設定時に回線接続が行われます。無効にした場合は、編集画面からトグルを有効にしない限り回線接続は行われません。
- 2 SIM スロット番号、優先度を選択します。
優先度は 0 が最高優先度、9 が最低優先度です。



- 3 APN 名を入力します。

- 4 認証方式を選択します。
- 5 ユーザー名、パスワードを入力します。



- 6 接続待ち時間、呼び出し待ち時間を選択します（デフォルト値はそれぞれ 55 秒、30 秒となっています）。

※ 接続待ち時間とは、基地局との通信が確立されるまでの時間を指します。

※ 呼び出し待ち時間とは、認証されるまでの待ち時間を指します。

- 7 無通信検知時間、最大接続時間を選択します（デフォルト値は共に「無効」となっています）。

※ 無通信監視対象の packets は、通信モジュールを通して送受信した packets となっています。ただし、下記は監視対象外となっております。

(1) PING リクエストパケット (ICMP-echo-request) は監視対象外となります。PING レスポンスパケット (ICMP-echo-reply) は監視対象となりますのでご注意ください。

(2) 通信モジュールから IP アドレスや DNS サーバー情報を取得するための DHCP プロトコルは監視対象外となります。

※ 最大接続時間で設定された時間、接続状態が継続した場合、回線を切断します。



- 8 再接続待ち時間、接続リトライ回数を選択します（デフォルト値はそれぞれ 30 秒、無効となっています）。
- ※ 再接続待ち時間とは、基地局と一時的に通信が出来なくなるような場合に、回線を切断せず接続状態を維持する時間を指します。
- 設定した時間内、回線接続状態を維持することで、回線切断後、再度回線接続時に発生する接続処理にかかるオーバーヘッドを抑え、通信の安定性を高めるための機能です。
- ※ 接続リトライ回数とは、回線接続処理が完了しなかった場合に、接続処理を再実施する回数を指します。
- 9 回線切断の有効/無効、閾値、継続時間を選択します（デフォルト値はそれぞれ-113dBm、30秒となっています）。
- ※ RSSI の値が閾値以下の状態を継続時間に設定した秒数継続した場合、回線切断を行う機能です。チェックボックスにチェックを入れない場合、機能を無効化します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



セッションを編集する

登録されているセッションを編集します。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定の編集」画面で、編集したいセッションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「セッションの編集」画面が表示されます。

- 2 セッション設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



セッション設定が更新され、一覧が表示されます。

セッションを削除する

登録されているセッションを削除します。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定の編集」画面で、削除したいセッションの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「削除」 ボタンをクリックします。



セッション設定が削除されます。

「モバイル通信設定の編集」画面で、削除したいセッションの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックして削除することもできます。複数のセッションを一括で削除する際に便利です。セッションを1つだけ選択して削除することもできます。

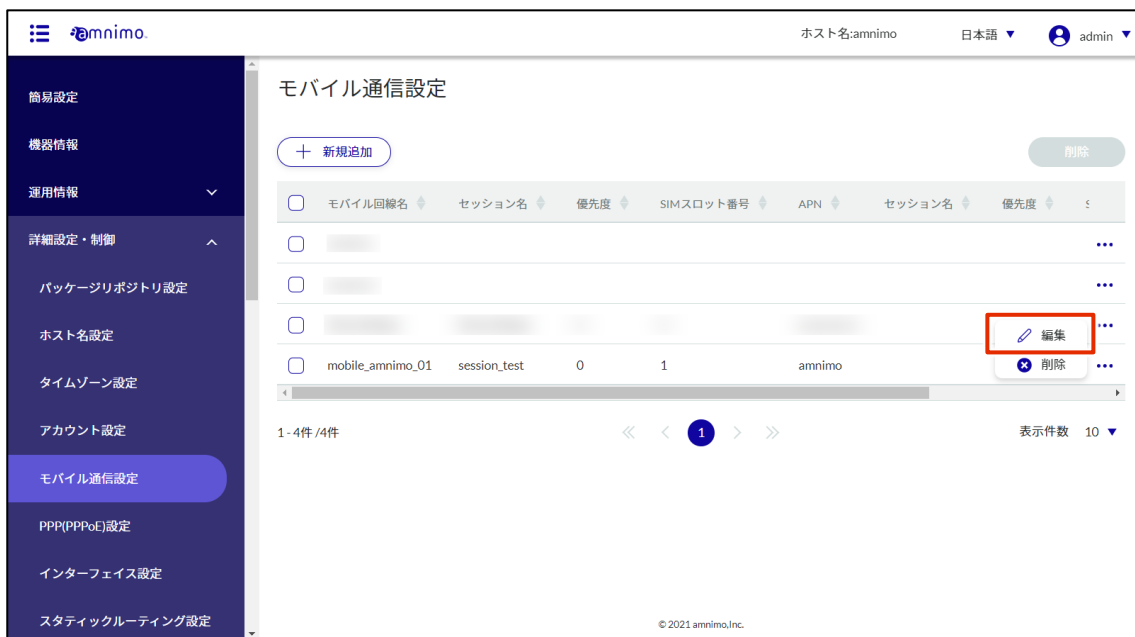


2.6.3 モバイル通信設定を編集する

登録されているモバイル通信設定を編集します。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定」画面で、編集したいモバイル通信設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「モバイル通信設定の編集」画面が表示されます。

- 2 モバイル通信設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



モバイル通信設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.6.4 モバイル通信設定を削除する

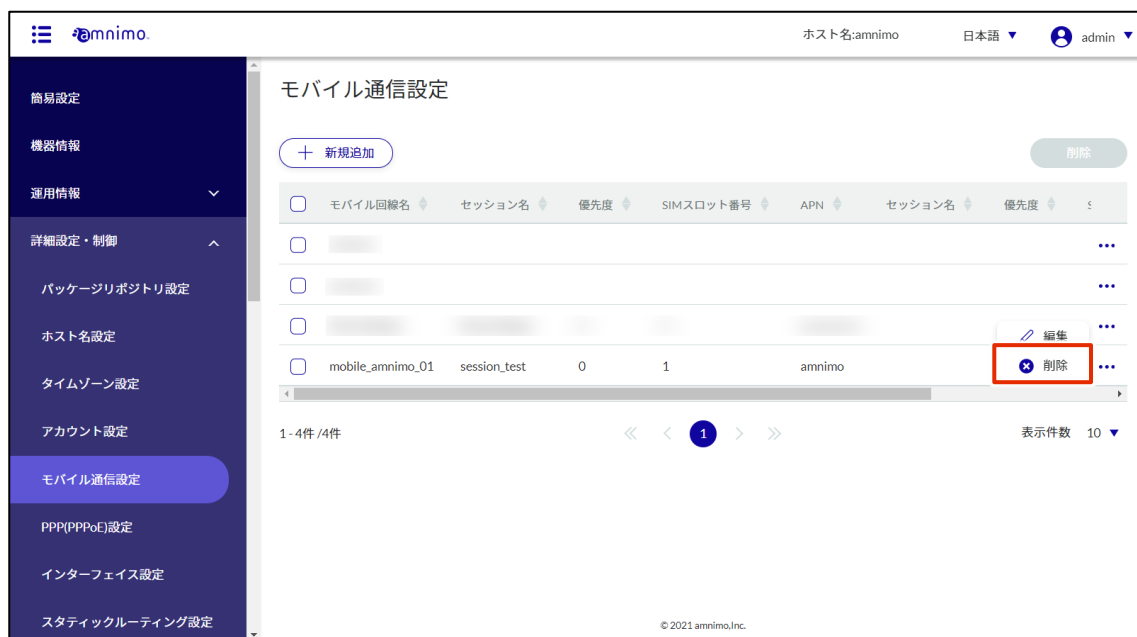
登録されているモバイル通信設定の削除には、モバイル通信設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいモバイル通信設定をすべて選択してから削除する方法があります。

モバイル通信設定を個別に削除する

モバイル通信設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定」画面で、削除したいモバイル通信設定の右に表示されている「…」をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「削除」 ボタンをクリックします。



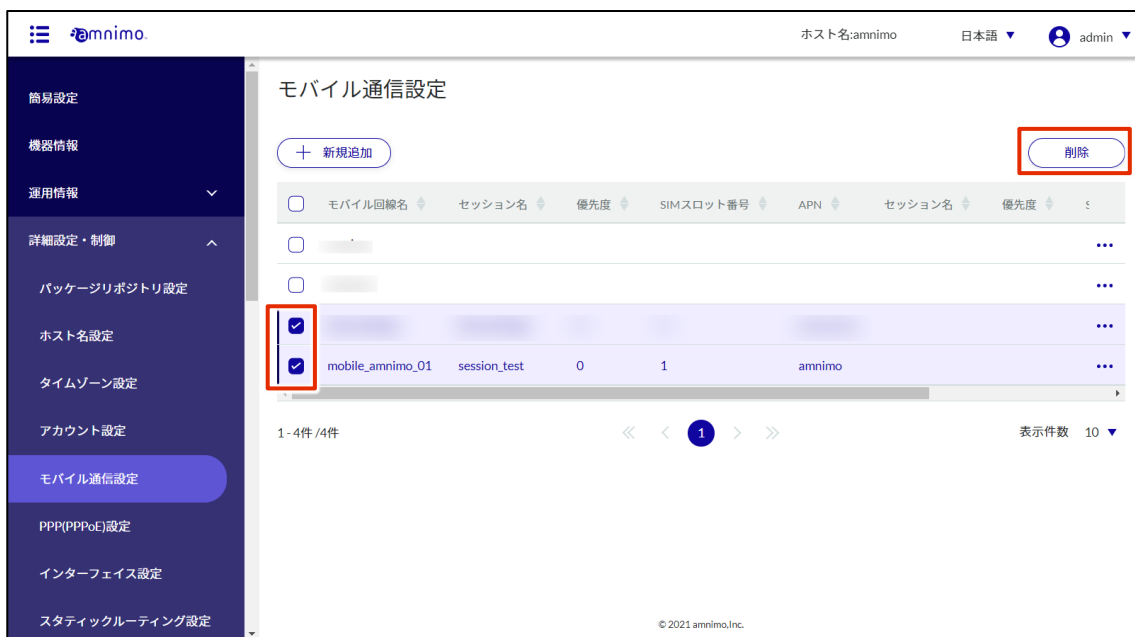
モバイル通信設定が削除されます。

モバイル通信設定を複数選択して削除する

削除したいモバイル通信設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のモバイル通信設定を一括で削除する際に便利です。モバイル通信設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「モバイル通信設定」画面で、削除したいモバイル通信設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したモバイル通信設定が削除されます。

2.7 無線 LAN 設定をする



AI エッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター屋内タイプ (AC10) には、この機能はありません。

ここでは、無線 LAN 設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

2.7.1 WPS を設定する

WPS の設定を表示、変更します。



- WPS は、無線 LAN 搭載コンパクトルーターが「アクセスポイントモード」として動作する際、接続に使用することが出来ます。「ステーションモード」として他のアクセスポイントに接続する際には使用出来ません。
- 「PIN コード方式」を使用する際は、無線 LAN コンパクトルーターに接続するステーション側であらかじめ生成した PIN コードを入力する必要があります。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [無線 LAN 設定] をクリックします。

「無線 LAN 設定」画面が表示されます。



2 アクセスポイントの PIN コードが表示されます。

[生成] をクリックすると、PIN コードを再生成することができます。



3 [WPS 設定] のトグルをクリックし、有効と無効を切り替えることができます。

必要に応じて「WPS スイッチ」や「外部 PIN コード入力」の使用を制限することができます。



WPS を使用した接続方法については『[amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド](#)』を参照してください。

2.7.2 アクセスポイント設定の一覧を表示する

アクセスポイント設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 「アクセスポイント」タブをクリックします。

登録されているアクセスポイント設定の一覧が表示されます。



工場出荷時の無線 LAN 搭載コンパクトルーターは、インターネットに接続されるとすぐに無線 LAN アクセスポイントとして動作を開始します。SSID 名の初期設定値は以下の 2 つです。

- amnimo-2G-xxxxxx
- amnimo-5G-xxxxxx

| アクセスポイント名 | SSID | 周波数帯 |
|-----------|------------------|--------|
| amnimo-2G | amnimo-2G-004744 | 2.4GHz |
| amnimo-5G | amnimo-5G-004745 | 5GHz |

2.7.3 アクセスポイント設定を追加する

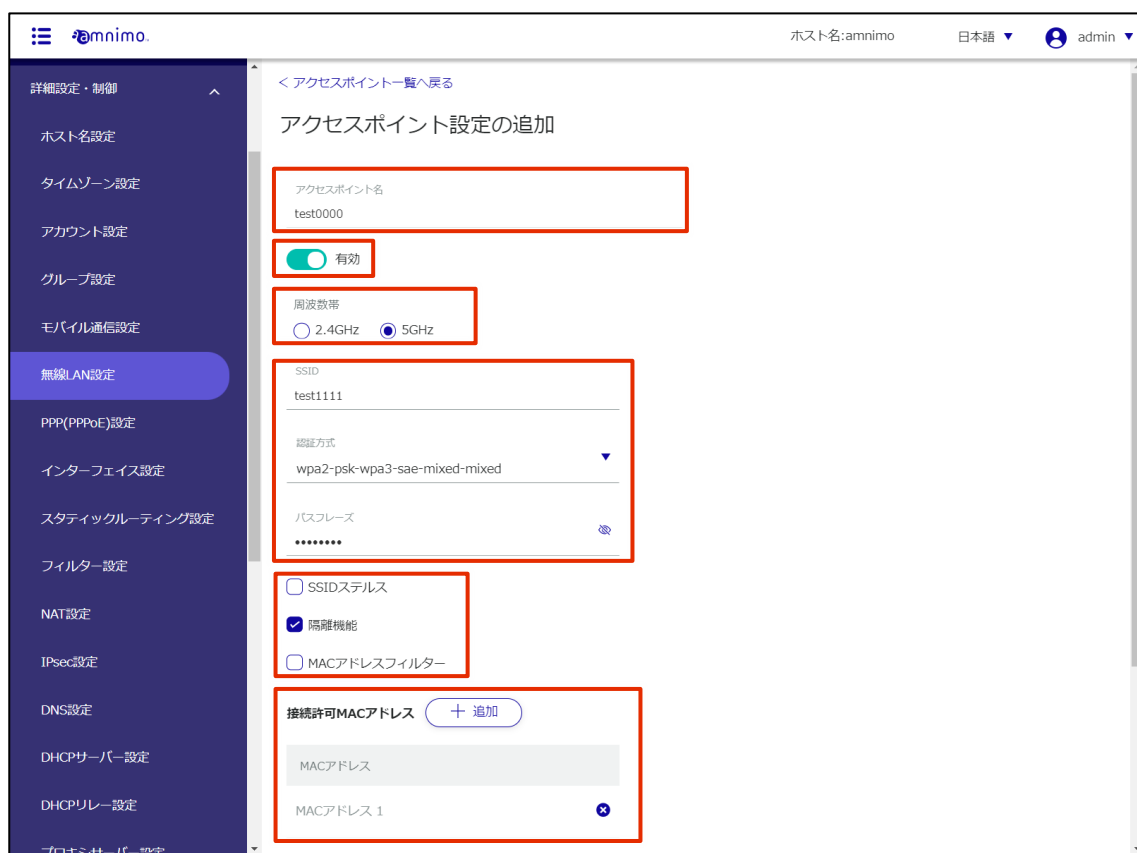
アクセスポイント設定を追加します。

操作手順

- 1 [新規追加] ボタンをクリックします。

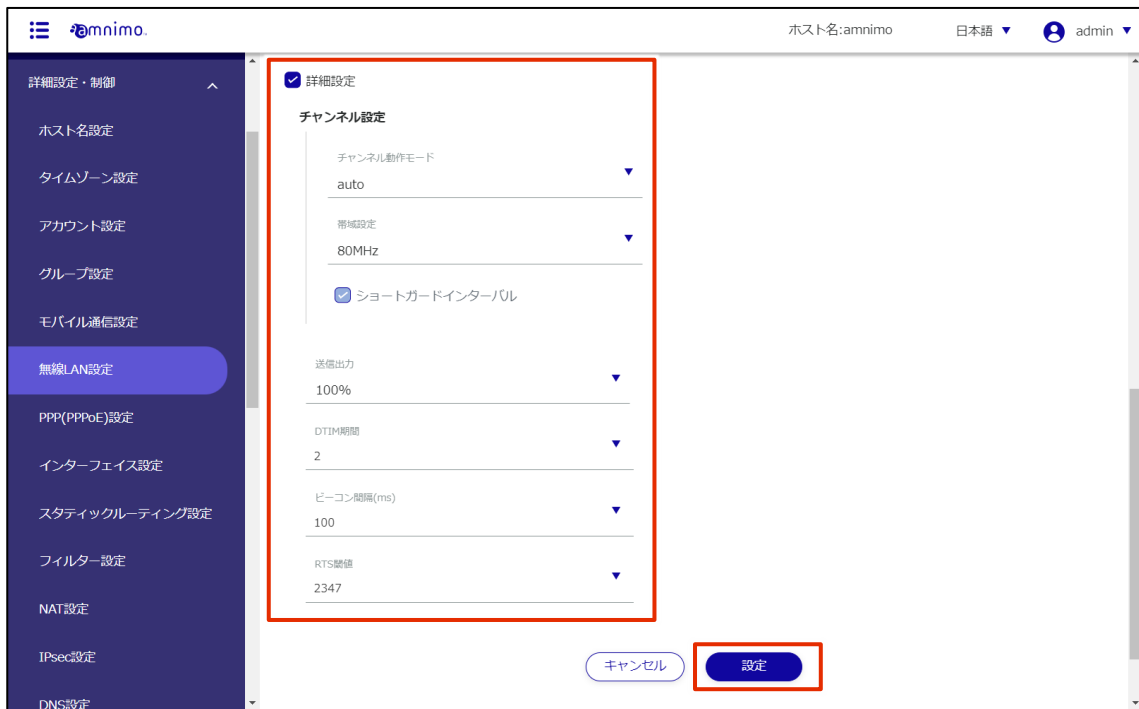
| アクセスポイント名 | SSID | 周波数帯 |
|-----------|------------------|--------|
| amnimo-2G | amnimo-2G-004744 | 2.4GHz |
| amnimo-5G | amnimo-5G-004745 | 5GHz |

- 2 アクセスポイント設定に必要な項目を入力します。
 - 1 アクセスポイント名を入力します。
 - 2 トグルをクリックして有効にします。
 - 3 周波数帯を選択します。
 - 4 SSID と認証方式、パスワードを入力します。
 - 5 必要に応じて、SSID ステルス、隔離機能、MAC アドレスフィルターにチェックを入れます。
 - 6 必要に応じて、接続を許可する MAC アドレスを指定します。



7 [詳細設定] にチェックを入れると、更に詳細な設定をすることが可能です。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



2.7.4 アクセスポイント設定を編集する

登録されているアクセスポイント設定を編集します。

操作手順

- 1 編集したいアクセスポイント設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「アクセスポイント設定の編集」画面が表示されます。

- 2 アクセスポイント設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。

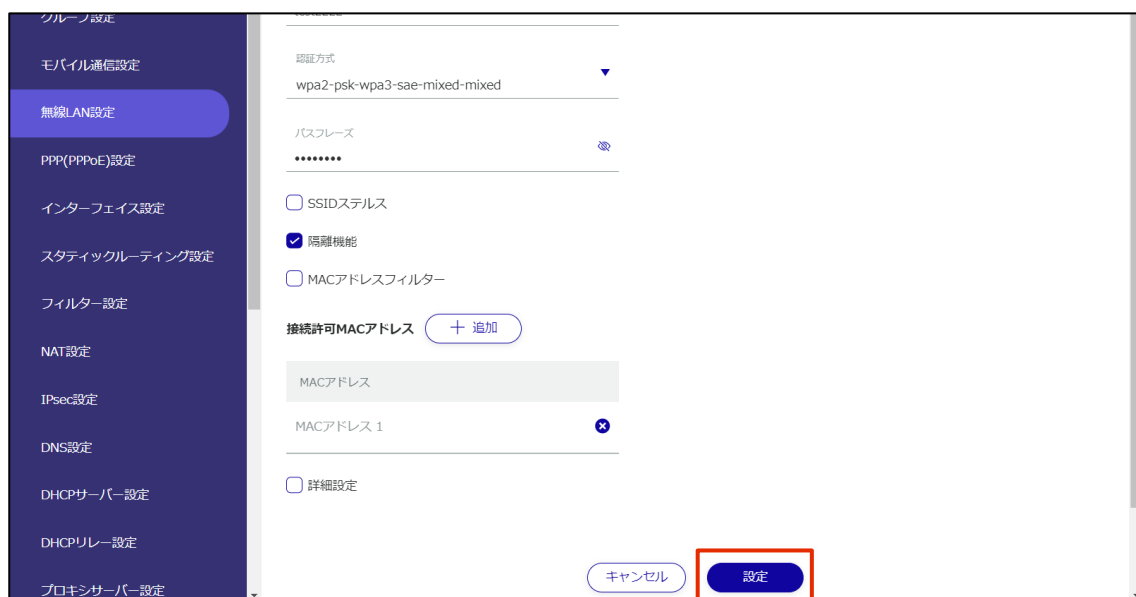


無線 LAN 搭載コンパクトルーターは、デフォルトの状態では br0 の DHCP サーバーが有効になっているため、br0 で使用されているインターフェイスの変更ができなくなっています。wlan0 も br0 のインターフェイスとして使用されているため、wlan0 が使用している下記アクセスポイントの変更ができなくなっています。

- ・ amnimo-2G-xxxxxx
- ・ amnimo-5G-xxxxxx

アクセスポイント設定を編集する前に、DHCP サーバー設定画面から br0 を無効に設定してください。

➔ DHCP サーバー設定の編集については『2.15.3 DHCP サーバー設定を編集する』を参照してください。



アクセスポイント設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.7.5 アクセスポイント設定を削除する

登録されているアクセスポイント設定の削除には、アクセスポイント設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいアクセスポイント設定をすべて選択してから削除する方法があります。

アクセスポイント設定を個別に削除する

アクセスポイント設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 削除したいアクセスポイント設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



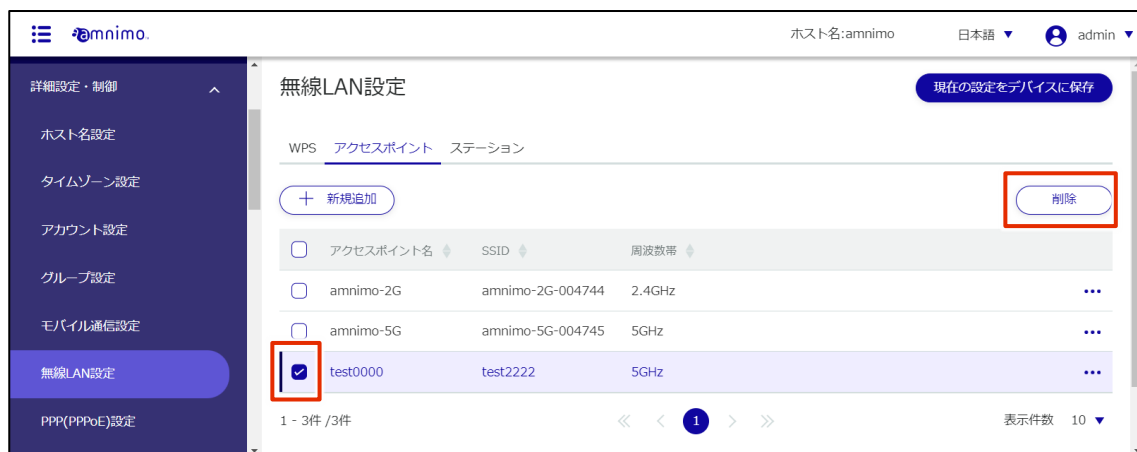
アクセスポイント設定が削除されます。

アクセスポイント設定を複数選択して削除する

削除したいアクセスポイント設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のアクセスポイント設定を一括で削除する際に便利です。アクセスポイント設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 削除したいアクセスポイント設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したアクセスポイント設定が削除されます。

2.7.6 ステーション設定の一覧を表示する

ステーション設定の一覧を表示します。

操作手順

1 「ステーション」タブをクリックします。

登録されているステーション設定の一覧が表示されます。



工場出荷時の無線 LAN 搭載コンパクトルーターは、電源投入後すぐに無線 LAN アクセスポイントとして動作を開始するため、ステーション設定は登録されていません。

ステーションモードで動作させるためには幾つかの手順を踏む必要があります。詳しい手順は『amnimo C シリーズコンパクトルータースタートアップガイド』を参照してください。

The screenshot shows the amnimo web interface. The top navigation bar includes the amnimo logo, host name 'amnimo', language '日本語', and user 'admin'. The left sidebar contains various settings categories, with '無線LAN設定' (Wireless LAN Settings) highlighted. The main content area is titled '無線LAN設定' and has tabs for 'WPS', 'アクセスポイント', and 'ステーション'. The 'ステーション' tab is active, showing a table with one entry: 'test1' with frequency '両方'. A red box highlights the table content. Below the table, there is a pagination indicator '1 - 1件 / 1件' and a '表示件数 10' dropdown. A '新規追加' (Add New) button is visible above the table, and a '削除' (Delete) button is visible to the right. A '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button is located at the top right of the settings area.

2.7.7 ステーション設定を追加する

ステーション設定を追加します。

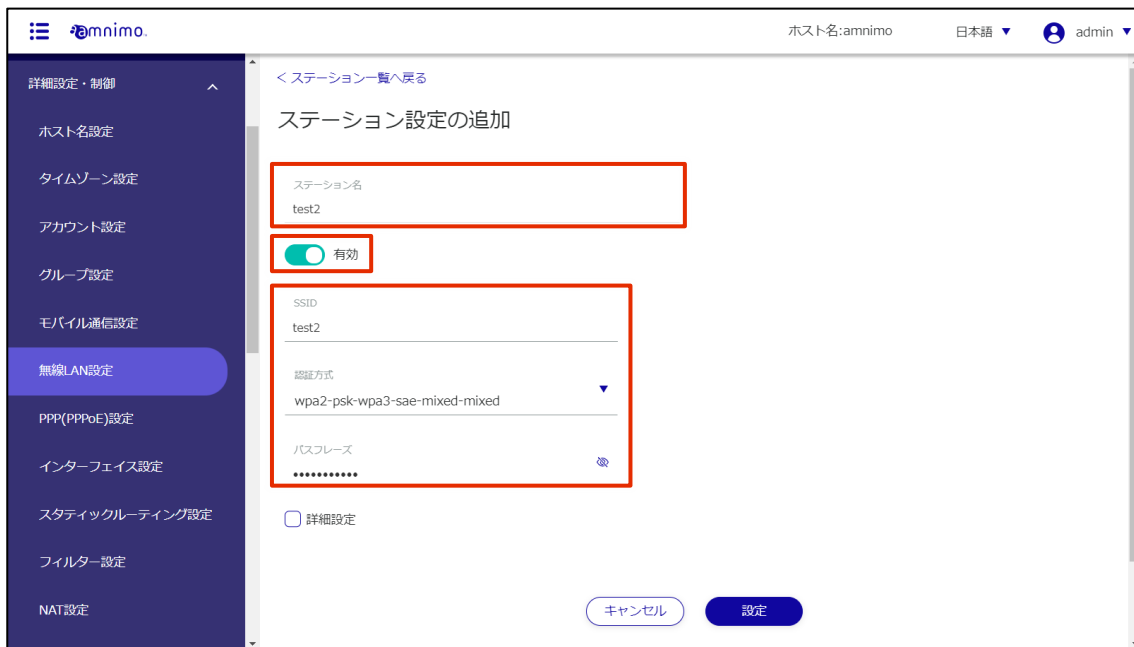
操作手順

- 1 [新規追加] ボタンをクリックします。



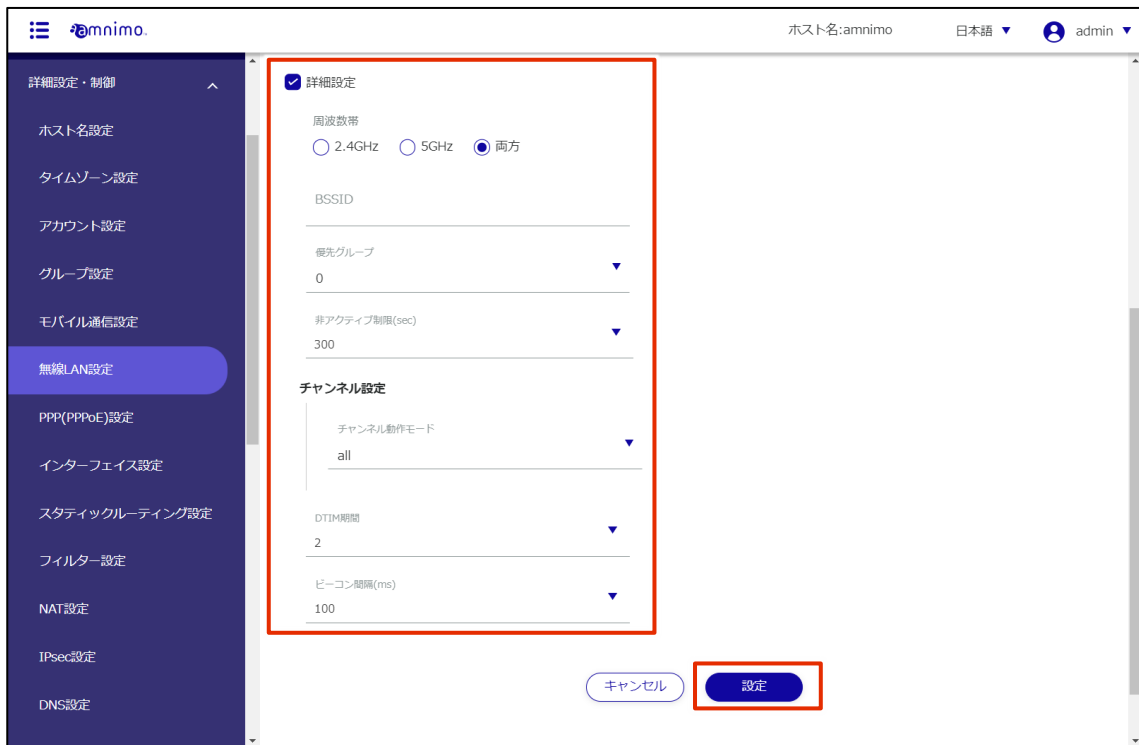
- 2 ステーション設定に必要な項目を入力します。

- ① ステーション名を入力します。
- ② トグルをクリックして有効にします。
- ③ SSID と認証方式、パスフレーズを入力します。ユーザー名とパスワードを設定します。



4 [詳細設定] にチェックを入れると、更に詳細な設定をすることが可能です。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



2.7.8 ステーション設定を編集する

登録されているステーション設定を編集します。

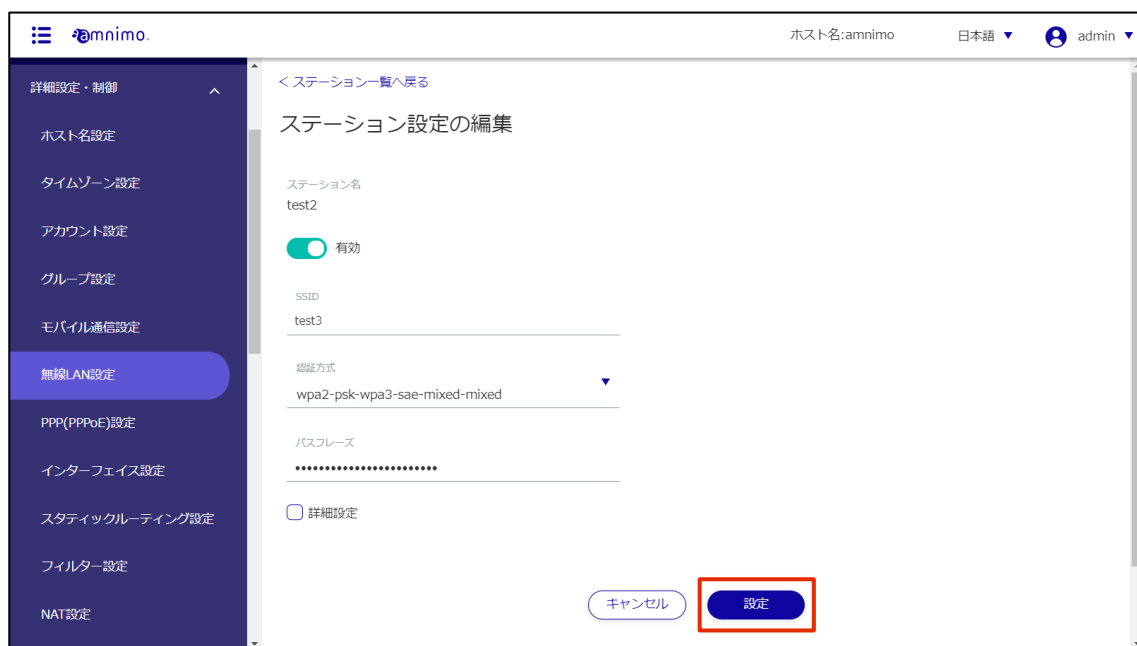
操作手順

- 1 編集したいステーション設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「ステーション設定の編集」画面が表示されます。

- 2 ステーション設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



ステーション設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.7.9 ステーション設定を削除する

登録されているステーション設定の削除には、ステーション設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいステーション設定をすべて選択してから削除する方法があります。

ステーション設定を個別に削除する

ステーション設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 削除したいステーション設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



ステーション設定が削除されます。

ステーション設定を複数選択して削除する

削除したいステーション設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のステーション設定を一括で削除する際に便利です。ステーション設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 削除したいステーション設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したステーション設定が削除されます。

2.8 PPP(PPPoE)設定をする

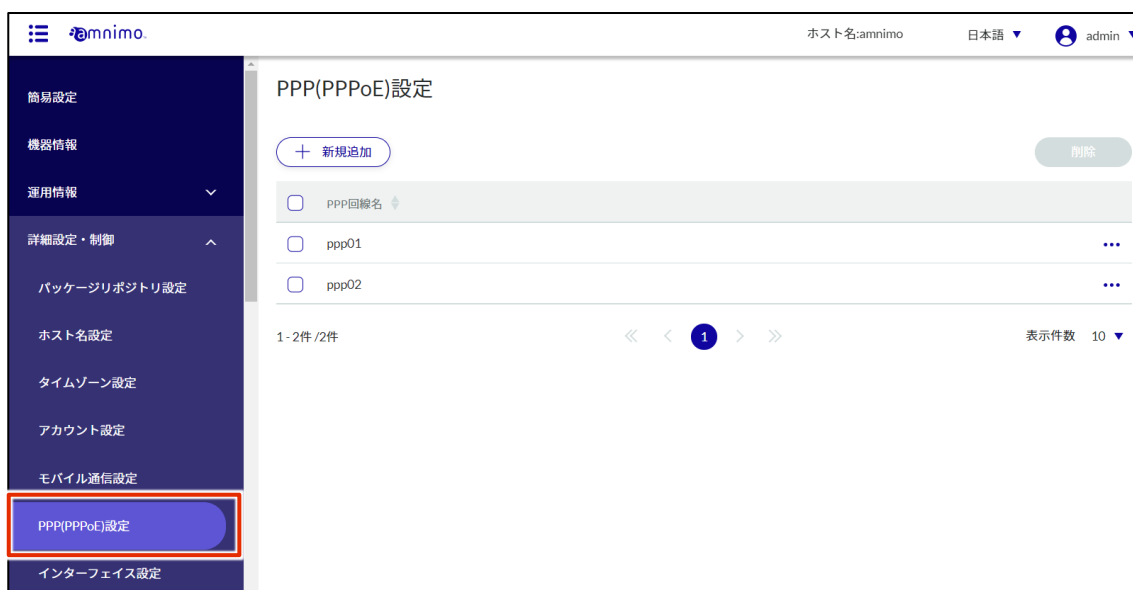
ここでは、PPP(PPPoE)設定の新規追加、編集、削除の操作について説明します。

2.8.1 PPP(PPPoE)設定の一覧を表示する

PPP(PPPoE)設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「PPP(PPPoE)設定」をクリックします。
「PPP(PPPoE)設定」画面に、登録されている PPP(PPPoE)設定の一覧が表示されます。



PPP(PPPoE)設定一覧の「PPP 回線名」のタブをクリックすることで、PPP 回線名の降順／昇順で PPP(PPPoE)設定を並び替えることができます。



2.8.2 PPP(PPPoE)設定を追加する

PPP(PPPoE)設定を追加します。

操作手順

- 1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「PPP(PPPoE)設定の追加」画面が表示されます。

- 2 PPP(PPPoE)設定に必要な項目を入力します。

- ① PPP 回線名を入力します。
- ② メッセージ出力レベルを選択します。
- ③ 認証方式を選択します。
- ④ ユーザー名とパスワードを設定します。

設定が完了したら「設定」をクリックします。



PPP(PPPoE)設定が追加されます。

The screenshot displays the 'PPP(PPPoE)設定' (PPP(PPPoE) Settings) page in the amnimo management interface. The page title is 'PPP(PPPoE)設定'. On the left, there is a navigation menu with options: '簡易設定', '機器情報', '運用情報', '詳細設定・制御', 'パッケージリポジトリ設定', 'ホスト名設定', and 'タイムゾーン設定'. The main content area shows a list of PPP settings. At the top, there is a '+ 新規追加' (Add New) button and a '削除' (Delete) button. Below, there is a search bar for 'PPP回線名' (PPP Line Name). The list contains two entries: 'ppp01' and 'ppp02'. The 'ppp02' entry is highlighted with a red rectangular box. At the bottom of the list, it shows '1-2件 / 2件' (1-2 items / 2 items) and a pagination control with a '1' in a blue circle. On the right side, there is a '表示件数 10' (Display 10 items) dropdown menu.

2.8.3 PPP(PPPoE)設定を編集する

登録されている PPP(PPPoE)設定を編集します。

操作手順

- 1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、編集したい PPP(PPPoE)設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「PPP(PPPoE)設定の編集」画面が表示されます。

- 2 PPP(PPPoE)設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



PPP(PPPoE)設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.8.4 PPP(PPPoE)設定を削除する

登録されている PPP(PPPoE)設定の削除には、PPP(PPPoE)設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したい PPP(PPPoE)設定をすべて選択してから削除する方法があります。

PPP(PPPoE)設定を個別に削除する

PPP(PPPoE)設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、削除したい PPP(PPPoE)設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



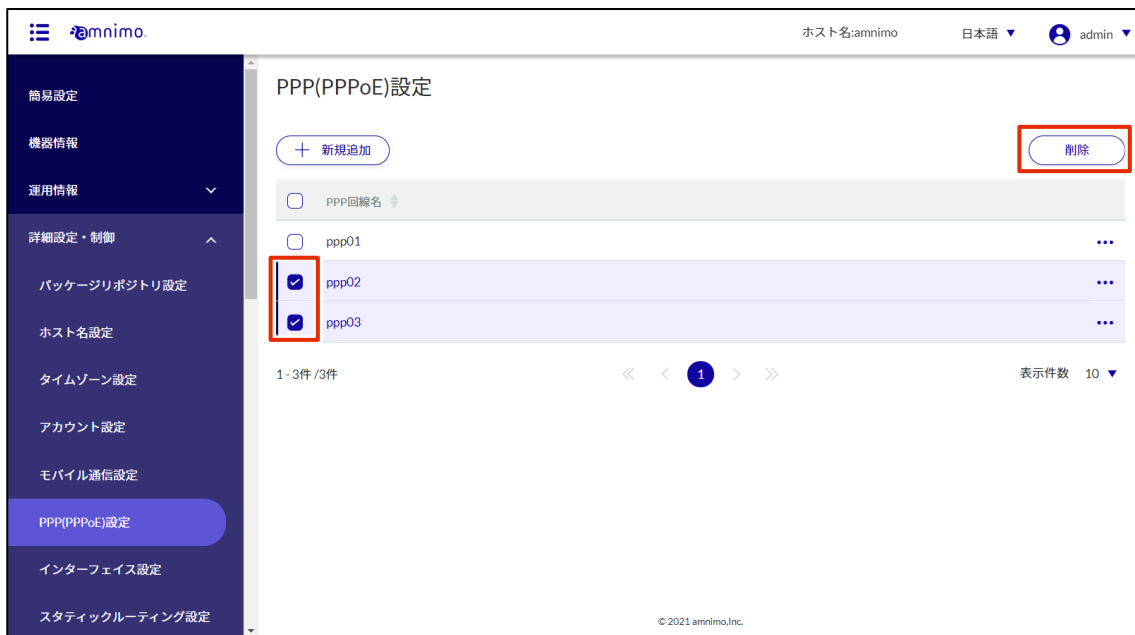
PPP(PPPoE)設定が削除されます。

PPP(PPPoE)設定を複数選択して削除する

削除したい PPP(PPPoE)設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数の PPP(PPPoE)設定を一括で削除する際に便利です。PPP(PPPoE)設定を 1 つだけ選択して削除することもできます。

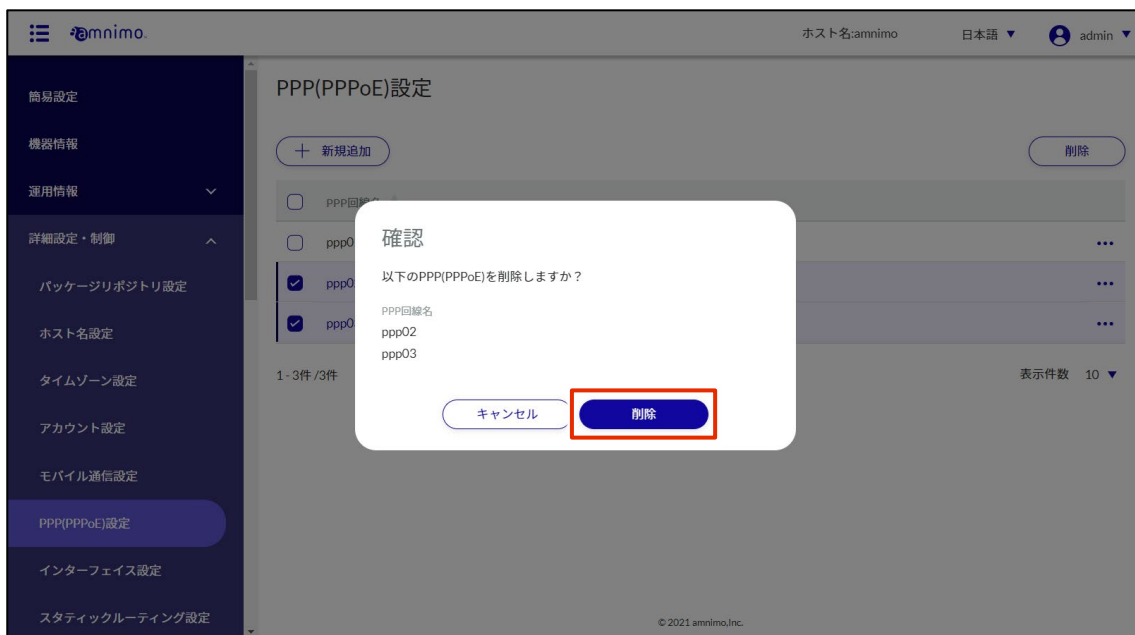
操作手順

- 1 「PPP(PPPoE)設定」画面で、削除したい PPP(PPPoE)設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択した PPP(PPPoE)設定が削除されます。

2.9 インターフェイス設定をする

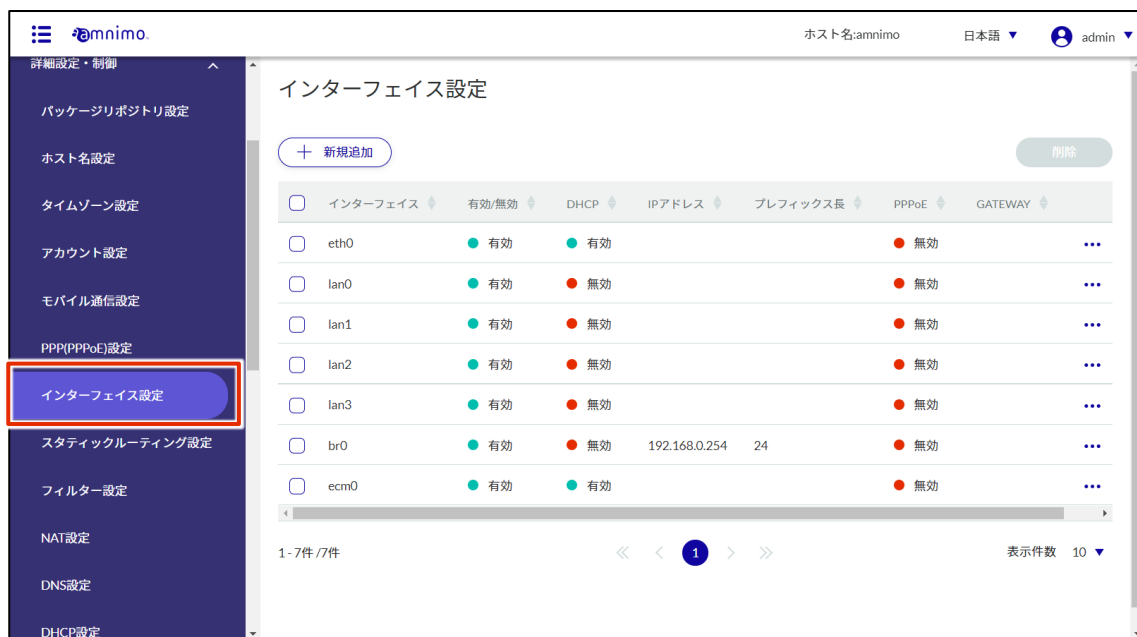
本製品のインターフェイス設定をします。

2.9.1 インターフェイス設定の一覧を表示する

インターフェイス設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「インターフェイス設定」をクリックします。
「インターフェイス設定」画面に、登録されているインターフェイス設定の一覧が表示されます。



インターフェイス設定一覧の「インターフェイス」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順でインターフェイス設定を並び替えることができます。

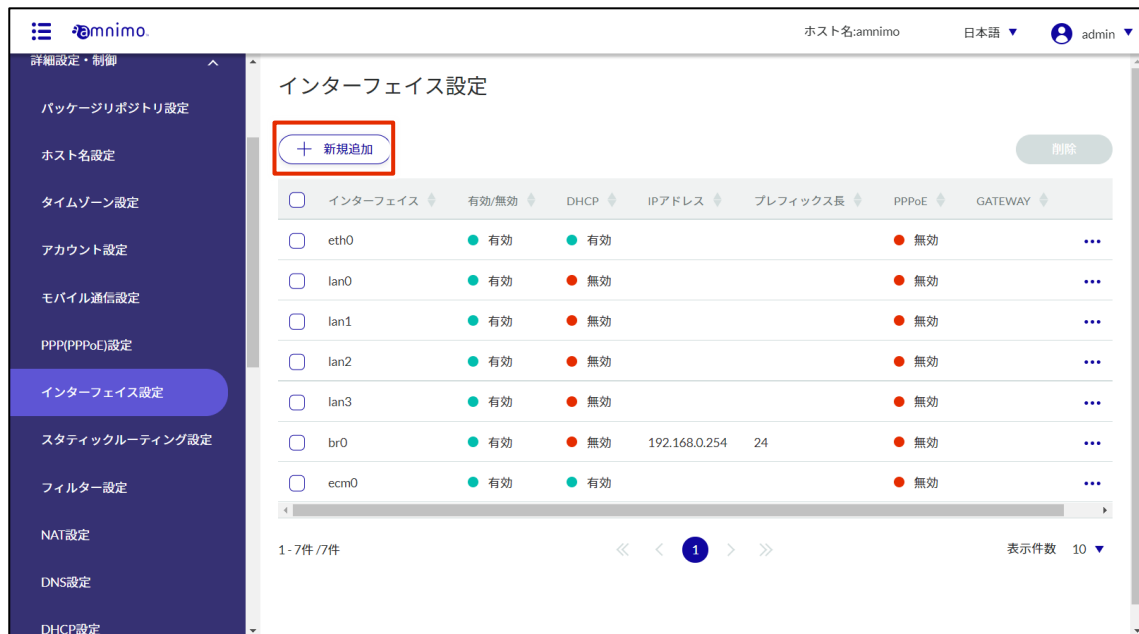
| インターフェイス | 有効/無効 | DHCP | IPアドレス | プレフィックス長 | PPPoE | GATEWAY |
|----------|-------|------|--------|----------|-------|---------|
| eth0 | 有効 | 有効 | | | 無効 | |
| lan0 | 有効 | 無効 | | | 無効 | |

2.9.2 インターフェイスを追加する

インターフェイス設定を追加します。

操作手順

- 1 「インターフェイス設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「インターフェイスの追加」画面が表示されます。

- 2 インターフェイスを選択します。



選択したインターフェイスに応じて設定項目が異なります。

eth0 の追加

eth0 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。



- AI エッジゲートウェイの場合、本項は eth0 ではなく wan0 に対して操作を行ってください。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
 - 2 DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS 優先度と ROUTE メトリックを選択します。DNS 優先度は 0~99 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。ROUTE メトリックは 0~255 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。



- 3 固定 (IPv4) にチェックを入れた場合、IP アドレス、プレフィックス長、GATEWAY を指定します。

※ファームウェアバージョン v2.1.0 以降については、「IP アドレス」という表示になり、チェック欄はありません。IP アドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力した場合は、プレフィックス長を設定します。GATEWAY にチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなる IP アドレスを設定します。
- 4 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU、リンクモードを選択します。MTU は 576~9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1500 です。
- 5 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。
- 6 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします（コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません）。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

The screenshot displays a web-based configuration interface for network settings. On the left, a vertical sidebar lists various configuration categories: ホスト名設定, タイムゾーン設定, アカウント設定, モバイル通信設定, PPP(PPPoE)設定, インターフェイス設定 (highlighted in blue), スタティックルーティング設定, フィルター設定, NAT設定, DNS設定, and DHCP設定. The main content area is titled '固定(IPv4)' and contains several sections: 1. A section for IP configuration with fields for 'IPアドレス' and 'プレフィックス長' (set to a dropdown), and a 'GATEWAY' field. 2. A section for '動的SNAT' which is currently disabled. 3. A section for 'MTU' set to '1500' and 'リンクモード' set to '100baseT-Auto'. 4. A section for 'PROXY-ARP' which is checked. 5. A section for '起動時確認無効' which is unchecked. At the bottom right of the main area, there are two buttons: 'キャンセル' and '設定' (highlighted in blue).

ホスト名設定
タイムゾーン設定
アカウント設定
モバイル通信設定
PPP(PPPoE)設定
インターフェイス設定
スタティックルーティング設定
フィルター設定
NAT設定
DNS設定
DHCP設定

固定(IPv4)

IPアドレス プレフィックス長 ▼

GATEWAY

動的SNAT

MTU
1500

リンクモード
100baseT-Auto

PROXY-ARP

起動時確認無効

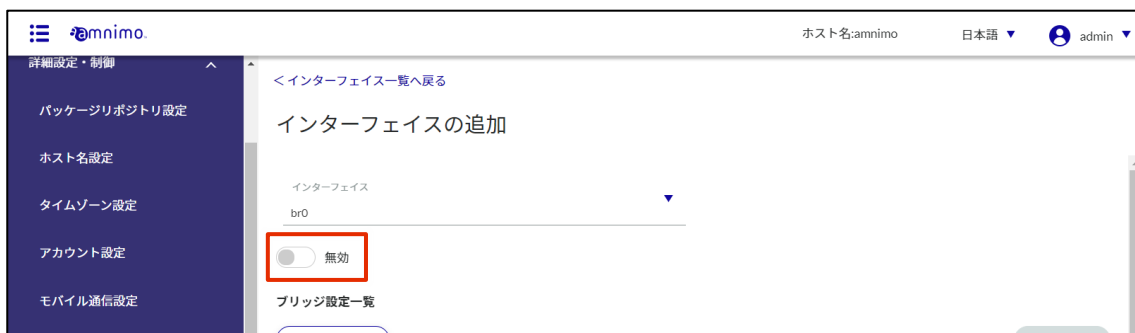
キャンセル 設定

br0 の追加

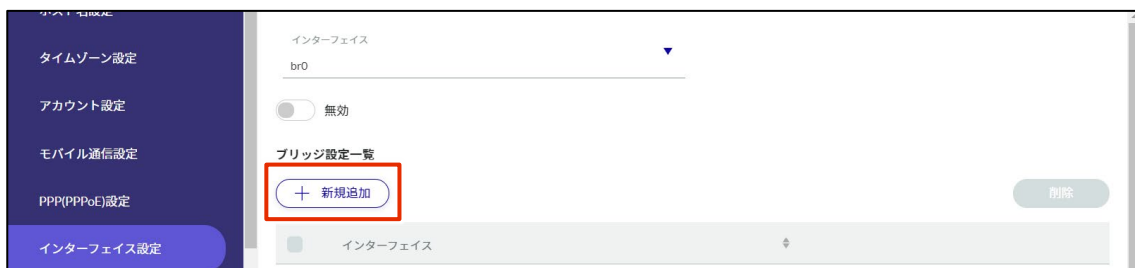
br0 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。



- 2 ブリッジ設定一覧の [新規追加] ボタンで、ブリッジするインターフェイスを追加することができます。
追加する場合は、インターフェイスを選択し、[設定] をクリックします。



- 3 DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS 優先度と ROUTE メトリックを選択します。
DNS 優先度は 0~99 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
ROUTE メトリックは 0~255 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
- 4 固定 (IPv4) にチェックを入れた場合、IP アドレス、プレフィックス長、GATEWAY を指定します。
※ファームウェアバージョン v2.1.0 以降については、「IP アドレス」という表示になり、チェック欄はありません。IP アドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力した場合は、プレフィックス長を設定します。GATEWAY にチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなる IP アドレスを設定します。
- 5 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU を選択します。
MTU は 576~9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1500 です。
- 5 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。
- 6 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。
※エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ) のファームウェア v1.X.X でのみ表示されます。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'インターフェイスの追加' (Add Interface) configuration page in the amnimo web interface. The page is titled 'インターフェイスの追加' and includes several sections:

- DHCP(IPv4)**: Checked. DNS優先度 (DNS Priority) is set to 30. ROUTEメトリック (Route Metric) is set to 30.
- 固定(IPv4)**: Checked. Fields for IPアドレス (IP Address), プレフィックス長 (Prefix Length), and GATEWAY are present.
- 動的SNAT**: Unchecked. MTU (Maximum Transmission Unit) is set to 1500.
- PROXY-ARP**: Checked.
- 起動時確認無効**: Unchecked.

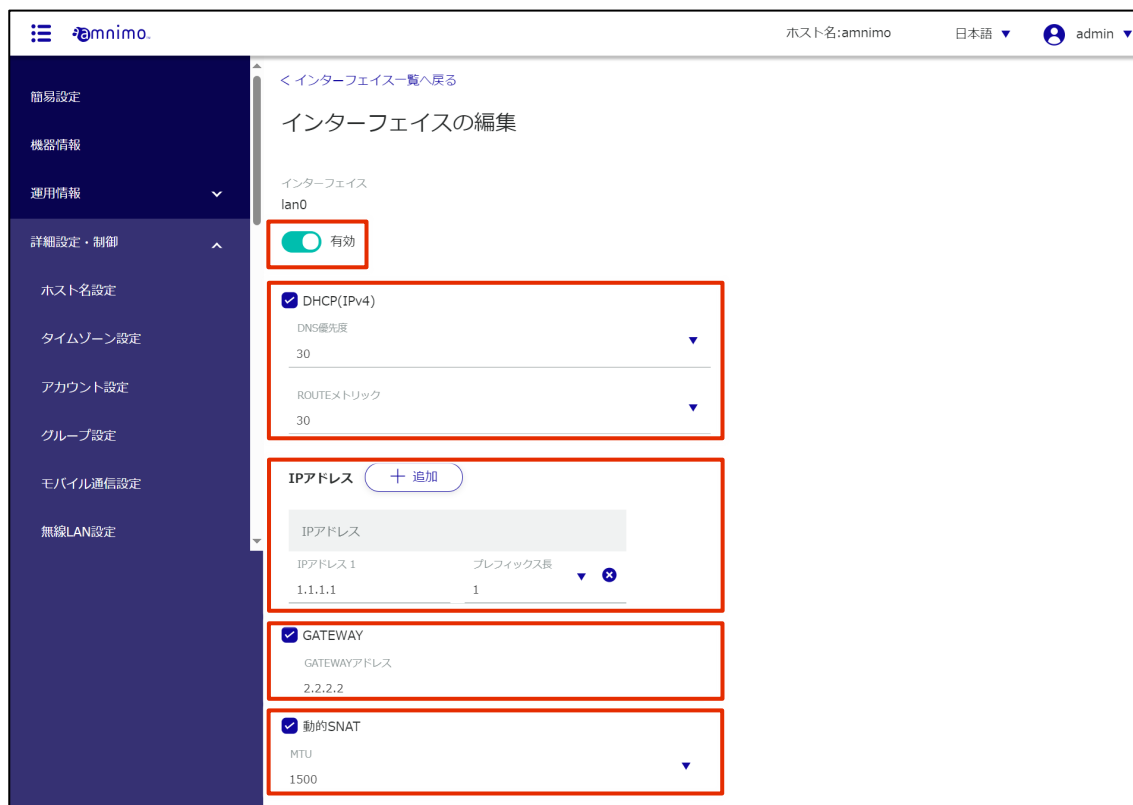
At the bottom of the page, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Apply/Save).

lan0～lan3 の追加

lan0～lan3 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
 - 2 DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS 優先度と ROUTE メトリックを選択します。
DNS 優先度は 0～99 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
ROUTE メトリックは 0～255 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
※無線 LAN 搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみで表示されます。
 - 3 IP アドレス (「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能) を入力し、プレフィックス長を設定します。
※無線 LAN 搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみで表示されます。
 - 4 GATEWAY にチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなる IP アドレスを設定します。
※無線 LAN 搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみで表示されます。
 - 5 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU を選択します。
MTU は 576～9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1500 です。
※無線 LAN 搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) のみで表示されます。



- ⑥ リンクモードを選択します。
- ⑦ 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。
※無線 LAN 搭載コンパクトルーター（AC15、AC25）のみで表示されます。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



ecm0 / rmnet_data0 の追加

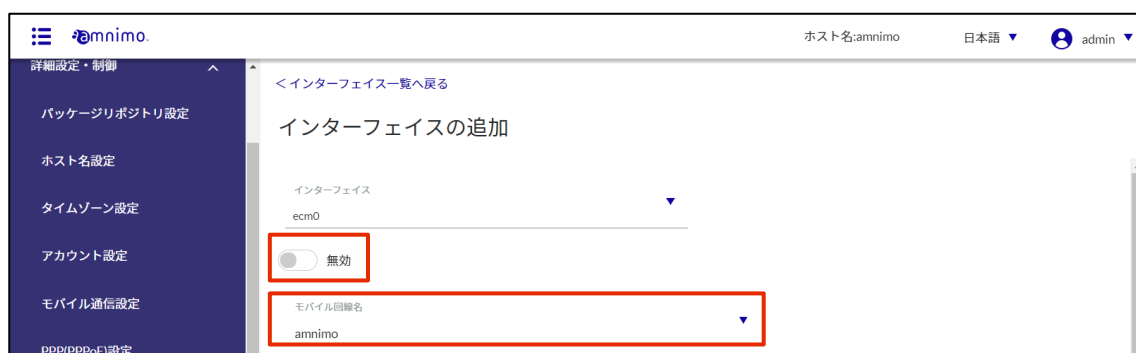
ecm0 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

コンパクトルーターをご利用の場合は、ecm0 を rmnet_data0 に読み換えてください。

操作手順

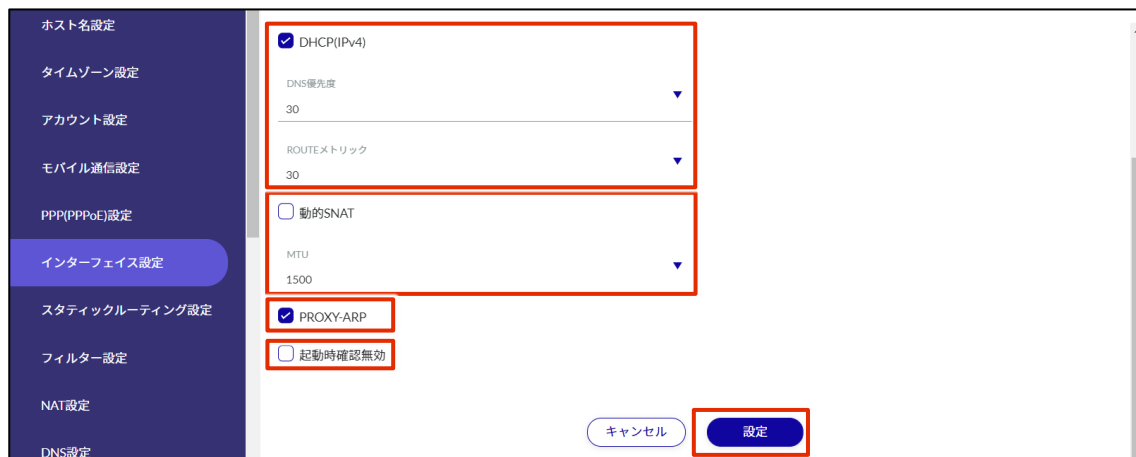
1 各項目を設定します。

- ① トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
- ② モバイル回線名を選択します。
[詳細設定・制御] - [モバイル通信設定] にて設定されたモバイル回線名を選択することができます。



- ③ DHCP (IPv4) にチェックを入れた場合、DNS 優先度と ROUTE メトリックを選択します。
DNS 優先度は 0~99 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
ROUTE メトリックは 0~255 の範囲で設定します。デフォルト値は 30 です。
- ④ 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU を選択します。
MTU は 576~9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1500 です。
- ⑤ 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。
- ⑥ 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。
※エッジゲートウェイ (amnimo G シリーズ)、IoT ルーター (amnimo R シリーズ) のファームウェア v1.X.X でのみ表示されます。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

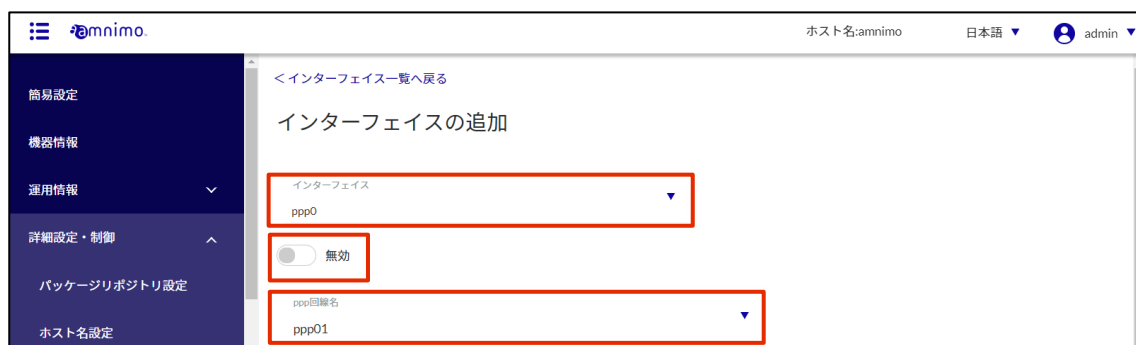


ppp0 の追加

ppp0 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
 - 2 ppp 回線名を選択します。
[詳細設定・制御] - [PPP(PPPoE)設定] にて設定された ppp 回線名を選択することができます。



- 3 PPPoE(Ipv4)にチェックを入れた場合、DNS 優先度と ROUTE メトリックを選択します。
DNS 優先度は 0~99 の範囲で設定します。デフォルト値は 20 です。
ROUTE メトリックは 0~255 の範囲で設定します。デフォルト値は 20 です。
 - 4 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU を選択します。
MTU は 576~9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1454 です。
 - 5 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。
 - 6 必要に応じて、機器起動時のインターフェイス起動待ち無効機能を有効にします。
- 設定が完了したら [設定] をクリックします。



wlan0～wlan1 の追加

wlan0～wlan1 のインターフェイスを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 トグルをクリックし「有効」「無効」を切り替えます。
 - 2 モードを選択します。

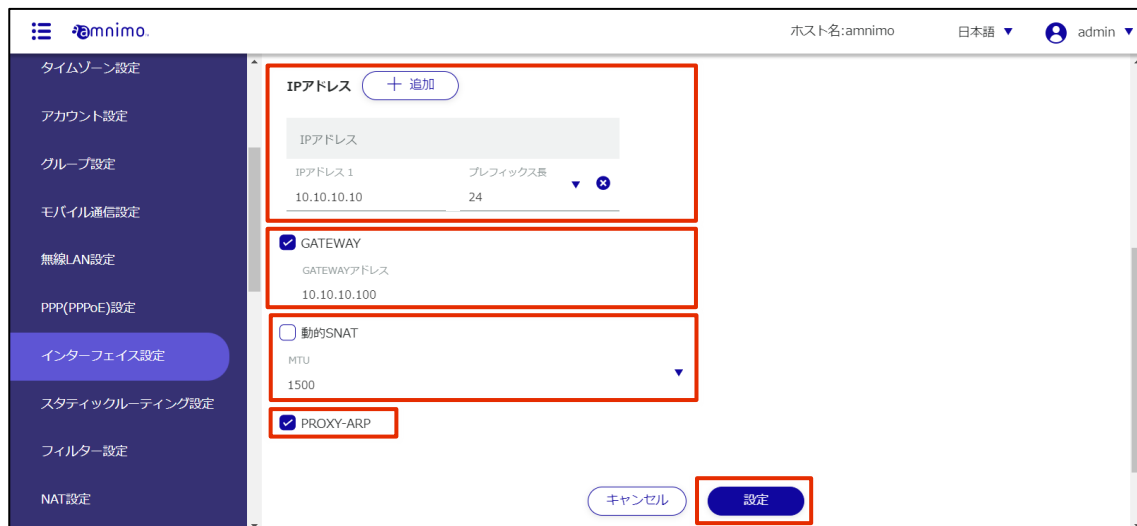


- アクセスポイントモードを選択した場合、インターフェイスと SSID は必ず以下の通り対応させてください。
 - ・ wlan0 : amnimo-2G-xxxxxx
 - ・ wlan1 : amnimo-5G-xxxxxx
- ステーションモードは、インターフェイス「wlan0」のみで使用可能です。



- 3 IP アドレス（「追加」ボタンをクリックすることで複数設定可能）を入力し、プレフィックス長を設定します。
- 4 GATEWAY にチェックを入れた場合、デフォルトゲートウェイとなる IP アドレスを設定します。
- 5 動的 SNAT にチェックを入れた場合、MTU を選択します。
MTU は 576～9676 の範囲で設定します。デフォルト値は 1500 です。
- 5 必要に応じて、PROXY-ARP を有効にします。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

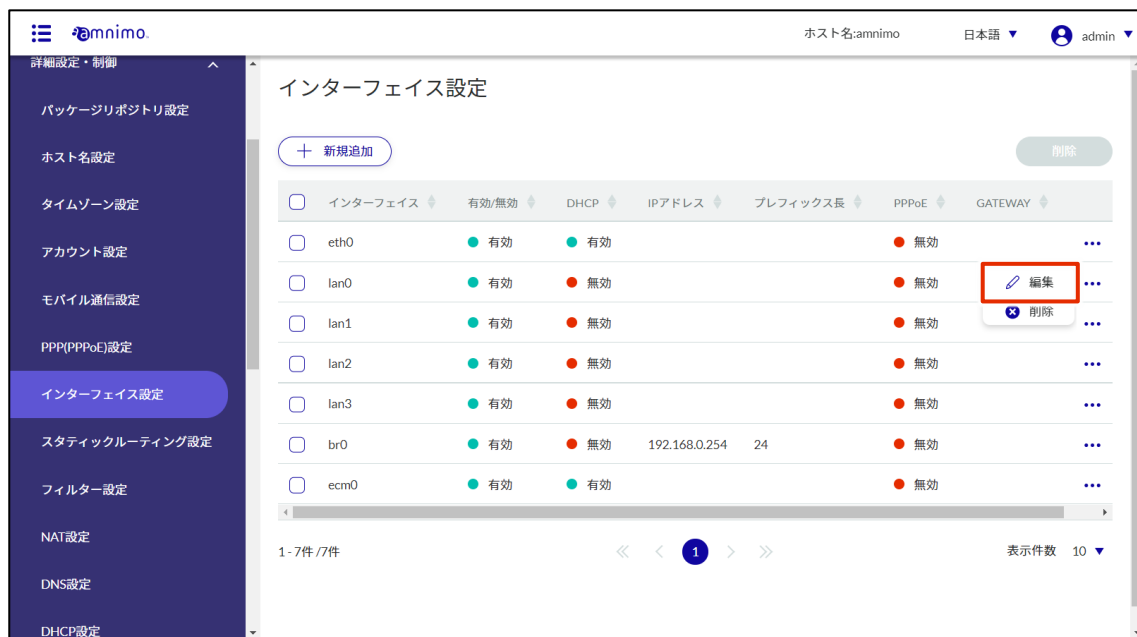


2.9.3 インターフェイスを編集する

登録されているインターフェイス設定を編集します。

操作手順

- 1 「インターフェイス設定」画面で、編集したいインターフェイス設定の右に表示されている […] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「インターフェイス設定の編集」画面が表示されます。

- 2 インターフェイス設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



インターフェイス設定の情報が更新されます。

IP アドレスが変更されるため、設定完了後に新しい URL にアクセスしてください。

2.9.4 インターフェイスを削除する

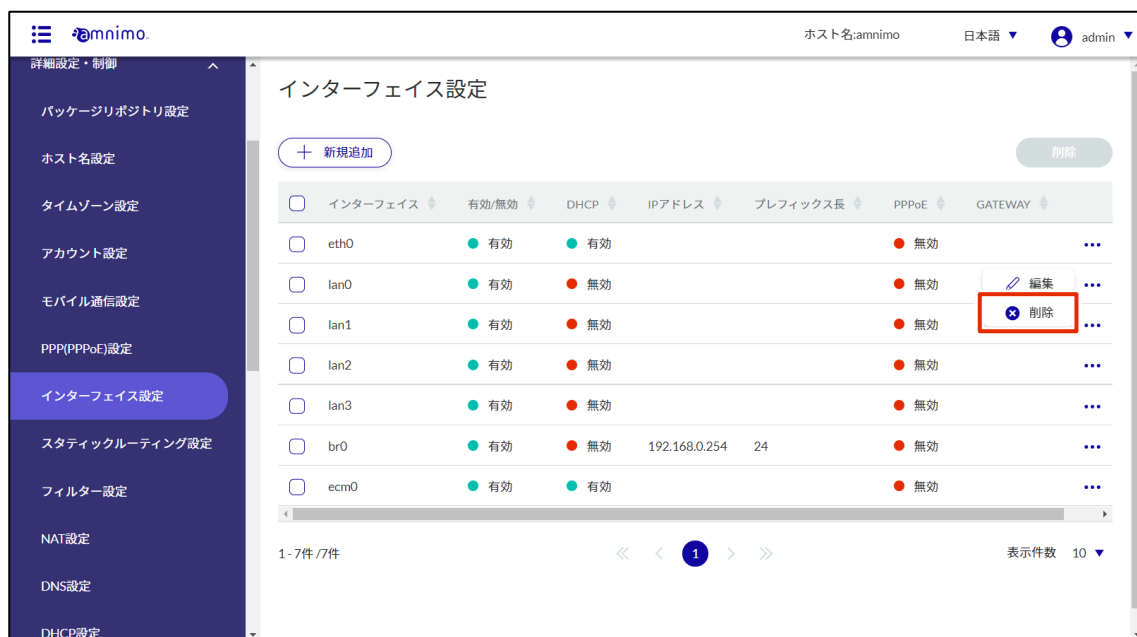
登録されているインターフェイスの削除には、インターフェイスの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいインターフェイスをすべて選択してから削除する方法があります。

インターフェイスを個別に削除する

インターフェイスの操作メニューから削除を選択する方法です。

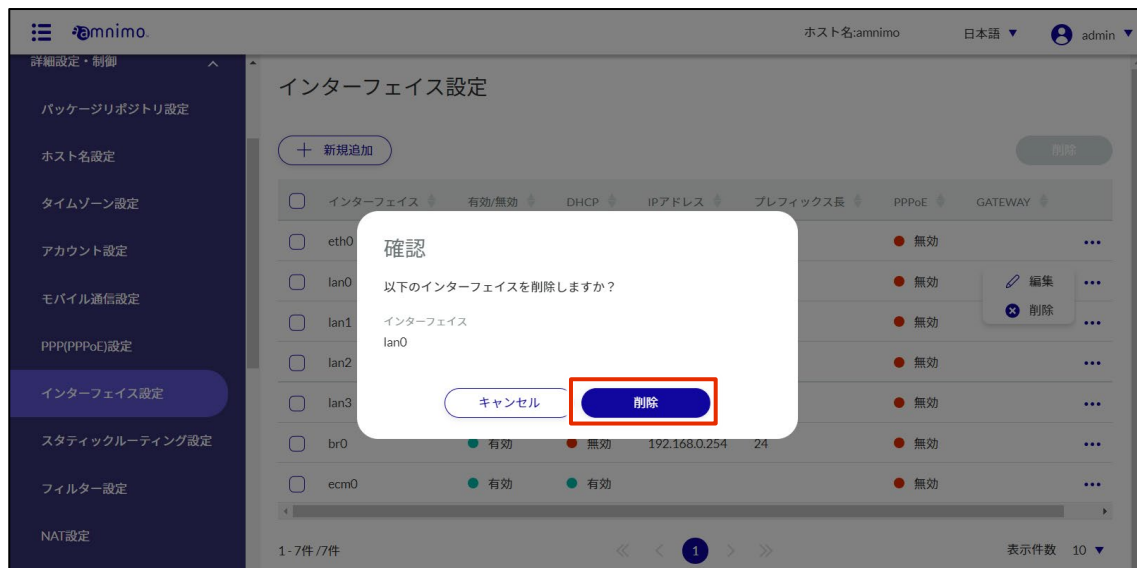
操作手順

- 1 「インターフェイス設定」画面で、削除したいインターフェイスの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



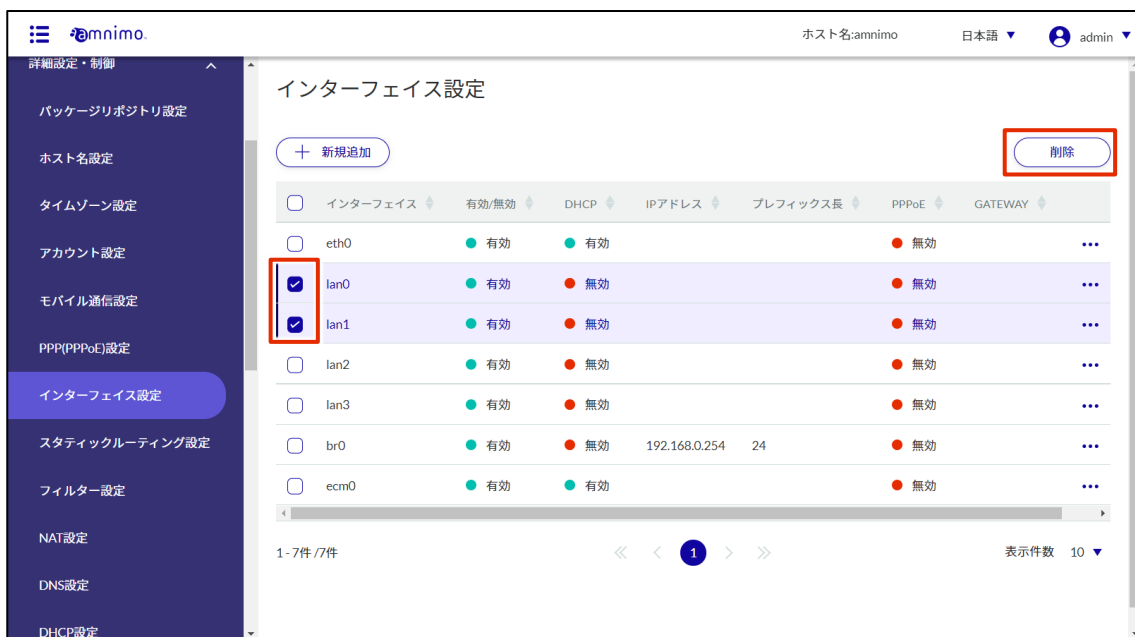
インターフェイスが削除されます。

インターフェイスを複数選択して削除する

削除したいインターフェイスにチェックを付けてから削除する方法です。複数のインターフェイスを一括で削除する際に便利です。インターフェイスを1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「インターフェイス設定」画面で、削除したいインターフェイスの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したインターフェイスが削除されます。

2.10 スタティックルーティング設定をする

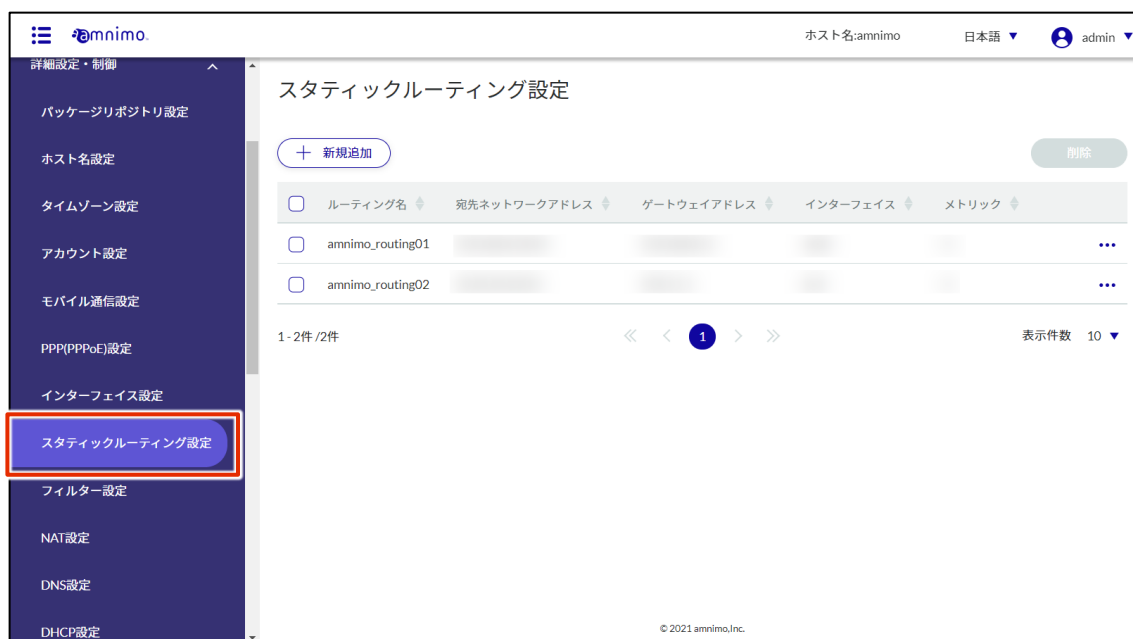
本製品のスタティックルーティング設定をします。

2.10.1 スタティックルーティング設定の一覧を表示する

スタティックルーティング設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「スタティックルーティング設定」をクリックします。
「スタティックルーティング設定」画面に、登録されているスタティックルーティング設定の一覧が表示されます。



スタティックルーティング設定一覧の「ルーティング名」「宛先ネットワークアドレス」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でスタティックルーティング設定を並び替えることができます。



2.10.2 スタティックルーティング設定を追加する

スタティックルーティング設定を追加します。

操作手順

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、「新規追加」ボタンをクリックします。



「スタティックルーティング設定の追加」画面が表示されます。

- 2 スタティックルーティングの設定に必要な項目を入力します。

- ① ルーティング名を入力します。
- ② 宛先ネットワークアドレスと、プレフィックス長を指定します。
- ③ ゲートウェイアドレスを指定します。
- ④ インターフェイスを選択します。
- ⑤ メトリックを設定します。

設定が完了したら「設定」をクリックします。



スタティックルーティング設定が追加されます。

The screenshot shows the 'amnimo' web interface for configuring static routing. The page title is 'スタティックルーティング設定'. On the left is a navigation menu with options like 'パッケージリポジトリ設定', 'ホスト名設定', and 'スタティックルーティング設定' (which is selected). The main content area has a table of routing entries. The third entry, 'amnimo_routing03', is highlighted with a red box. It has a priority network address of '172.16.10/24', a gateway address of '192.168.0.10', an interface of 'eth0', and a metric of '0'. There are also buttons for '+ 新規追加' and '削除'.

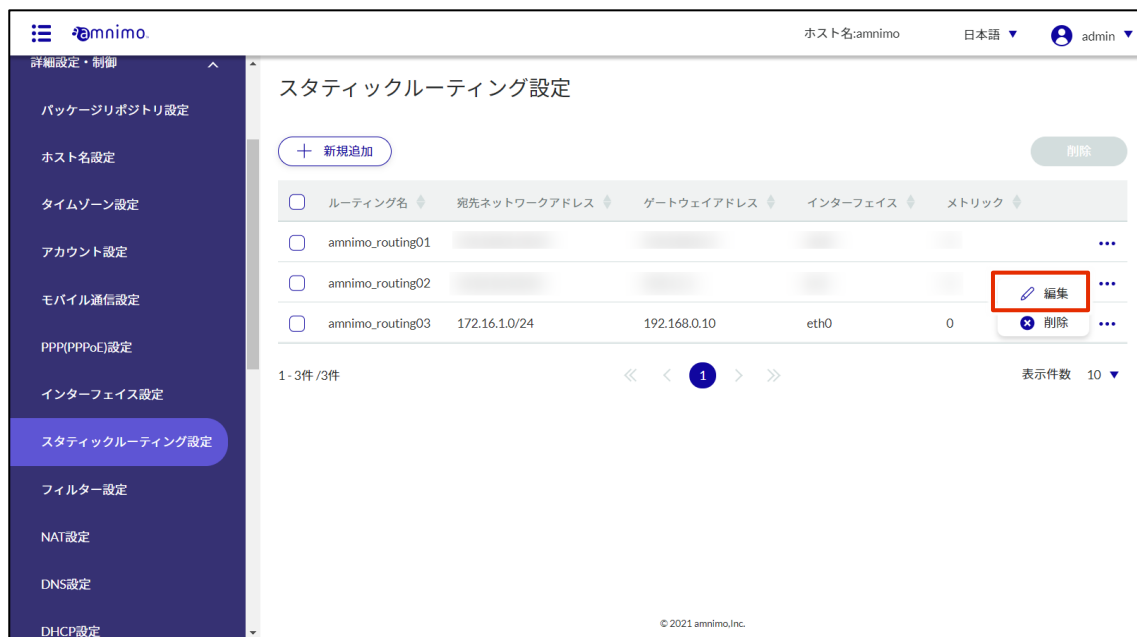
| ルーティング名 | 宛先ネットワークアドレス | ゲートウェイアドレス | インターフェイス | メトリック |
|------------------|--------------|--------------|----------|-------|
| amnimo_routing01 | | | | |
| amnimo_routing02 | | | | |
| amnimo_routing03 | 172.16.10/24 | 192.168.0.10 | eth0 | 0 |

2.10.3 スタティックルーティング設定を編集する

登録されているスタティックルーティング設定を編集します。

操作手順

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、編集したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「スタティックルーティング設定の編集」画面が表示されます。

- 2 スタティックルーティング設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



スタティックルーティング設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.10.4 スタティックルーティング設定を削除する

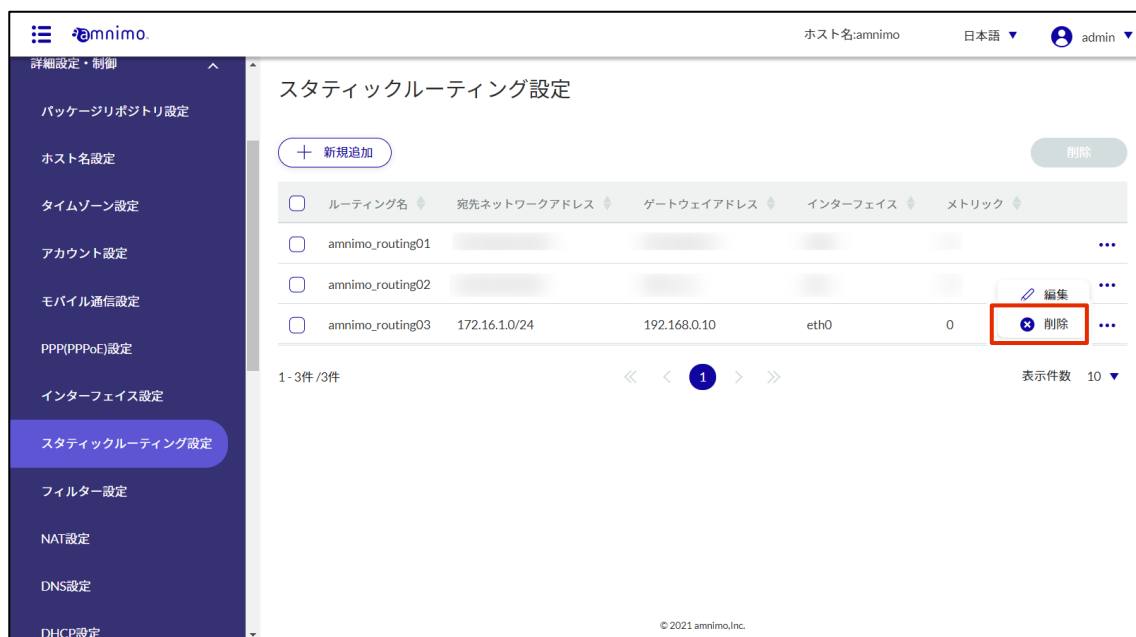
登録されているスタティックルーティング設定の削除には、スタティックルーティング設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいスタティックルーティング設定をすべて選択してから削除する方法があります。

スタティックルーティング設定を個別に削除する

スタティックルーティング設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



スタティックルーティング設定が削除されます。

スタティックルーティング設定を複数選択して削除する

削除したいスタティックルーティング設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のスタティックルーティング設定を一括で削除する際に便利です。スタティックルーティング設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「スタティックルーティング設定」画面で、削除したいスタティックルーティング設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したスタティックルーティング設定が削除されます。

2.11 フィルター設定をする



グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

本製品のフィルター設定をします。

ここでは、パケットの入力、出力、転送に対して、パケットの合致条件と、合致した場合にパケットをどのように扱うかをポリシーとして設定します。

合致条件およびポリシーの組み合わせのことをルールと呼びます。複数のルールを設定した場合、インデックスの小さい順に確認されます。あるルールが適用された場合、それ以降のインデックスのルールは確認されません。いずれのルールにも適用されなかった場合、デフォルトポリシーが適用されます。

2.11.1 フィルター設定の一覧を表示する

フィルター設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [フィルター設定] をクリックします。

「フィルター設定」画面に、デフォルトポリシーの設定状況と、ルール一覧が表示されます。

画面上部の「入力設定一覧」「転送設定一覧」「出力設定一覧」タブで、各設定の画面に移動することが出来ます（下図は「入力設定一覧」画面です）。

| インデックス番号 | 有効/無効 | ポリシー | パケットの合致条件 |
|----------|-------|------|--------------------------------|
| 10 | 有効 | 許可 | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |
| 20 | 有効 | 許可 | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |
| 30 | 有効 | 破棄 | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |



フィルター設定一覧の「インデックス番号」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順でフィルター設定を並び替えることができます。

| インデックス番号 | 有効/無効 | ポリシー | パケットの合致条件 |
|----------|-------|------|--------------------------------|
| 21 | 有効 | 許可 | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |
| 22 | 有効 | 許可 | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |

2.11.2 デフォルトポリシーを設定する

パケットフィルタリングのデフォルトポリシーを設定します。

入力、転送、出力のそれぞれに設定することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、[入力デフォルトポリシー] の設定状況を確認します。

The screenshot shows the 'Filter Settings' page. The left sidebar contains various configuration options, with 'Filter Settings' selected. The main content area shows the 'Input Default Policy' (入力デフォルトポリシー) set to 'Deny' (破棄). Below this, there is a table of filter rules.

| インデックス番号 | 有効/無効 | ポリシー | パケットの合致条件 |
|----------|-------|------|--------------------------------|
| | | | 送信元IPアドレス 送信先IPアドレス 入力インターフェイス |
| 10 | 有効 | 許可 | |
| 20 | 有効 | 許可 | lo |
| 30 | 有効 | 破棄 | |
| 21 | 有効 | 許可 | eth0 |
| 22 | 有効 | 許可 | br0 |

- 2 「許可」または「破棄」を選択し、[設定] をクリックします。



入力設定、出力設定一覧でデフォルトポリシーを「破棄」に設定すると、HTTP/HTTPS の許可ルールが設定されていないとパケットが遮断されるため、設定が継続できない場合があります。

The screenshot shows the 'Filter Settings' page. The 'Input Default Policy' (入力デフォルトポリシー) is now set to 'Allow' (許可). The '設定' (Settings) button is highlighted with a red box, indicating the next step in the procedure.

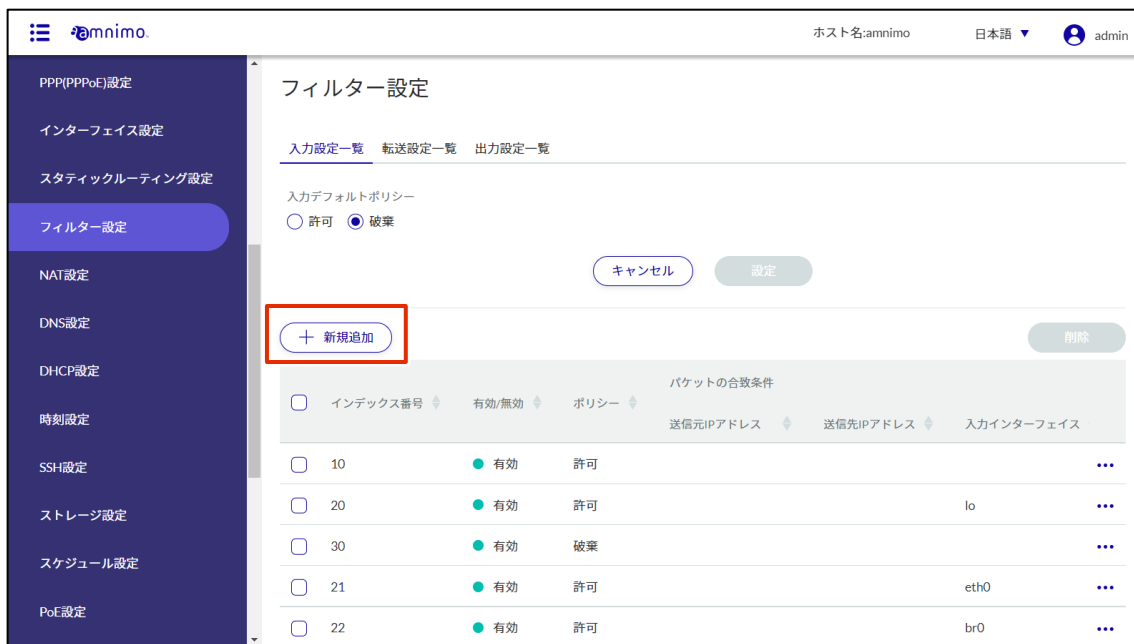
2.11.3 パケットフィルタリングのルールを追加する

パケットフィルタリングのルールを追加します。

入力、転送、出力のそれぞれに設定することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、[新規追加] をクリックします。



- 2 「入力設定の追加」画面で、ルールを設定します。

- 1 インデックス番号を指定します。
インデックス番号は 1~1000 の範囲で指定します。
- 2 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 3 パケットに対してのポリシーを設定します。
「拒否」を選択した場合はエラー応答するため、応答内容も選択します。



4 パケットの合致条件を設定します。

The screenshot shows a configuration page for packet matching. On the left is a dark blue sidebar with menu items: SSH設定, ストレージ設定, スケジュール設定, and PoE設定. The main content area is titled 'パケットの合致条件' and contains several sections:

- 送信元IPアドレス**: Includes a radio button for '一致しない', an 'IPアドレス' input field, and a 'プレフィックス長' dropdown menu.
- 送信先IPアドレス**: Includes a radio button for '一致しない', an 'IPアドレス' input field, and a 'プレフィックス長' dropdown menu.
- 入カインターフェイス**: Includes a radio button for '一致しない' and an 'インターフェイス' dropdown menu.
- プロトコル**: A dropdown menu.
- コントラック**: A section with multiple rows, each containing:
 - 書き換え前の送信元IPアドレス**: Radio button '一致しない', '送信元IPアドレス' input, and 'プレフィックス長' dropdown.
 - 書き換え前の送信元ポート番号もしくは範囲**: Radio button '一致しない', 'ポート番号または範囲開始' input, and '範囲終了' input.
 - 書き換え前の送信先IPアドレス**: Radio button '一致しない', '送信先IPアドレス' input, and 'プレフィックス長' dropdown.
 - 書き換え前の送信先ポート番号もしくは範囲**: Radio button '一致しない', 'ポート番号または範囲開始' input, and '範囲終了' input.
 - 応答の送信元IPアドレス**: Radio button '一致しない', '送信元IPアドレス' input, and 'プレフィックス長' dropdown.
 - 応答の送信元ポート番号もしくは範囲**: Radio button '一致しない', 'ポート番号または範囲開始' input, and '範囲終了' input.
 - 応答の送信先IPアドレス**: Radio button '一致しない', '送信先IPアドレス' input, and 'プレフィックス長' dropdown.
 - 応答の送信先ポート番号もしくは範囲**: Radio button '一致しない', 'ポート番号または範囲開始' input, and '範囲終了' input.

Red rectangular boxes are drawn around the '送信元IPアドレス', '送信先IPアドレス', '入カインターフェイス', 'プロトコル', and each of the eight rows in the 'コントラック' section.

プロトコル

一致しない

プロトコル ▼

パケットの方向

指定なし 発信 応答

接続状態(state)

一致しない

ステート

invalid

new

established

related

untracked

snat

dnat

接続状況(status)

一致しない

ステータス

none

expected

seen_reply

assured

confirmed

個別制限(hashlimit)

動作設定

動作

指定なし

単位時間当たりの平均以内の場合

単位時間当たりの平均を超えた場合

パケットがマッチする回数のパケット最大初期値

モード

送信元IPアドレス

送信先IPアドレス

送信元ポート番号

送信先ポート番号

全体制限(limit)

閾値

時間単位 ▼

スロット上限数

MACアドレス設定

一致しない

MACアドレス

パケットタイプ

一致しない

パケットタイプ ▼

- 5 ログ出力を設定します。
ログ出力レベルを選択し、ログの先頭に付加する文字列を指定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



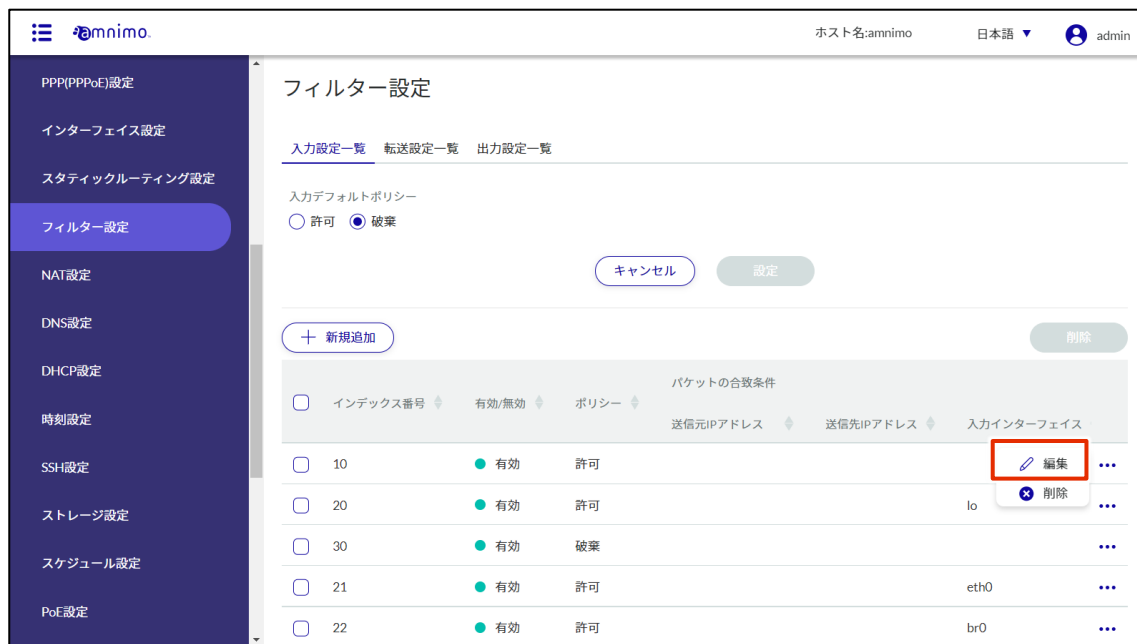
2.11.4 パケットフィルタリングのルールを編集する

パケットフィルタリングのルールを編集します。

入力、転送、出力のそれぞれで編集することが可能です。ここでは入力設定を例に説明しています。

操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、編集したいルールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「入力設定の編集」画面が表示されます。

- 2 ルールを編集して、[設定] ボタンをクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

2.11.5 パケットフィルタリングのルールを削除する

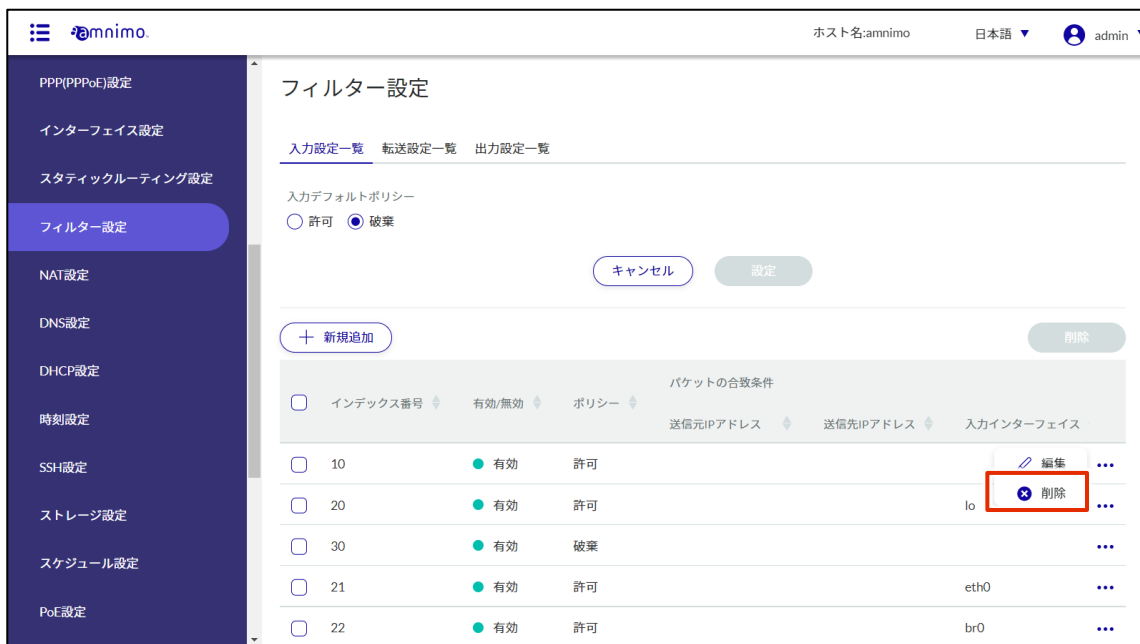
登録されているルールの削除には、各ルールの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいルールをすべて選択してから削除する方法があります。

ルールを個別に削除する

各ルールの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、削除したいルールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



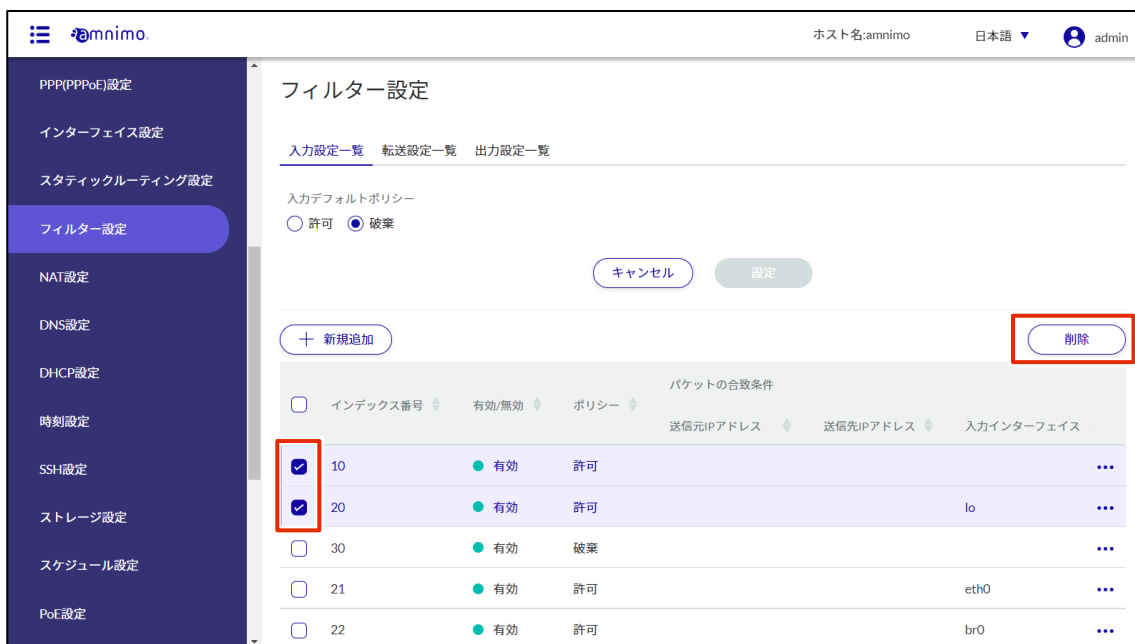
ルールが削除されます。

ルールを複数選択して削除する

削除したいルールにチェックを付けてから削除する方法です。複数のルールを一括で削除する際に便利です。ルール設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、削除したいルール設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したルールが削除されます。

2.12 NAT 設定をする



グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

本製品の NAT 設定をします。

ここでは、動的 SNAT、静的 SNAT、DNAT の操作について説明します。

2.12.1 NAT 設定の一覧を表示する

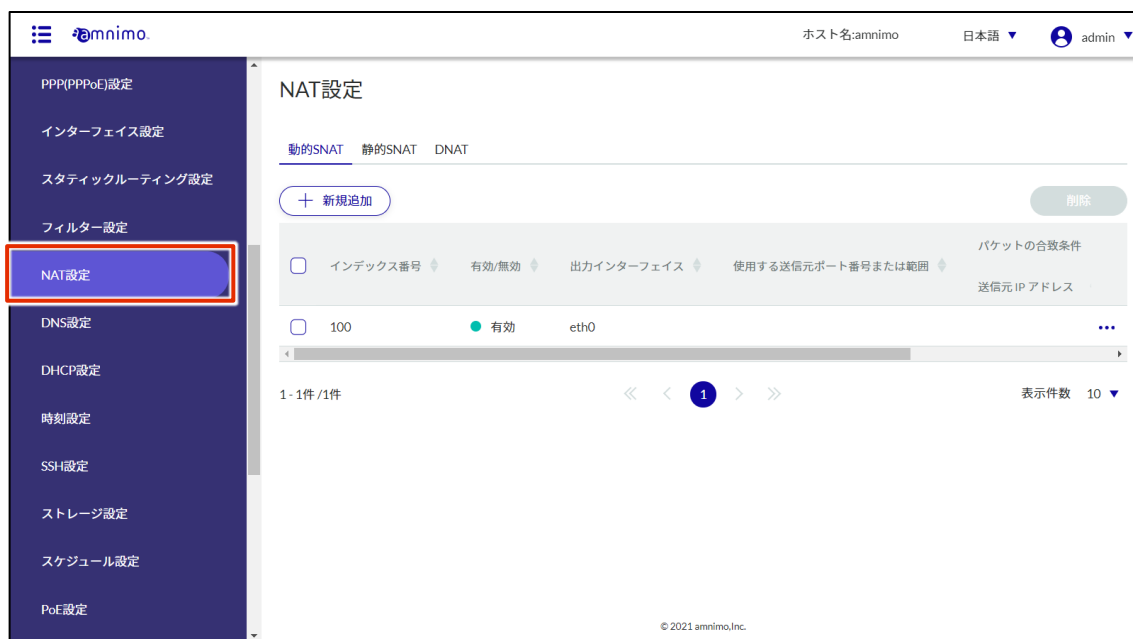
NAT 設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [NAT 設定] をクリックします。

「NAT 設定」画面に、登録されている NAT 設定の一覧が表示されます。

画面上部の「動的 SNAT」「静的 SNAT」「DNAT」タブで、各設定の画面に移動することが出来ます（下図は「動的 SNAT」画面です）。



NAT 設定一覧の「インデックス番号」「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順で NAT 設定を並び替えることができます。

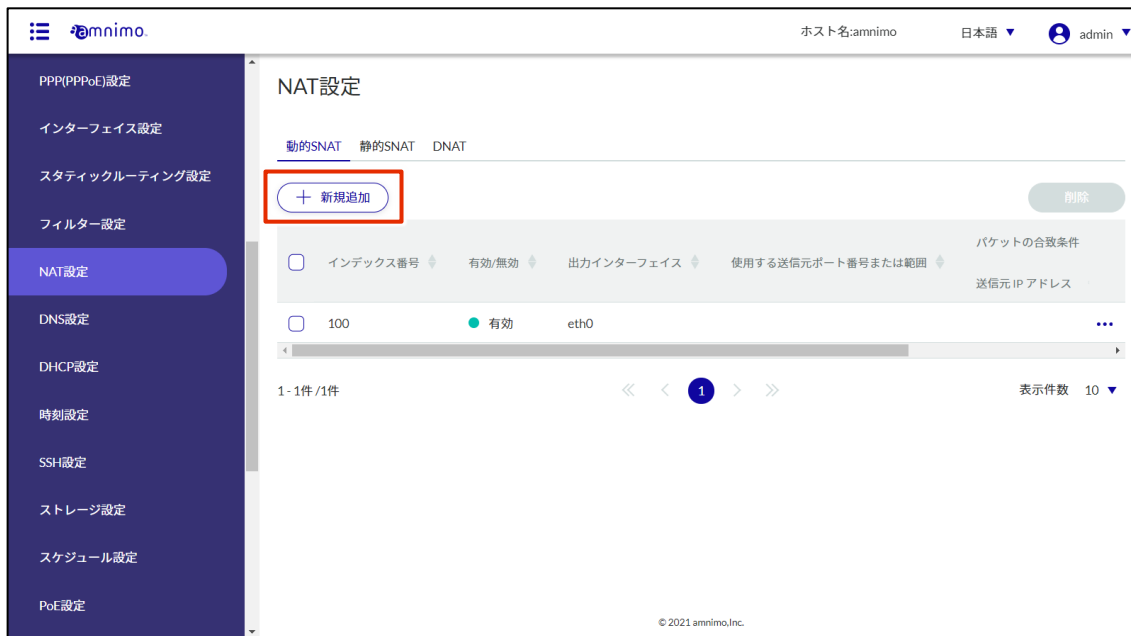


2.12.2 NAT 設定を追加する

動的 SNAT、静的 SNAT、DNAT を設定します。ここでは動的 SNAT を例に説明しています。

操作手順

- 1 「NAT 設定」画面で、「新規追加」をクリックします。



- 2 「入力設定の追加」画面で、ルールを設定します。

- 1 インデックス番号を指定します。
インデックス番号は 1～1000 の範囲で指定します。
- 2 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 3 各 NAT を適用する送信元インターフェイスを設定します。
- 4 各 NAT の送信元ポート番号を設定、または IP アドレスで範囲を設定します。



- 5 パケットの合致条件を設定します。
下図の例は [詳細設定] にチェックを入れています。

スケジュール設定

パケットの合致条件

詳細設定

送信元IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス長▼

送信先IPアドレス

一致しない

IPアドレス プレフィックス長▼

出力インターフェイス

一致しない

インターフェイス ▼

プロトコル ▼

コントラック

書き換え前の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス長▼

書き換え前の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

書き換え前の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス長▼

書き換え前の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信元IPアドレス

一致しない

送信元IPアドレス プレフィックス長▼

応答の送信元ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

応答の送信先IPアドレス

一致しない

送信先IPアドレス プレフィックス長▼

応答の送信先ポート番号もしくは範囲

一致しない

ポート番号または範囲開始 範囲終了

プロトコル

一致しない

プロトコル ▼

パケットの方向

指定なし 発信 応答

接続状態(state)

一致しない

ステート

invalid

new

established

related

untracked

snat

dnat

閾値

時間単位 ▼

スロット上限数

MACアドレス設定

一致しない

MACアドレス

パケットタイプ

一致しない

パケットタイプ ▼

- ⑥ ログ出力を設定します。
ログ出力レベルを選択し、ログの先頭に付加する文字列を指定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

ログ出力

ログ出力レベル ▼

無効

出力時の付加文字列

キャンセル 設定

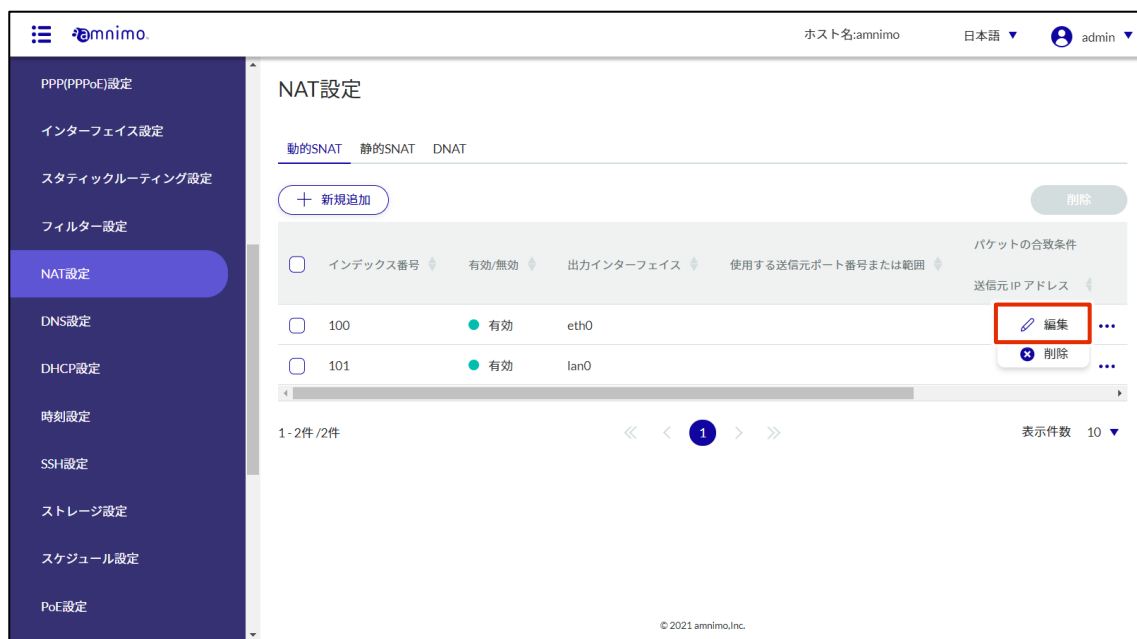
2.12.3 NAT 設定を編集する

NAT 設定を編集します。

動的 SNAT、静的 SNAT、DNAT のそれぞれで編集することが可能です。ここでは動的 SNAT を例に説明しています。

操作手順

- 1 「NAT」画面で、編集したいルール右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「動的 SNAT 設定の編集」画面が表示されます。

- 2 NAT 設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

2.12.4 NAT 設定を削除する

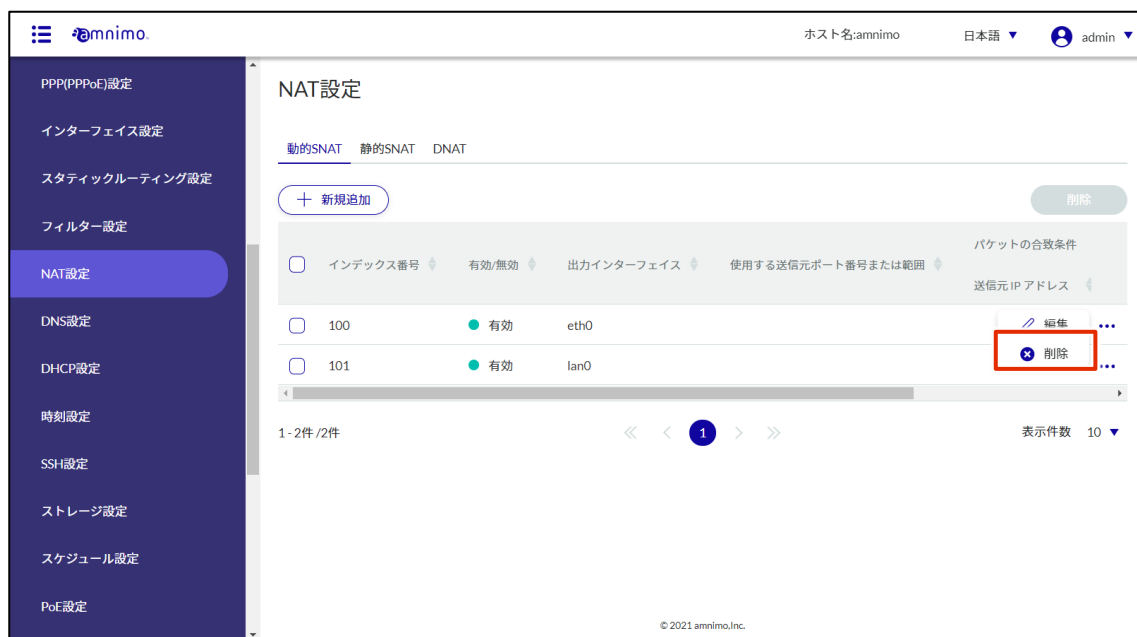
登録されている NAT 設定の削除には、各 NAT 設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したい NAT 設定をすべて選択してから削除する方法があります。

NAT 設定を個別に削除する

各 NAT 設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「NAT 設定」画面で、削除したい NAT 設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



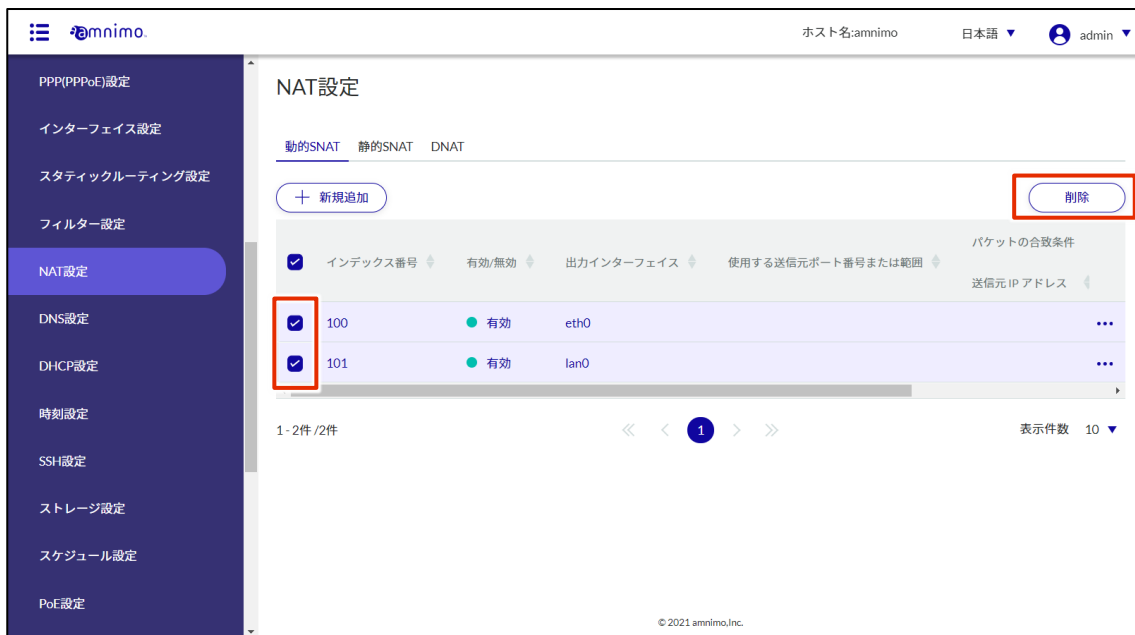
NAT 設定が削除されます。

NAT 設定を複数選択して削除する

削除したい NAT 設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数の NAT 設定を一括で削除する際に便利です。NAT 設定を 1 つだけ選択して削除することもできます。

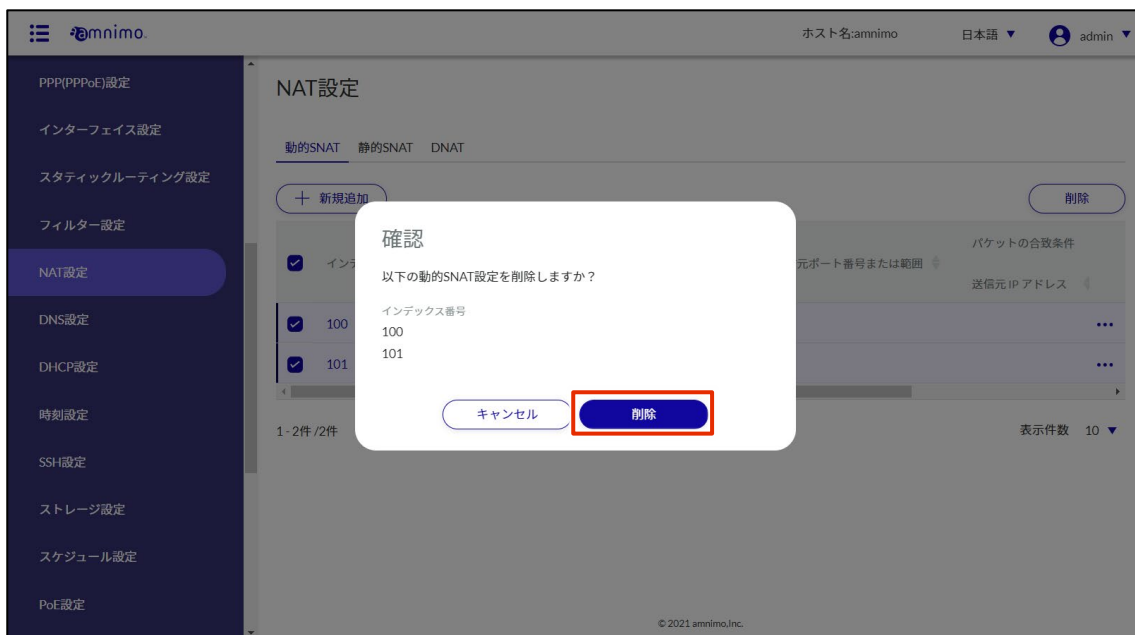
操作手順

- 1 「フィルター設定」画面で、削除したい NAT 設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択した NAT 設定が削除されます。

2.13 IPsec 設定をする

IPsec 設定の追加、編集、削除の操作について説明します。

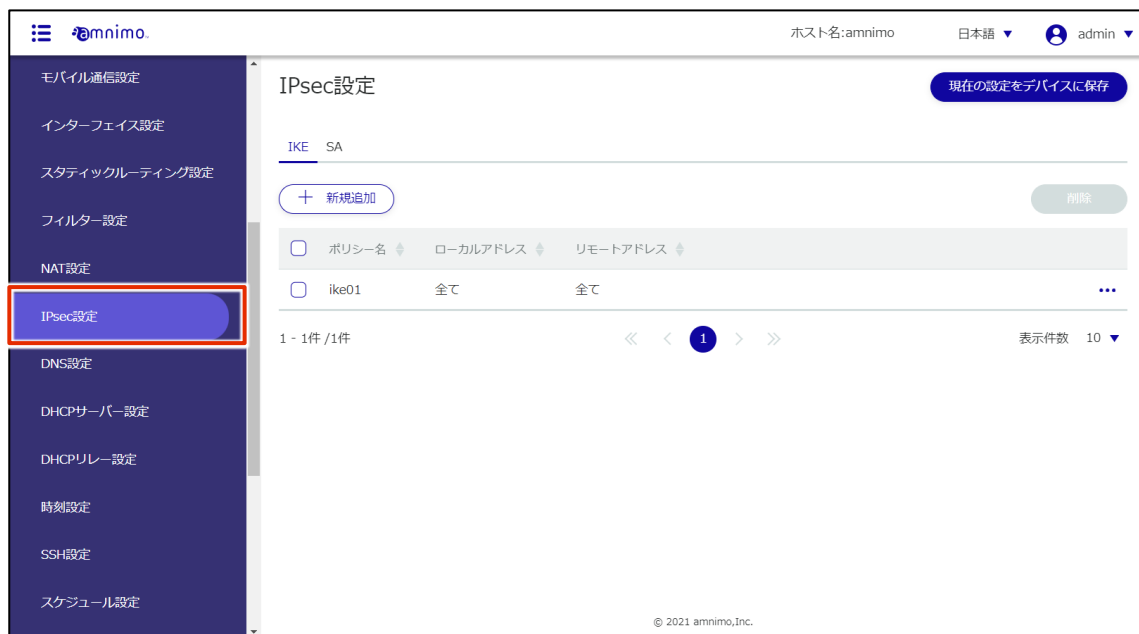
2.13.1 IPsec 設定の一覧を表示する

IPsec 設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [IPsec 設定] をクリックします。

「IPsec 設定」画面に、本製品に登録されている IPsec 設定の一覧が表示されます。



2.13.2 IPsec 設定を追加する

IPsec 設定を追加します。

操作手順

- 1 「IPsec 設定」画面で、IKE か SA いずれか追加するタブを選択し [新規追加] ボタンをクリックします。



「IKE 設定の追加」または「SA 設定の追加」画面が表示されます。

IKE 設定の追加

IKE のタブを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - 1 任意のポリシー名を入力します。
 - 2 ローカル側のアドレスを入力します。全アドレスを許可する場合は [全て] を選択します。ローカル ID にチェックを入れることで、タイプの選択や ID を入力することも出来ます。
 - 3 リモート側（接続先）のアドレスを入力します。全アドレスを許可する場合は [全て] を選択します。リモート ID にチェックを入れることで、タイプの選択や ID を入力することも出来ます。
 - 4 IKE のバージョンを選択します。
 - 5 事前共通鍵（PSK）を設定します。
 - 6 IKE モードを指定します。このモードは、4 でバージョン 1 を選択した場合のみ有効です。

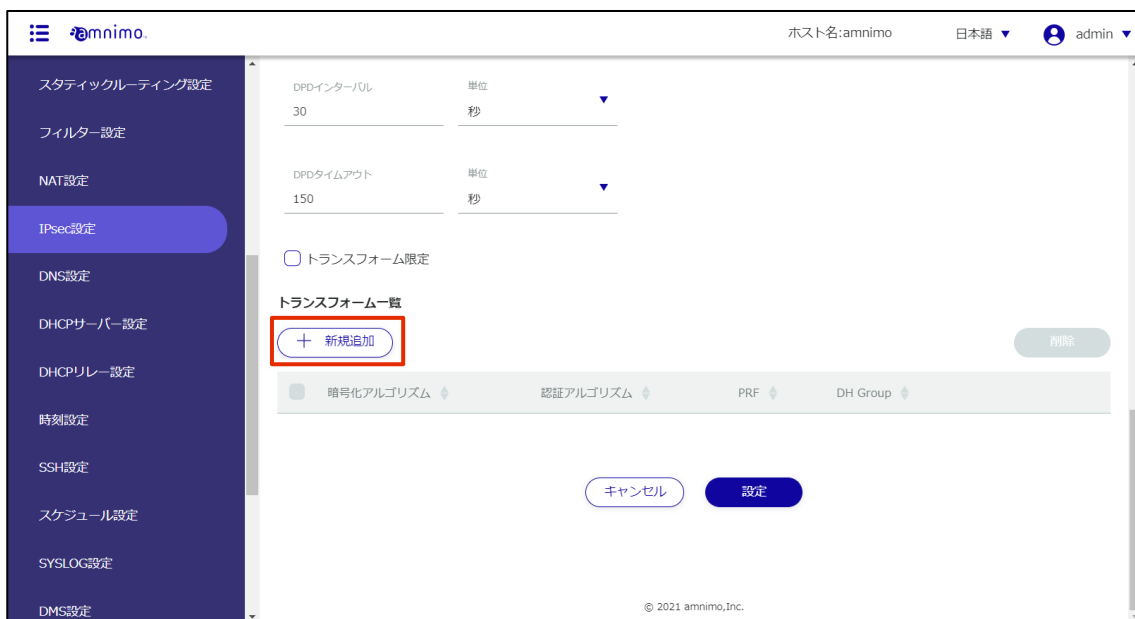
The screenshot shows the 'IKE設定の追加' (Add IKE) configuration page in the Amnimo web interface. The page is titled 'IKE設定の追加' and has a back link '< IKE設定一覧へ戻る'. The configuration fields are as follows:

- ポリシー名:** ike01
- ローカルアドレス:** 192.168.0.254
- ローカルID:**
- リモートアドレス:** 192.168.0.253
- リモートID:**
- バージョン:** 1 2
- 事前共通鍵:** *****
- モード:** メインモード アグレッシブモード

- 7 リトライ回数を、1～255 の範囲で設定します。リトライ回数の上限なしの場合、「上限なし」を選択します。
- 8 IKE のライフタイムを設定します。秒、分、時間で指定することができます。
- 9 DPD（Dead Peer Detection）で切断されたときの動作を指定します。
- 10 DPD のインターバルを設定します。秒、分、時間で指定することができます。
- 11 DPD のタイムアウトを設定します。秒、分、時間で指定することができます。
- 12 [トランスフォーム設定] にチェックを入れると、指定のトランスフォームのみに限定する動作を有効にすることができます。



- 2 トランスフォーム一覧にて [新規追加] をクリックし、トランスフォーム設定をします。



- 1 暗号化アルゴリズムを選択します。
- 2 認証アルゴリズムを選択します。
- 3 PRF (Pseudo-Random Functions) を指定します。これは IKEv2 の場合にのみ有効です。
- 4 Diffie Hellman Groups を選択します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



- 3 設定が完了したら、[設定] をクリックします。



SA 設定の追加

SA のタブを選択した場合の設定方法です。

操作手順

- 1 各項目を設定します。
 - ① 任意のポリシー名を入力します。
 - ② トグルをクリックして有効/無効を選択します。
 - ③ 鍵交換で使用する IKE 名を指定します。
 - ④ IPsec の接続動作を選択します。



IPsec 接続は、以下の順で動作します。

- initiate 動作を行う
- ルートを追加する（通信によって initiate 動作を行う）
- SA 設定のみを行う（initiate 動作は行わない）

なお、すべての設定で相手からの initiate 通信を受けた場合、可能であれば responder 側として動作します。

- 5 [再接続] にチェックを入れると再接続が有効になります。
- 6 プロトコルタイプを選択します。
- 7 通信モードを選択します。



パススルーモードを選択した場合は、後述のローカルサブネットとリモートサブネットが必須になります。

The screenshot shows the 'SA設定の追加' (Add SA) configuration page. The left sidebar contains navigation options like 'グループ設定', 'モバイル通信設定', 'インターフェイス設定', 'スタティックルーティング設定', 'フィルター設定', 'NAT設定', 'IPsec設定', 'DNS設定', 'DHCPサーバー設定', 'DHCPリレー設定', 'プロキシサーバー設定', and '時刻設定'. The main content area is titled '< SA設定一覧へ戻る' and 'SA設定の追加'. The settings are as follows:

- ポリシー名: sa01
- 有効:
- 使用するIKEポリシー: ike01
- 接続動作: イニシエート オンデマンド ホールド
- 再接続:
- プロトコルタイプ: ESP AH
- 通信モード: トンネルモード トランスポートモード パススルーモード

- ⑧ SA のライフタイムを設定します。秒、分、時間で指定することができます。
- ⑨ ローカル側のサブネットを設定します。
- ⑩ リモート側のサブネットを設定します。
- ⑪ [トランスフォーム設定] にチェックを入れると、指定のトランスフォームのみに限定する動作を有効にすることができます。



- 2 トランスフォーム一覧にて [新規追加] をクリックし、トランスフォーム設定をします。



- ① 暗号化アルゴリズムを選択します。
- ② 認証アルゴリズムを選択します。
- ③ PFS (Perfect Forward Secrecy) を指定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



3 設定が完了したら、[設定] をクリックします。

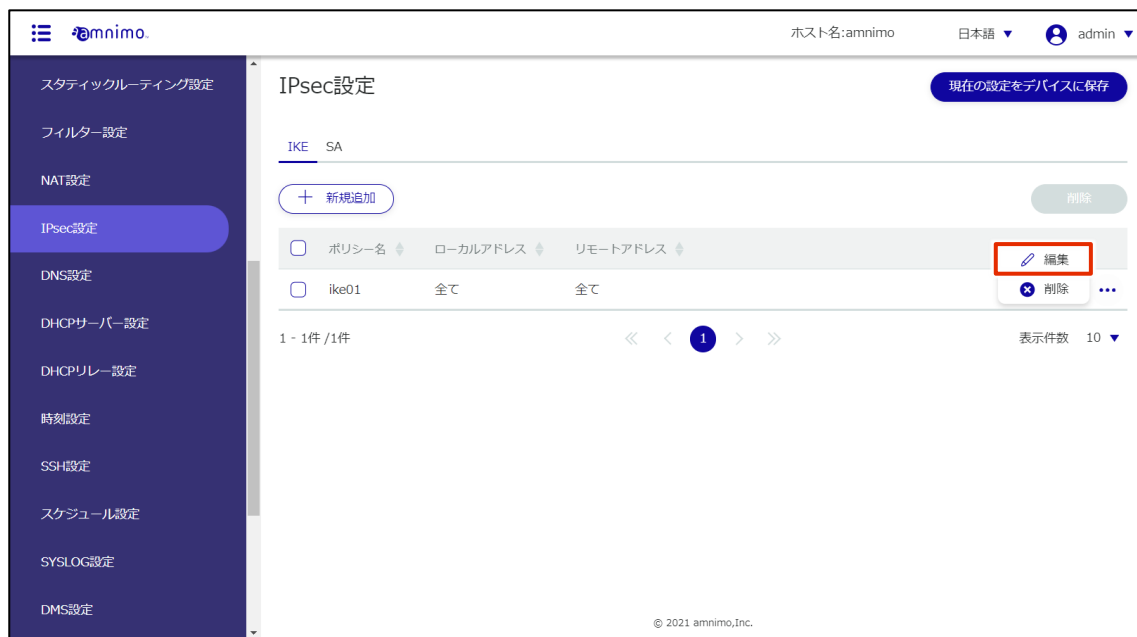
The screenshot shows the amnimo web interface. The left sidebar contains a menu with the following items: モバイル通信設定, インターフェイス設定, スタティックルーティング設定, フィルター設定, NAT設定, IPsec設定 (highlighted), DNS設定, DHCPサーバー設定, DHCPリレー設定, 時刻設定, SSH設定, and スケジュール設定. The main content area displays the IPsec configuration page. At the top, it shows 'ローカルサブネット' (Local Subnet) with IP 192.168.10.0 and 'プレフィックス長' (Prefix Length) of 24, and 'リモートサブネット' (Remote Subnet) with IP 192.168.20.0 and 'プレフィックス長' of 24. Below this, there is a checkbox for 'トランスフォーム限定' (Transform Limit) which is unchecked. The 'トランスフォーム一覧' (Transform List) section contains a table with columns for '暗号化アルゴリズム' (Encryption Algorithm), '認証アルゴリズム' (Authentication Algorithm), and 'PFS'. The table has one row with 'AES128', 'SHA256', and '無し' (None). There are buttons for '+ 新規追加' (Add New) and '削除' (Delete). At the bottom of the page, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Settings), with the '設定' button highlighted by a red box. The footer shows '© 2021 amnimo, Inc.'.

2.13.3 IPsec 設定を編集する

登録されている IPsec 設定を編集します。

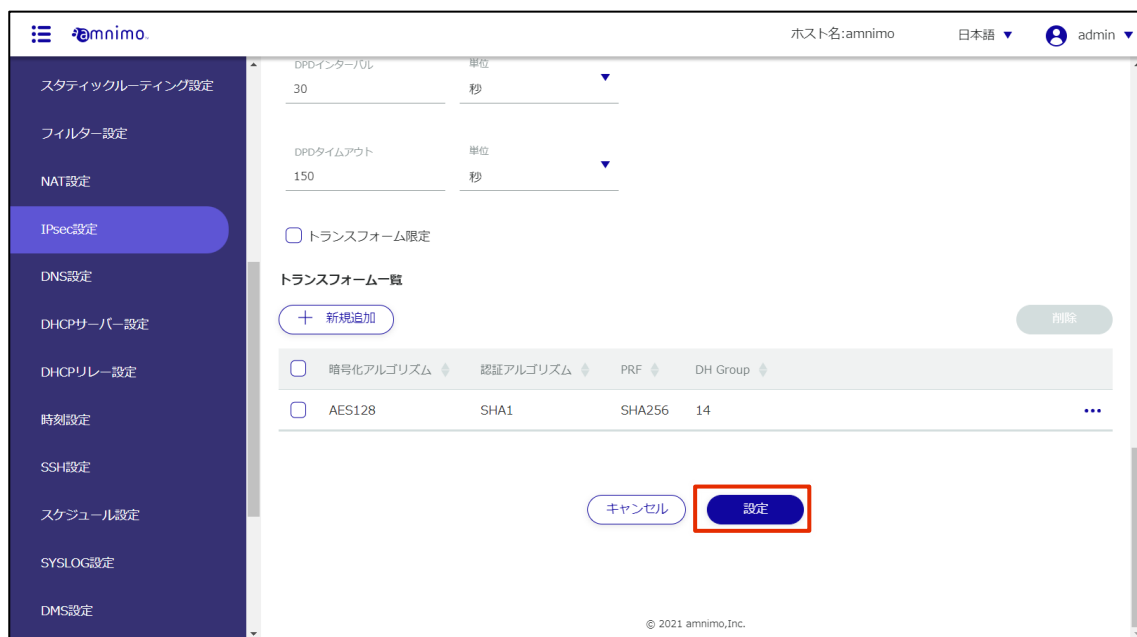
操作手順

- 1 「IPsec 設定」画面で、編集したい IPsec 設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「IKE 設定の編集」または「SA 設定の編集」画面が表示されます。

- 2 設定内容を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



変更した IKE 設定または SA 設定の情報が更新されます。

2.13.4 IPsec 設定を削除する

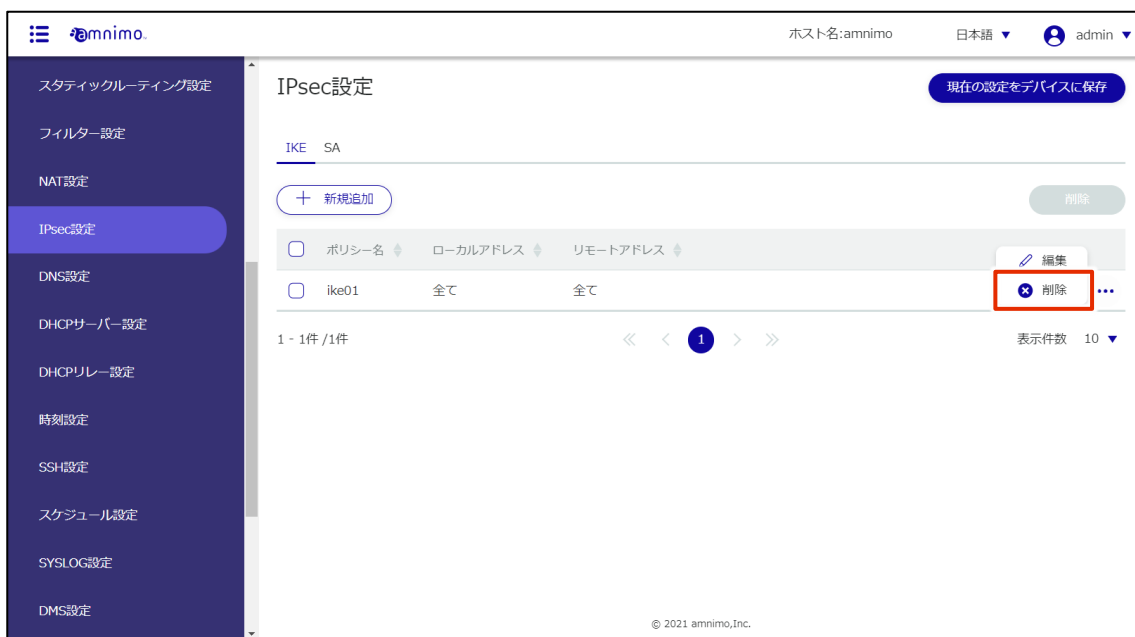
登録されている IPsec 設定の削除には、IPsec の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したい IPsec 設定をすべて選択してから削除する方法があります。

IPsec 設定を個別に削除する

IPsec 設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「IPsec 設定」画面で、削除したい IPsec 設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



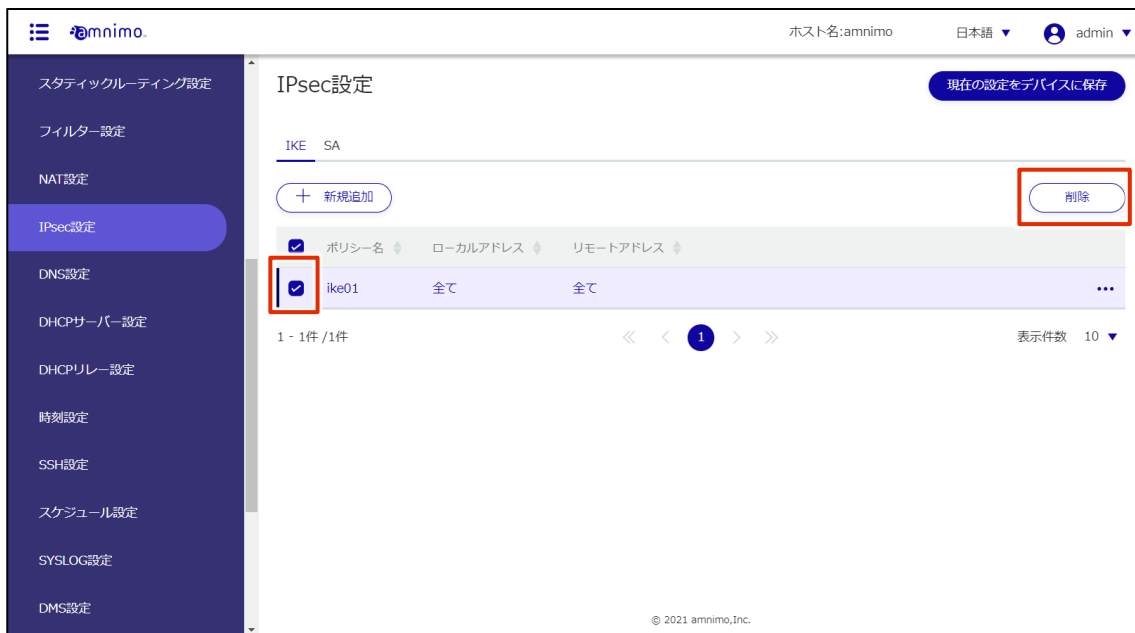
IPsec 設定が削除されます。

IPsec 設定を複数選択して削除する

削除したい IPsec 設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数の IPsec 設定を一括で削除する際に便利です。IPsec 設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「IPsec 設定」画面で、削除したい IPsec 設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択した IPsec 設定が削除されます。

2.14 DNS 設定をする

本製品の DNS 設定をします。

ここでは、DNS 設定の有効化やポート番号の指定、問い合わせ先サーバーの追加等の操作について説明します。

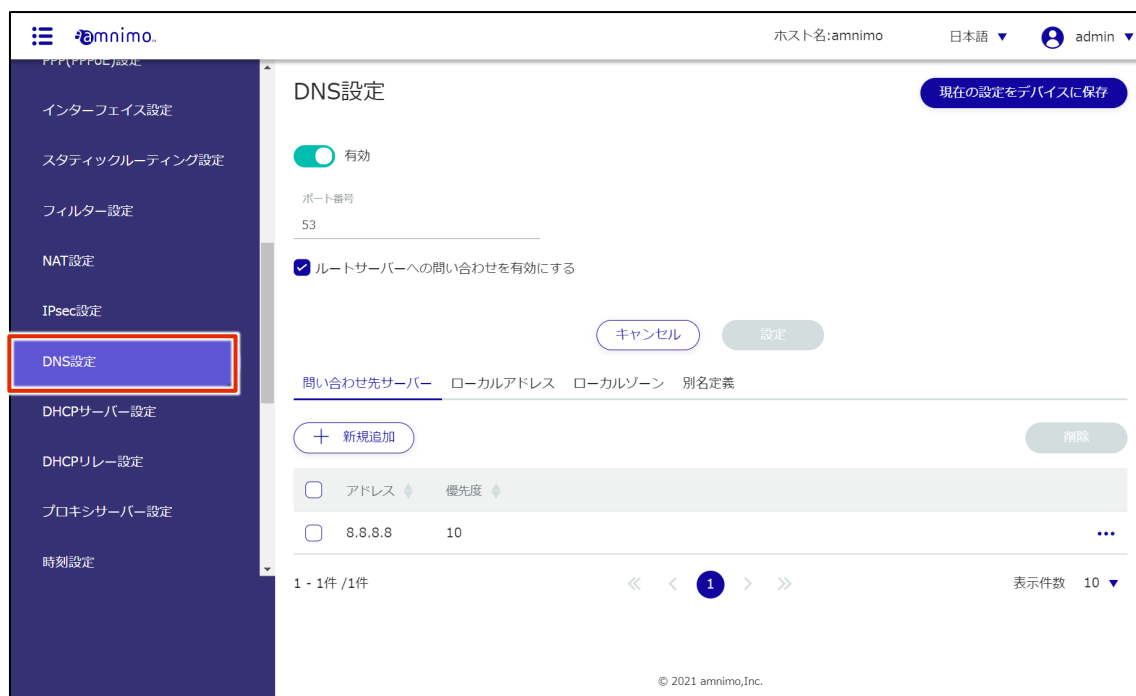
2.14.1 DNS 設定を表示する

DNS 設定を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「DNS 設定」をクリックします。

「DNS 設定」画面に、登録されている DNS 設定が表示されます。



DNS 設定の問合せ先サーバー、ローカルアドレスは「アドレス」「優先度」のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順で DNS 設定を並び替えることができます。

| <input type="checkbox"/> | アドレス | 優先度 | |
|--------------------------|---------|-----|-----|
| <input type="checkbox"/> | 8.8.8.8 | 10 | ... |

2.14.2 DNS 設定をする

DNS の設定をします。

操作手順

- 1 「DNS 設定」画面にて、以下のことが出来ます。
 - ① トグルをクリックすることで、DNS を有効または無効に設定します。
 - ② ポート番号を指定します。
 - ③ ルートサーバーへの問い合わせを有効にするかどうかの選択が出来ます。

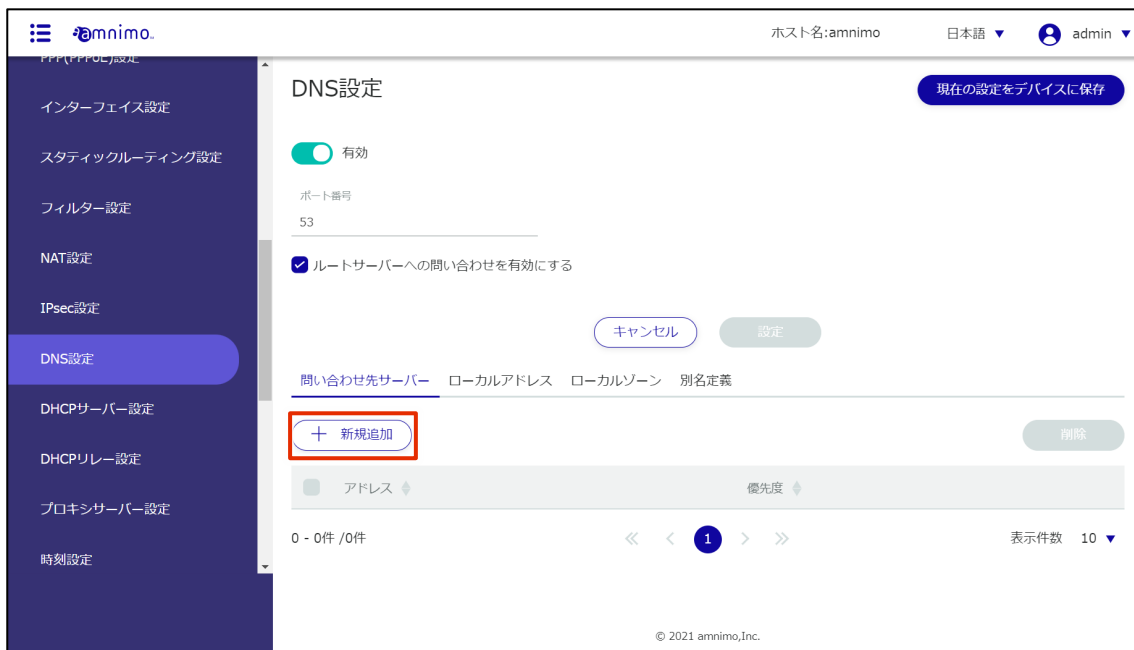
変更後は「設定」ボタンをクリックすることで適用されます。



問い合わせ先サーバーの設定をする

操作手順

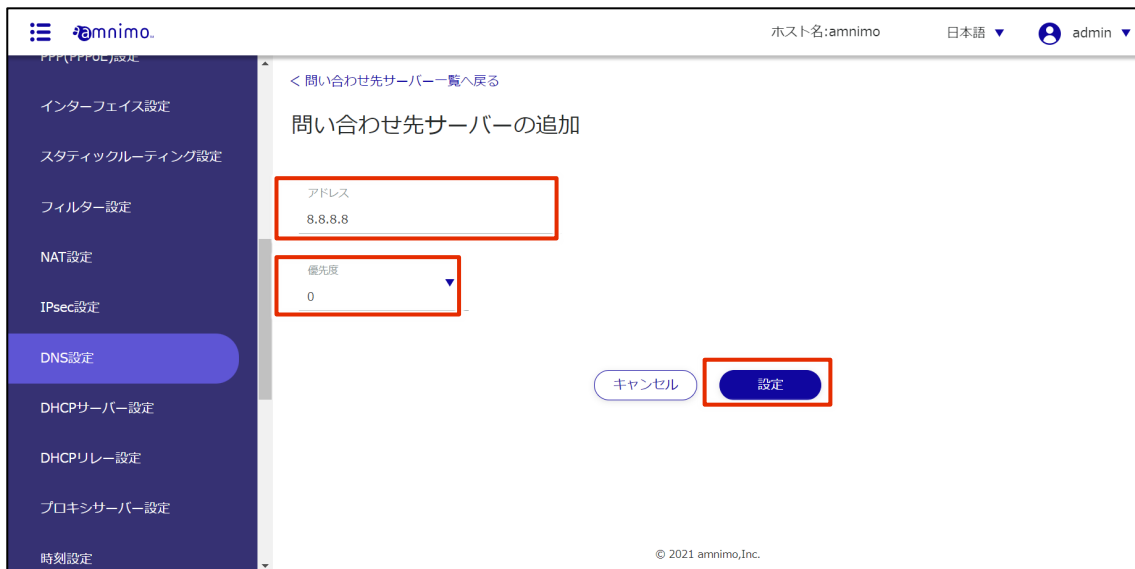
- 1 「問い合わせ先サーバー」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



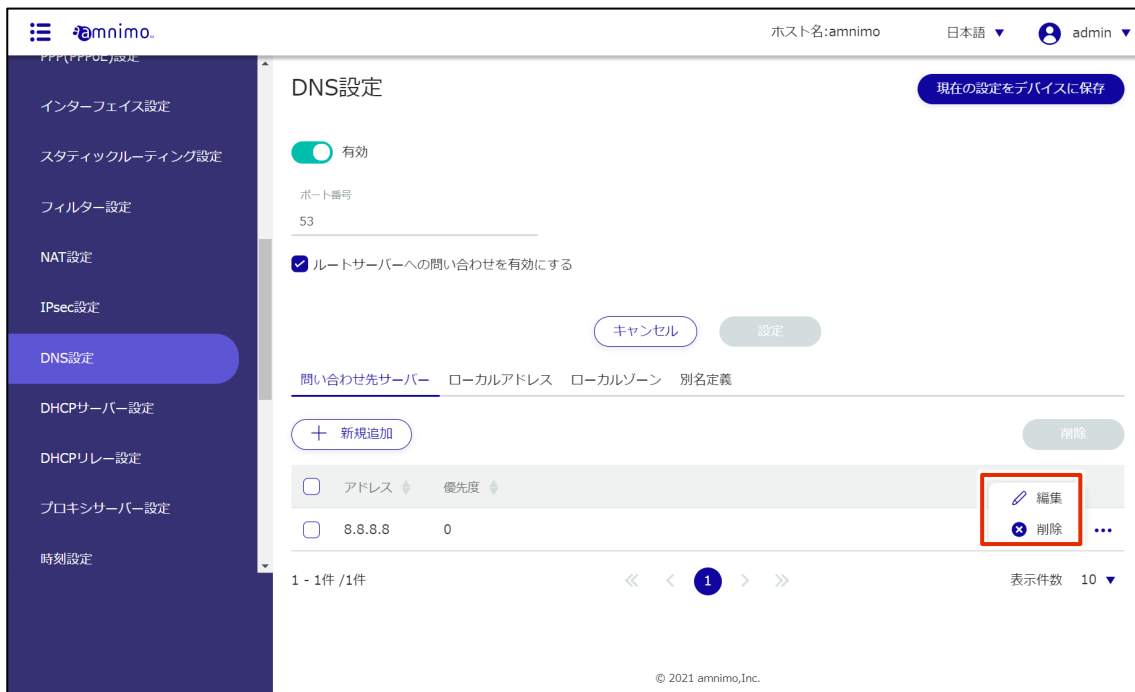
2 「問い合わせ先サーバーの追加」画面が表示されます。

- 1 問い合わせ先の上位 DNS サーバーを指定します。
- 2 優先度を 0~99 の数値で指定します。0 が最高優先度です。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



DNS 設定画面から、設定した問い合わせ先サーバーの編集や削除をすることができます。



ローカルアドレスの設定をする

操作手順

- 1 「ローカルアドレス」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



- 2 「ローカルアドレスの追加」画面が表示されます。

- ① 応答するアドレスを指定します。
- ② 応答するホスト名を指定します。
- ③ 応答時に返す TTL 値を、10~2419200 の数値で設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



DNS 設定画面から、設定したローカルアドレスの編集や削除をすることができます。

The screenshot displays the 'DNS設定' (DNS Settings) page in the amnimo interface. The page is titled 'DNS設定' and includes a '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button. The settings are as follows:

- 有効 (Enabled):
- ポート番号 (Port number): 53
- ルータサーバーへの問い合わせを有効にする (Enable query to router server):

Buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Apply) are visible. Below the settings, there are tabs for '問い合わせ先サーバー' (Upstream server), 'ローカルアドレス' (Local address), 'ローカルゾーン' (Local zone), and '別名定義' (Alias definition). The 'ローカルアドレス' tab is active, showing a table with one entry:

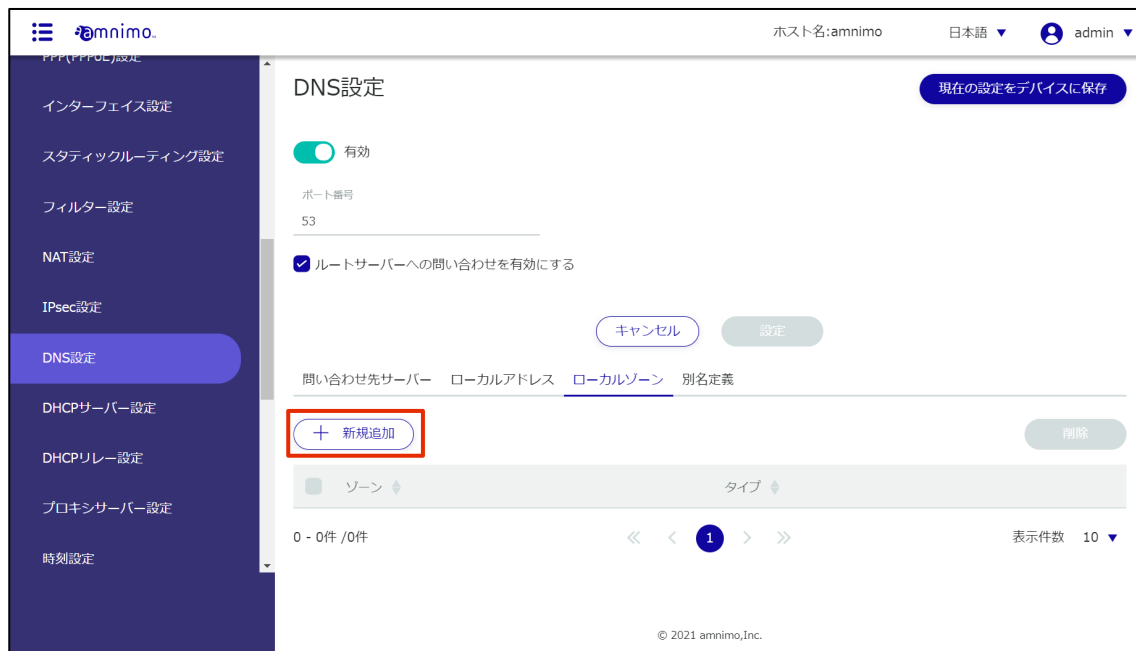
| アドレス | ホスト名 | TTL | 操作 |
|---------------|--------|------|---|
| 192.168.10.10 | amnimo | 3600 | 編集 削除 ... |

The '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons for the first entry are highlighted with a red box. The page footer indicates '© 2021 amnimo, Inc.'.

ローカルゾーンの設定をする

操作手順

- 1 「ローカルゾーン」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



- 2 「ローカルゾーンの追加」画面が表示されます。

- ① 任意のゾーン名を入力します。
- ② タイプを指定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



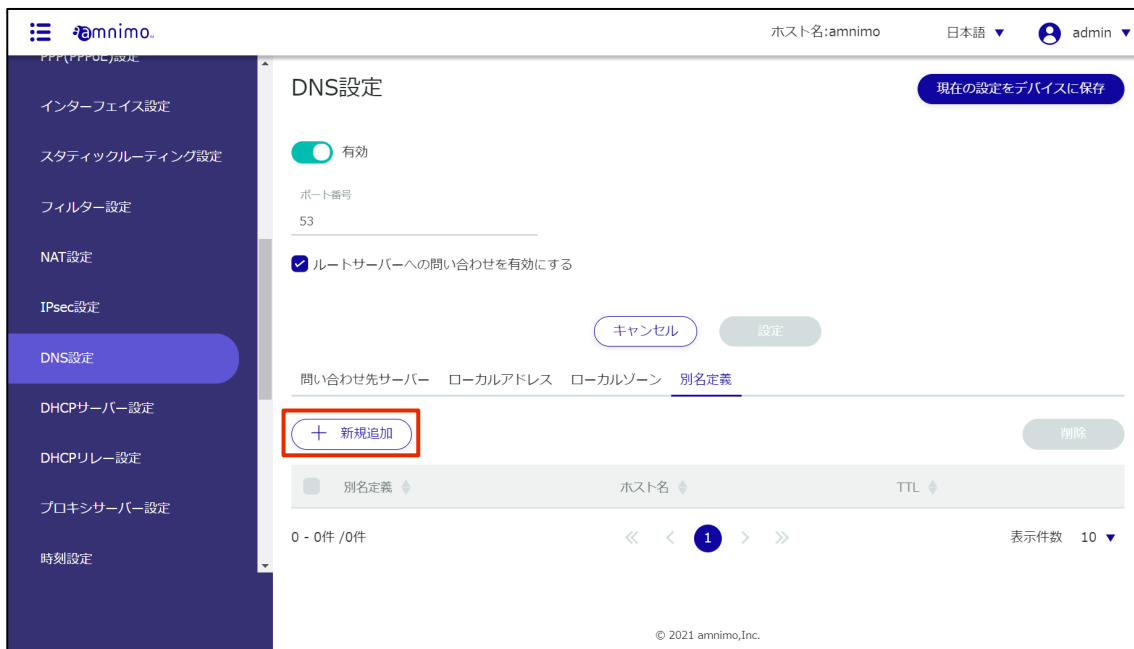
DNS 設定画面から、設定したローカルゾーンの編集や削除をすることができます。

The screenshot shows the 'DNS設定' (DNS Settings) page in the amnimo interface. The page is titled 'DNS設定' and includes a '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button. The '有効' (Enabled) toggle is turned on. The port number is set to 53. The checkbox for 'ルータサーバーへの問い合わせを有効にする' (Enable query to router server) is checked. There are 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Settings) buttons. Below, there are tabs for '問い合わせ先サーバー' (Upstream server), 'ローカルアドレス' (Local address), 'ローカルゾーン' (Local zone), and '別名定義' (Alias definition). The 'ローカルゾーン' tab is active, showing a table with columns for 'ゾーン' (Zone) and 'タイプ' (Type). A table with one row is visible: 'abc.abc.abc' with type 'static'. To the right of the table, there are '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons, with the '削除' button highlighted by a red box. There is also a '新規追加' (Add new) button and a '削除' (Delete) button at the top right of the table area. The page footer shows '© 2021 amnimo, Inc.' and '表示件数 10' (Number of items displayed 10).

別名定義の設定をする

操作手順

- 1 「別名定義」のタブを選択し、「新規追加」をクリックします。



- 2 「別名定義の追加」画面が表示されます。

- ① 任意のドメイン名を入力します。
- ② ホスト名を指定します。
- ③ 応答時に返す TTL 値を、10~2419200 の数値で設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



DNS 設定画面から、設定した別名定義の編集や削除をすることができます。

amnimo. ホスト名:amnimo 日本語 admin

現在の設定をデバイスに保存

DNS設定

有効

ポート番号
53

ルーターサーバーへの問い合わせを有効にする

キャンセル 設定

問い合わせ先サーバー ローカルアドレス ローカルゾーン **別名定義**

+ 新規追加 削除

| 別名定義 | ホスト名 | TTL | 編集 | 削除 |
|--------------------------|-------------|------------|------|----|
| <input type="checkbox"/> | example.com | google.com | 3600 | |

1 - 1件 / 1件 表示件数 10

© 2021 amnimo, Inc.

2.15 DHCP サーバー設定をする

DHCP サーバー設定の追加、編集、削除の操作について説明します。



DHCP リレー設定が有効の場合、DHCP サーバーを有効にすることは出来ませんのでご注意ください。

2.15.1 DHCP サーバー設定の一覧を表示する

DHCP サーバー設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [DHCP サーバー設定] をクリックします。

「DHCP サーバー設定」画面に、本製品に登録されている DHCP サーバー設定の一覧が表示されます。

| インターフェイス | 有効/無効 | 範囲開始 | 範囲終了 |
|----------|-------|--------------|--------------|
| eth0 | 有効 | 192.168.3.20 | 192.168.3.40 |



DHCP サーバー設定一覧の「インターフェイス」や「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順/昇順で DHCP サーバー設定を並び替えることができます。

| インターフェイス | 有効/無効 | 範囲開始 | 範囲終了 |
|----------|-------|--------------|--------------|
| eth0 | 有効 | 192.168.3.20 | 192.168.3.40 |

2.15.2 DHCP サーバー設定を追加する

DHCP サーバー設定を追加します。

操作手順

- 1 「DHCP サーバー設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「DHCP サーバー設定の追加」画面が表示されます。

- 2 DHCP サーバー設定をします。

- 1 インターフェイスを選択します。設定可能なインターフェイス名は製品によって異なります。
AI エッジゲートウェイ：wan0、br0～br9
エッジゲートウェイ：eth0、br0～br9
IoT ルーター：eth0～eth1、br0～br9
コンパクトルーター：eth0
無線 LAN 搭載コンパクトルーター：br0、wlan0～wlan1
- 2 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 3 クライアントに対して動的 IP アドレスを自動で割り振る範囲を設定します。
サブネットマスクの範囲内で設定し、範囲内でも 256 件を超える範囲は設定できません。
- 4 サブネットマスクを指定します。デフォルト値は 255.255.255.0 です。



- 5 DHCP クライアント側へ通知するゲートウェイアドレスを指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスの IP アドレスが使用されます。
- 6 DHCP クライアントに通知する DNS サーバーの IP アドレス (IPv4) を指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスの IP アドレスが使用されます。
- 7 DHCP クライアントに通知する DNS ドメイン名を指定します。
ドメイン名は 253 文字以内で指定する必要があります。ドメイン名の先頭および末尾は半角英数字で、それ以外は半角英数字または「-」(ハイフン)と「.」(ピリオド)で構成する必要があります。
- 8 DHCP クライアントに通知する NTP サーバーの IP アドレス (IPv4) を指定します。
「自動」を選択すると、選択されているインターフェイスの IP アドレスが使用されます。
- 9 IP アドレスをリースする有効時間を設定します。
設定範囲は、1~86400 (秒) で、デフォルト値は 60~86400 (秒) です。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

The screenshot shows the DHCP Server Settings page in the amnimo web interface. The left sidebar contains navigation links for various settings. The main content area is titled 'DHCPサーバー設定' and includes the following sections:

- ゲートウェイアドレス:** Radio buttons for '指定無し' (selected), '自動', and '手動'.
- DNSサーバー:** Radio buttons for '指定無し' (selected), '自動', and '手動'.
- ドメイン:** Radio buttons for '指定無し' (selected) and '手動'.
- NTPサーバー:** Radio buttons for '指定無し' (selected), '自動', and '手動'.
- 有効期間:** Two dropdown menus: 'DHCPリース最小有効期間(秒)' set to 60 and 'DHCPリース最大有効期間(秒)' set to 86400.

At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Settings), with the '設定' button highlighted by a red box.

DHCP サーバー設定が追加されます。

The screenshot shows the DHCP Server Settings page with a table of configured DHCP servers. The table has the following columns: 'インターフェイス', '有効/無効', '範囲開始', and '範囲終了'. One entry for 'eth0' is highlighted with a red box.

| インターフェイス | 有効/無効 | 範囲開始 | 範囲終了 |
|-----------------------------------|-------|--------------|--------------|
| <input type="checkbox"/> インターフェイス | 有効/無効 | 範囲開始 | 範囲終了 |
| <input type="checkbox"/> eth0 | 有効 | 192.168.0.20 | 192.168.0.40 |

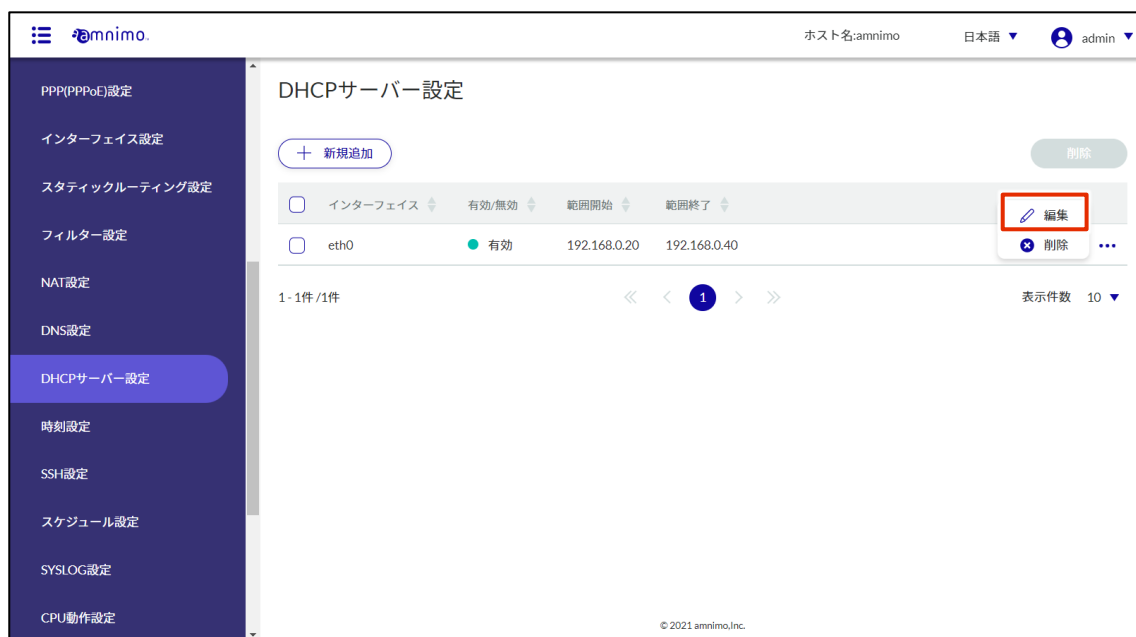
At the bottom of the table, there is a pagination control showing '1 - 1件 / 1件' and a '表示件数 10' dropdown menu.

2.15.3 DHCP サーバー設定を編集する

登録されている DHCP サーバー設定を編集します。

操作手順

- 1 「DHCP サーバー設定」画面で、編集したい DHCP サーバー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「DHCP サーバー設定の編集」画面が表示されます。

- 2 DHCP サーバー設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



DHCP サーバー設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.15.4 DHCP サーバー設定を削除する

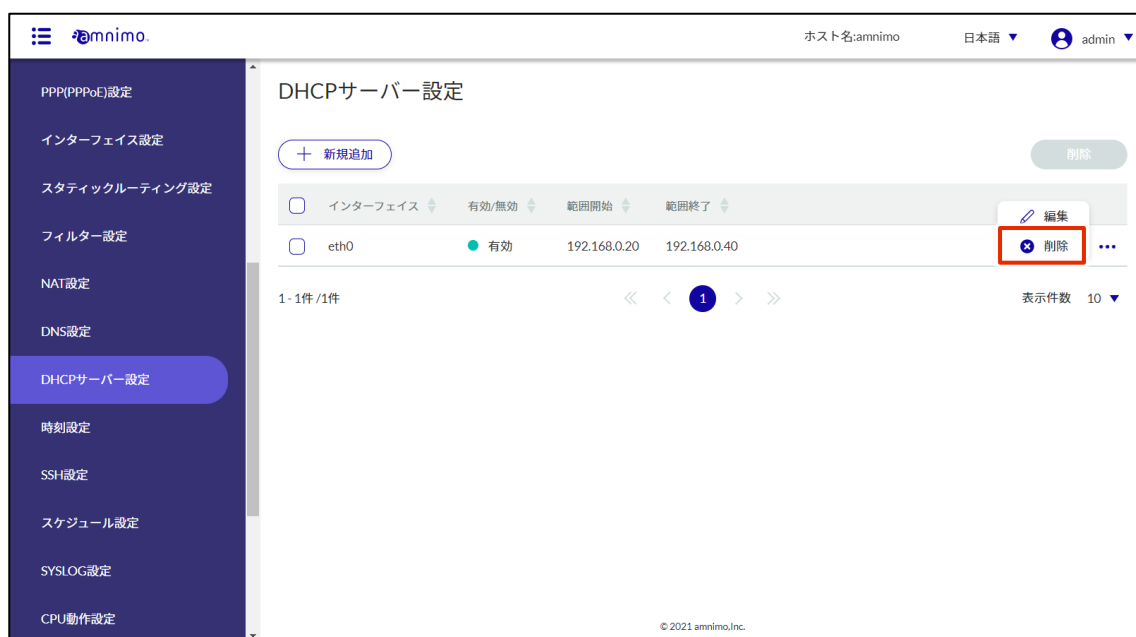
登録されている DHCP サーバー設定の削除には、DHCP サーバー設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したい DHCP サーバー設定をすべて選択してから削除する方法があります。

DHCP サーバー設定を個別に削除する

DHCP サーバー設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「DHCP サーバー設定」画面で、削除したい DHCP サーバー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



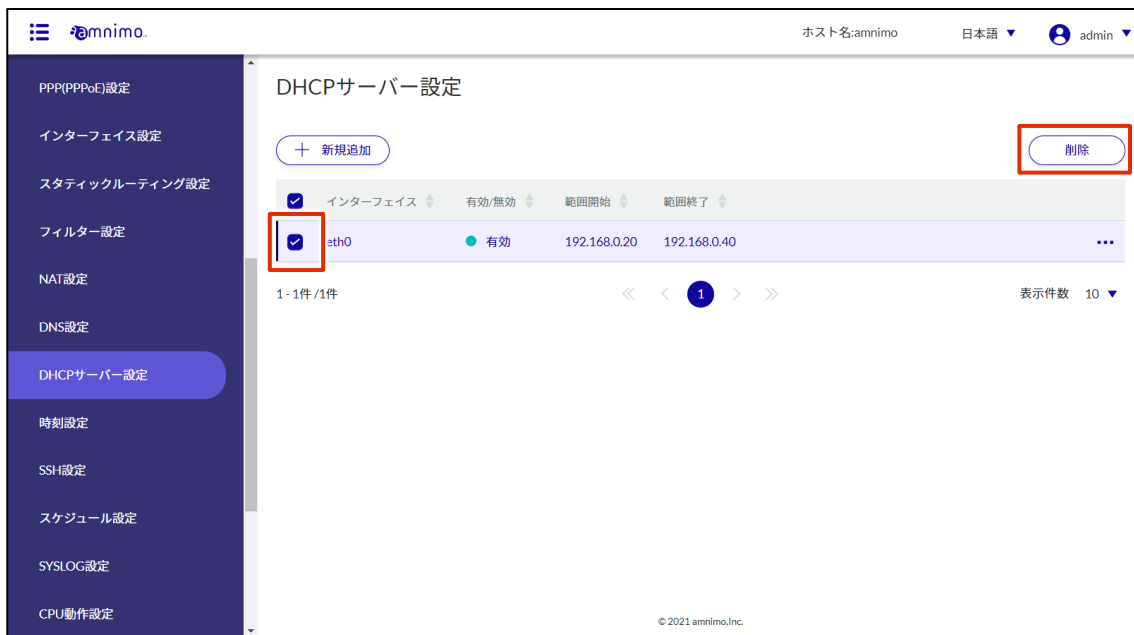
DHCP サーバー設定が削除されます。

DHCP サーバー設定を複数選択して削除する

削除したい DHCP サーバー設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数の DHCP サーバー設定を一括で削除する際に便利です。DHCP サーバー設定を 1 つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「DHCP サーバー設定」画面で、削除したい DHCP サーバー設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択した DHCP サーバー設定が削除されます。

2.16 DHCP リレー設定をする

DHCP リレー設定の追加、編集、削除の操作について説明します。



DHCP リレー設定が有効の場合、DHCP サーバーを有効にすることは出来ませんのでご注意ください。

2.16.1 DHCP リレー設定の一覧を表示する

DHCP リレー設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [DHCP リレー設定] をクリックします。

「DHCP リレー設定」画面に、本製品に登録されている DHCP リレー設定の一覧が表示されます。

The screenshot shows the 'DHCPリレー設定' (DHCP Relay Settings) page. The left sidebar has a menu with 'DHCPリレー設定' highlighted. The main area has a table with the following data:

| グループ名 | 有効/無効 | DHCPサーバー | 受信インターフェイス | |
|-------|-------|------------|------------|-----|
| test1 | 有効 | 10.10.10.1 | eth0 | ... |



DHCP リレー設定一覧の「インターフェイス」や「有効/無効」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順で DHCP リレー設定を並び替えることができます。

| グループ名 | 有効/無効 | DHCPサーバー | 受信インターフェイス | |
|-------|-------|------------|------------|-----|
| test1 | 有効 | 10.10.10.1 | eth0 | ... |

2.16.2 DHCP リレー設定を追加する

DHCP リレー設定を追加します。

操作手順

- 1 「DHCP リレー設定」画面で、[新規追加] ボタンをクリックします。



「DHCP リレー設定の追加」画面が表示されます。

2 DHCP リレー設定をします。

- 1 識別しやすいよう、グループ名を指定します。
- 2 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 3 DHCP サーバーの IP アドレスを入力します。[+追加] ボタンをクリックすることで、最大 4 件まで指定が可能です。
- 4 受信インターフェイスを選択します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

このスクリーンショットは、DHCPリレー設定の追加画面を示しています。左側のメニューには「DHCPリレー設定」が選択されています。画面中央には、グループ名「test1」、有効化された状態のトグル、DHCPサーバーとして「10.10.10.1」が追加され、受信インターフェイスとして「eth0」が追加されていることが確認できます。右下には「設定」ボタンが押されています。

DHCP リレー設定が追加されます。

このスクリーンショットは、DHCPリレー設定の完了画面を示しています。画面中央には「DHCPリレー設定」のリストが表示されており、先ほど設定した「test1」グループが有効化され、DHCPサーバーとして「10.10.10.1」、受信インターフェイスとして「eth0」が設定されていることが確認できます。リストの右端には省略記号「...」が表示されています。

2.16.3 DHCP リレー設定を編集する

登録されている DHCP リレー設定を編集します。

操作手順

- 1 「DHCP リレー設定」画面で、編集したい DHCP リレー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「DHCP リレー設定の編集」画面が表示されます。

- 2 DHCP リレー設定を編集して、[設定] ボタンをクリックします。



DHCP リレー設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.16.4 DHCP リレー設定を削除する

登録されている DHCP リレー設定の削除には、DHCP リレー設定の操作メニューから個別に削除する方法と、削除したい DHCP リレー設定をすべて選択してから削除する方法があります。

DHCP リレー設定を個別に削除する

DHCP リレー設定の操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「DHCP リレー設定」画面で、削除したい DHCP リレー設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



DHCP リレー設定が削除されます。

DHCP リレー設定を複数選択して削除する

削除したい DHCP リレー設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数の DHCP リレー設定を一括で削除する際に便利です。DHCP リレー設定を 1 つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「DHCP リレー設定」画面で、削除したい DHCP リレー設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択した DHCP リレー設定が削除されます。

2.17 プロキシサーバー設定をする

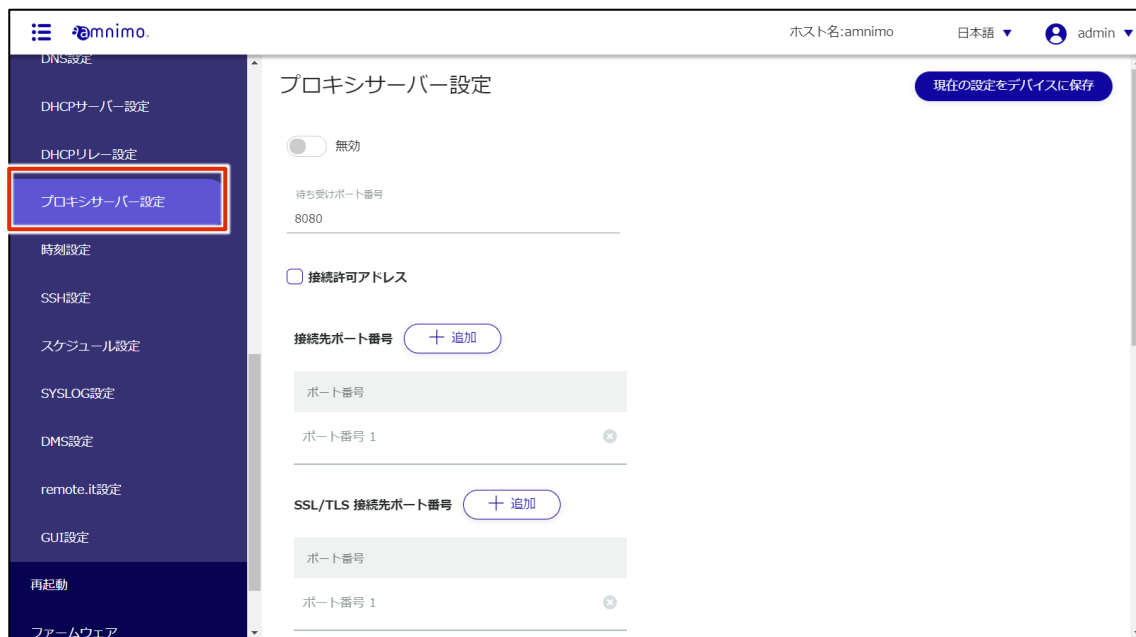
プロキシサーバー設定について説明します。



グループ設定において、「待ち受けポート」のみに制限した権限付与も可能です。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「プロキシサーバー設定」をクリックします。
「プロキシサーバー設定」画面が表示されます。



2 プロキシサーバーの設定をします。

- 1 トグルをスライドし、プロキシサーバーを有効にします。
- 2 待ち受けポート番号を入力します。デフォルト値は 8080 です。
- 3 接続許可アドレスが必要な場合はチェックを付け、送信元アドレスを入力します。
- 4 接続先ポート番号、SSL/TLS 接続先ポート番号を設定します。
- 5 アクセス制御の拒否・許可を選択します。
- 6 接続先ポート番号、SSL/TLS 接続先ポート番号を設定します。
- 7 特定の FQDN や URL に対して、ホワイトリスト/ブラックリスト登録をします。
- 8 ユーザー認証やアクセスログの設定をします。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

The screenshot shows the 'プロキシサーバー設定' (Proxy Server Settings) page in the amnimo management interface. The page is titled 'プロキシサーバー設定' and includes a '現在の設定をデバイスに保存' (Save current settings to device) button. The settings are organized into several sections:

- 有効 (Enabled):** A toggle switch is turned on.
- 待ち受けポート番号 (Listening Port Number):** A text input field contains the value '8080'.
- 接続許可アドレス (Connection Permission Address):** A checkbox is unchecked.
- 接続先ポート番号 (Destination Port Number):** A section with a '+ 追加' (Add) button. It contains a 'ポート番号' (Port Number) label and a 'ポート番号 1' (Port Number 1) input field.
- SSL/TLS 接続先ポート番号 (SSL/TLS Destination Port Number):** A section with a '+ 追加' (Add) button. It contains a 'ポート番号' (Port Number) label and a 'ポート番号 1' (Port Number 1) input field.
- アクセス制御 (Access Control):** A section with radio buttons for '拒否' (Deny) and '許可' (Allow). '拒否' is selected.
- チェックボックス:** A group of checkboxes for 'FQDNホワイトリスト' (FQDN Whitelist), 'FQDNブラックリスト' (FQDN Blacklist), 'URLホワイトリスト' (URL Whitelist), 'URLブラックリスト' (URL Blacklist), 'ユーザー認証' (User Authentication), and 'アクセスログ' (Access Log). All are currently unchecked.

At the bottom of the page, there are 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Settings) buttons. The footer indicates '© 2021 amnimo, Inc.'.

2.18 時刻を設定する



グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

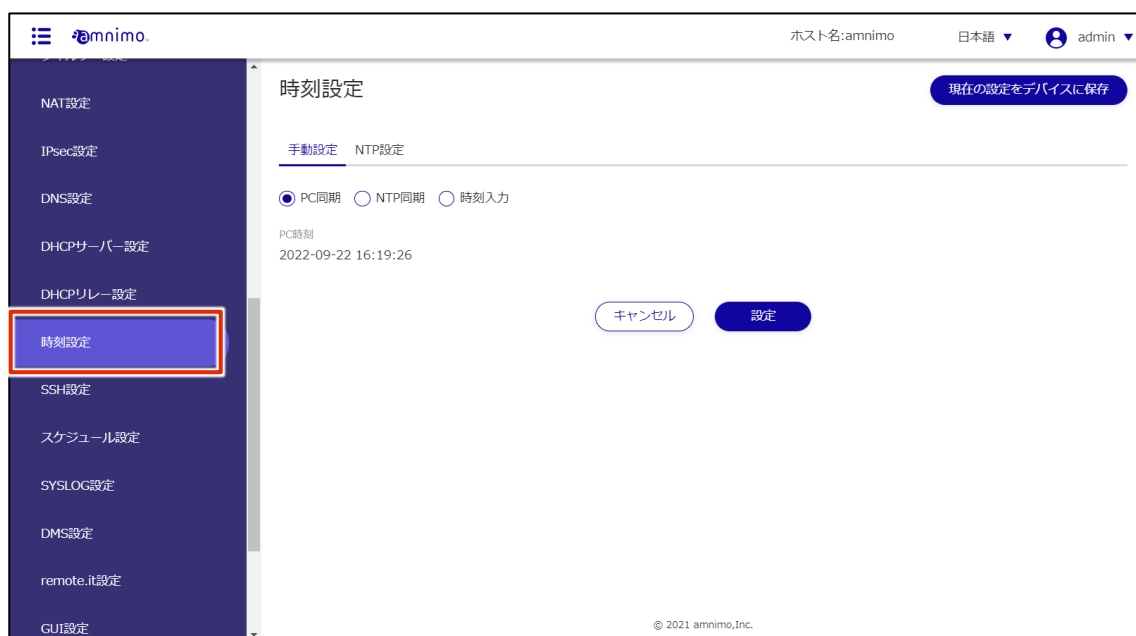
時刻の設定には、手動で時刻を設定する方法と、NTP サーバーを利用して時刻をあわせる方法があります。

2.18.1 時刻の設定画面を表示する

時刻を手動で設定するための「時刻設定」画面を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [時刻設定] をクリックします。
「時刻設定」画面が表示されます。



2.18.2 手動で時刻を設定する

手動での時刻設定は、「時刻設定」画面の「手動設定」タブで行うことができます。アクセス元の PC の時刻と同期する方法、手動で外部の NTP サーバーに問い合わせる時刻をあわせる方法、手動で時刻を入力する方法を選択することができます。

PC の時刻と同期する

操作手順

- 1 「時刻設定」画面で、「手動設定」タブをクリックします。



- 2 「PC 同期」を選択します。



- 3 「設定」をクリックします。



時刻が設定されます。

手動で NTP サーバーと同期する

1 「時刻設定」画面の「手動設定」タブで、「NTP 同期」を選択します。



エッジゲートウェイ (AG10、AG20)、無線 LAN 搭載コンパクトルーター (AC15、AC25) は「NTP 同期 (一度だけ同期)」という表記です。

時刻設定

手動設定 NTP設定

PC同期 NTP同期 時刻入力

FQDN/アドレス

キャンセル 設定

2 同期する NTP サーバーのホスト名 (FQDN) または IP アドレスを入力します。

時刻設定

手動設定 NTP設定

PC同期 NTP同期 時刻入力

FQDN/アドレス

ntp.nict.jp

キャンセル 設定

3 「設定」をクリックします。

時刻設定

手動設定 NTP設定

PC同期 NTP同期 時刻入力

FQDN/アドレス

ntp.nict.jp

キャンセル 設定

NTP サーバーへ問い合わせが行われ、時刻が設定されます。


手動で時刻を入力する

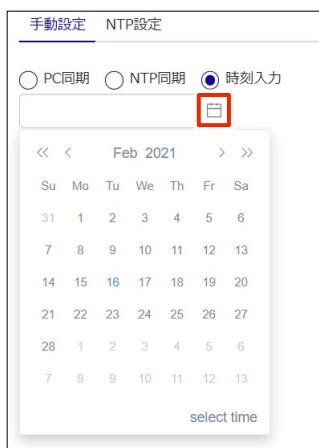
- 1 「時刻設定」画面の「手動設定」タブで、「時刻入力」を選択します。



- 2 日付と時刻を入力します。



カレンダーボタン  をクリックし、表示されたカレンダーで日付をクリックして設定することができます。



3 [設定] をクリックします。



時刻が設定されます。

2.18.3 NTP サーバーと定期的に同期する

NTP サーバーから定期的に時刻情報を取得して本製品の時刻をあわせる方法について説明します。

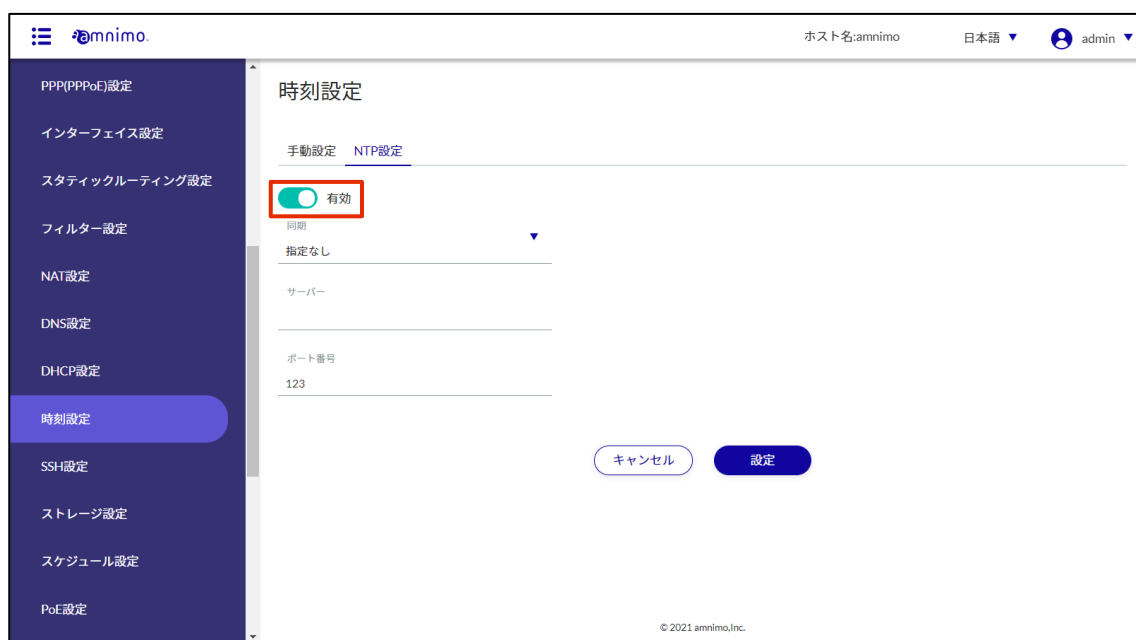
手動での時刻設定は、「時刻設定」画面の [NTP 設定] タブで行うことができます。

操作手順

- 1 「時刻設定」画面で、[NTP 設定] タブをクリックします。



- 2 トグルをスライドし、NTP サーバーによる時刻同期を有効に設定します。



3 NTP サーバーと同期させるインターフェイスを入力します。



- 直接入力するか、インターフェイスをクリックしてドロップダウンリストから選択することができます。

- 複数のインターフェイスを指定することはできません。
- 使用している機種によって、指定できるインターフェイスは異なります。

AI エッジゲートウェイ：

wan0、lan0～lan3、br0～9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

エッジゲートウェイ：

eth0、lan0～lan3、br0～9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

IoT ルーター：

eth0～eth1、br0～br9、ecm0～ecm9、ppp0～ppp9、tun0～tun9、tap0～tap9

コンパクトルーター

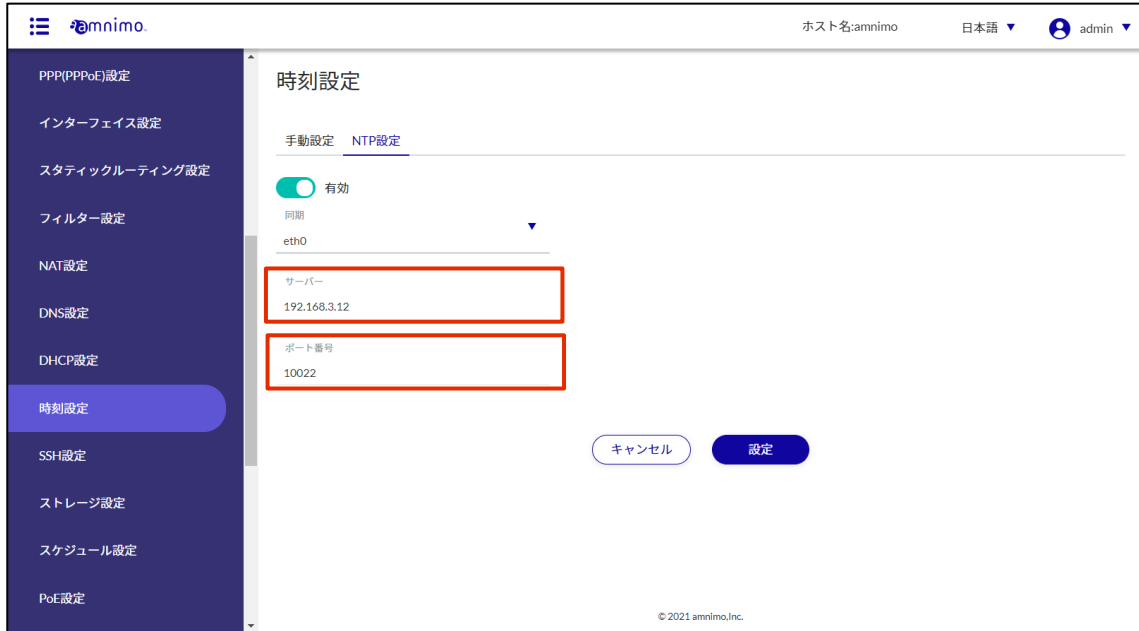
eth0、rmnet_data0

無線 LAN 搭載コンパクトルーター

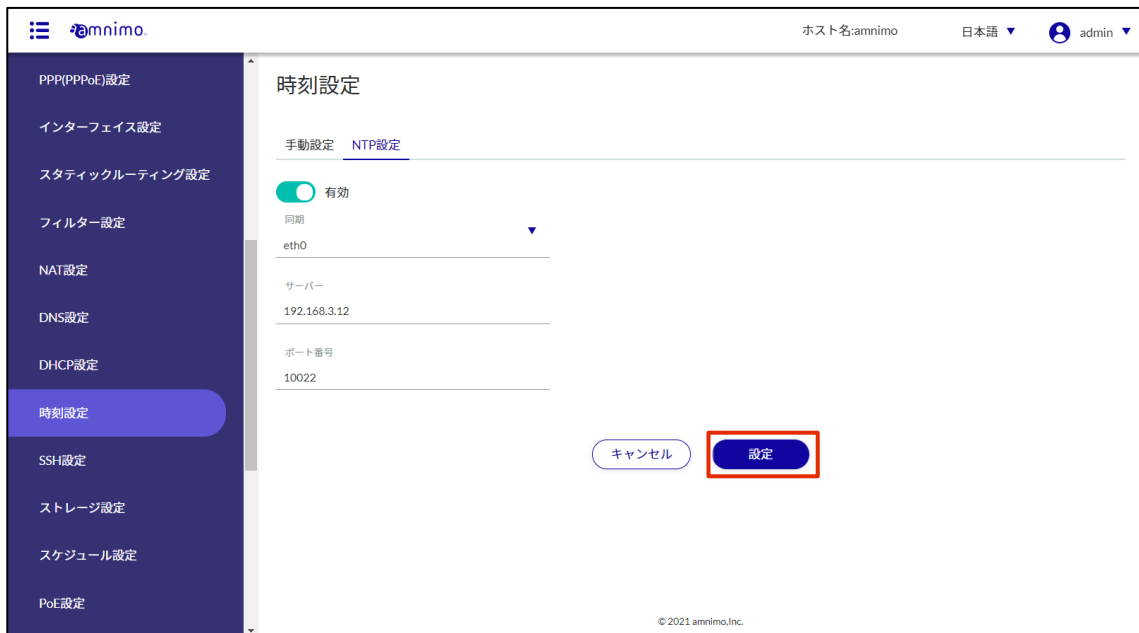
lan0～lan1、br0、rmnet_data0、ppp0、wlan0～wlan1

4 NTP サーバーの設定をします。

- 1 NTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名 (FQDN) を入力します。
- 2 NTP サーバーのポート番号を入力します。



5 [設定] をクリックします。



NTP による時刻同期の設定が行われます。

2.19 SSH の設定をする

本製品に SSH で接続するための設定をします。

ターミナルエミュレーターなどを使用して本製品に接続する場合、SSH を有効にする必要があります。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [SSH 設定] をクリックします。

「SSH 設定」画面が表示されます。



- 2 トグルをスライドし、SSH を有効に設定します。



3 ポートの設定をします。

1 必要に応じて、ポート番号を変更します。



- ポート番号は、1～65535 の範囲で設定することができます。
- SSH では標準で 22 番ポートを使用します。
ポート番号を変更した場合、クライアントはそのポート番号を指定して接続する必要があります。
そのため、注意が必要です。

2 「キープアライブを有効にする」にチェックを付けることで、定期的に keepalive パケットを送信して、SSH 接続がタイムアウトするのを防ぐことが可能です。



4 暗号化方式の設定をします。

1 使用する暗号化方式として、「推奨設定」または「個別選択」を選択します。

➔ 「推奨設定」を選択した場合は、手順 5 に進んでください。

2 「個別選択」を選択した場合は、使用する暗号化方式にチェックを付けます。



5 [設定] ボタンをクリックします。



SSH の設定が行われます。

2.20 ストレージ設定をする



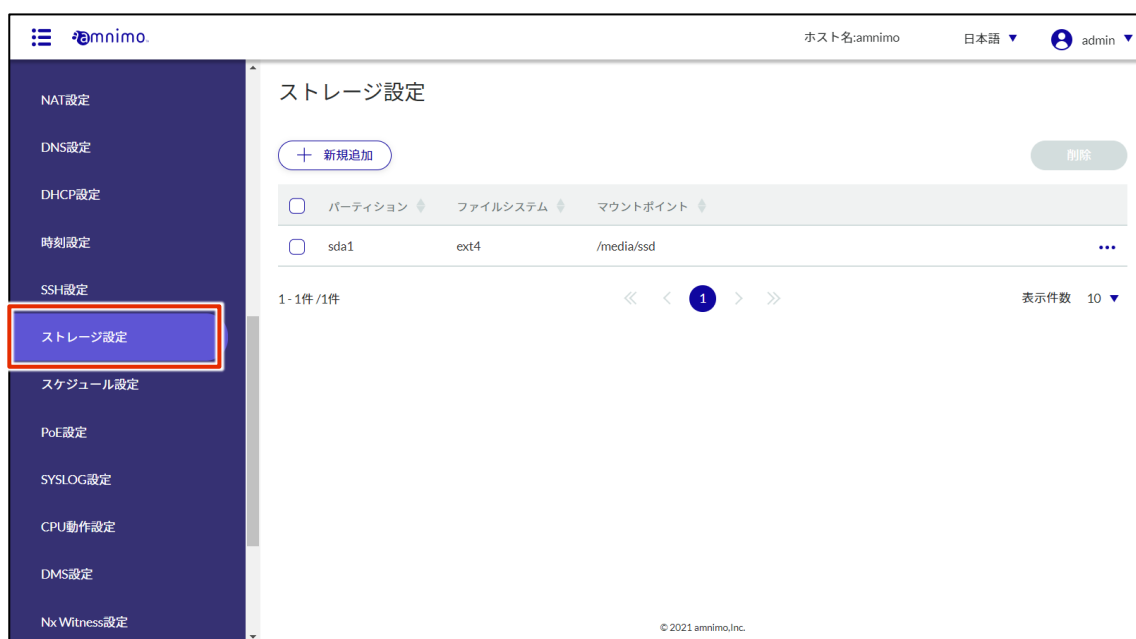
IoT ルーター (amnimo R シリーズ)、コンパクトルーター (amnimo C シリーズ) には、この機能はありません。

ストレージのパーティションのマウント状態を設定したり、ストレージのチェック設定をします。

2.20.1 ストレージの一覧を表示する

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [ストレージ設定] をクリックします。
「ストレージ設定」画面に、本製品に登録されているストレージ設定の一覧が表示されます。



ストレージ設定一覧の「パーティション」や「ファイルシステム」等のタブをクリックすることで、各項目の降順／昇順でストレージ設定を並び替えることができます。

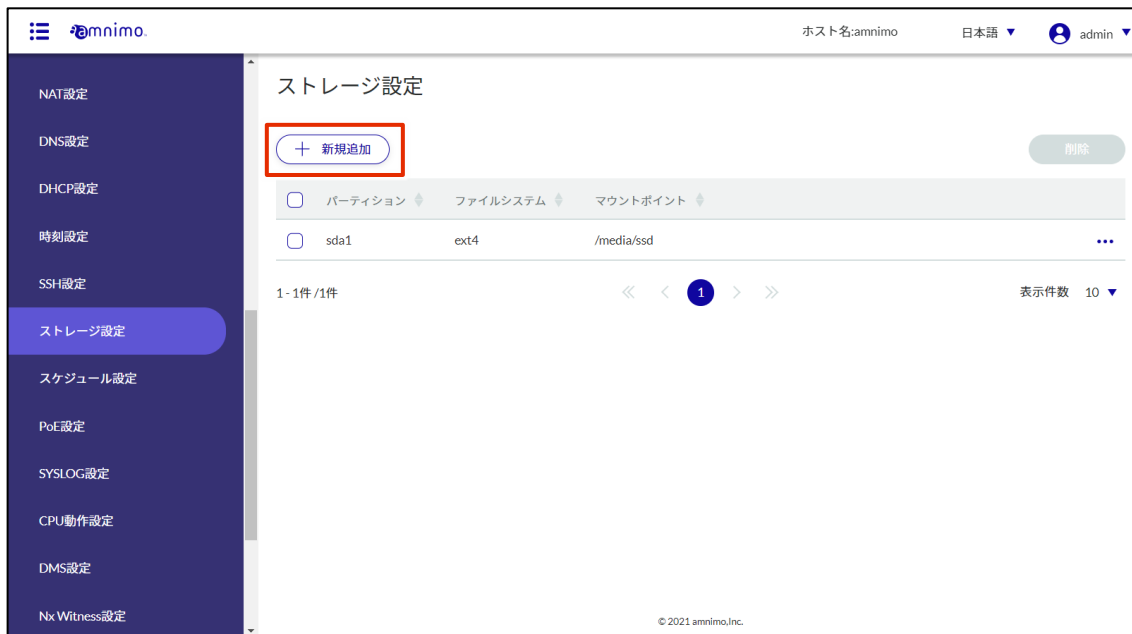
| <input type="checkbox"/> | パーティション | ファイルシステム | マウントポイント | |
|--------------------------|---------|----------|------------|-----|
| <input type="checkbox"/> | sda1 | ext4 | /media/ssd | ... |

2.20.2 ストレージ設定を追加する

ストレージ設定を追加します。

操作手順

- 1 「ストレージ設定」画面で、[新規追加] をクリックします。



- 2 「ストレージ設定の追加」画面で、必要な項目を設定します。

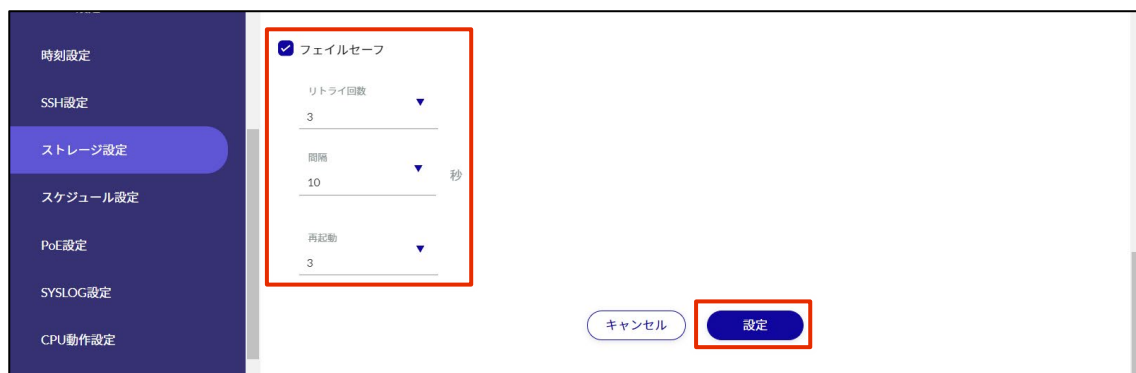
- 1 パーティションを選択します。
[運用情報] - [ストレージ] にて作成されたパーティションを選択することができます。
- 2 最大 32 文字の英数字でマウントポイント名を指定します。
- 3 ファイルシステムを選択します。
- 4 マウントオプションを選択します。



- 5 暗号化にチェックを入れた場合はパスワードを設定します。
- 6 FSKC 処理を選択します。
「確認」を選択すると不良セクターのチェックのみ行います。
「自動修復」を選択すると軽微なエラーを修復します。
- 7 監視処理を設定します。



- 8 フェイルセーフを設定します。
fsck/mount 処理が失敗した時のリトライ回数、間隔、再起動回数を設定します。
設定が完了したら [設定] をクリックします。

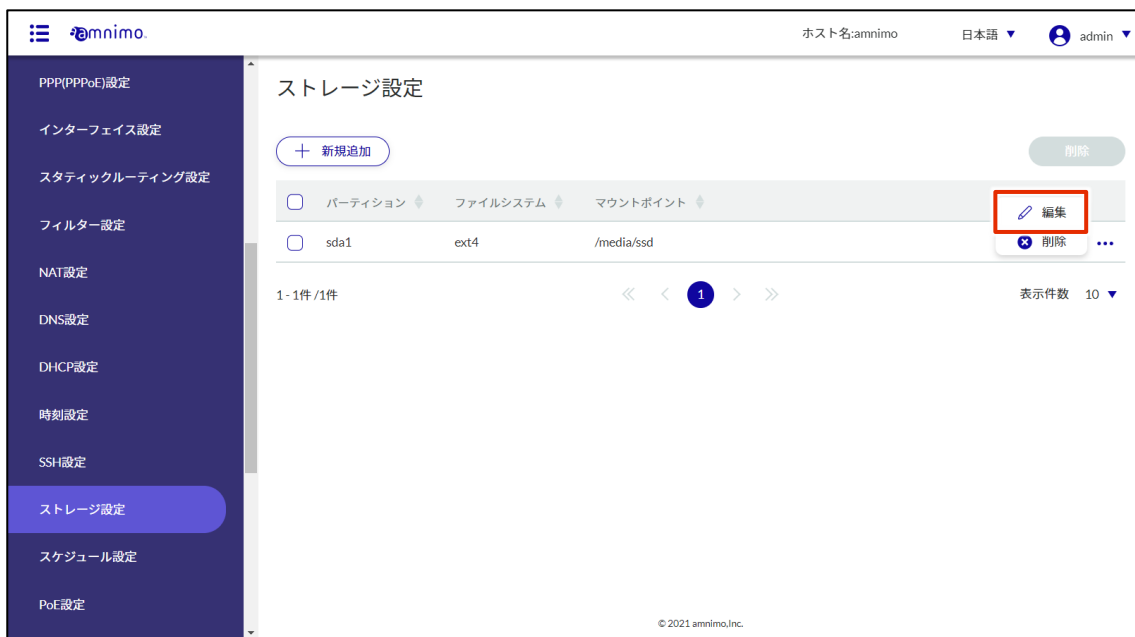


2.20.3 ストレージ設定を編集する

登録されているストレージ設定を編集します。

操作手順

- 1 「ストレージ設定」画面で、編集したいパーティションの右に表示されている「…」をクリックし、表示された操作メニューから「編集」を選択します。



「ストレージ設定の編集」画面が表示されます。

- 2 設定を編集して、「設定」をクリックします。



情報が更新され、一覧が表示されます。

2.20.4 ストレージ設定を削除する

登録されているストレージ設定の削除には、各パーティションの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいストレージ設定をすべて選択してから削除する方法があります。

ストレージ設定を個別に削除する

各パーティションの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「ストレージ設定」画面で、削除したいストレージ設定の右に表示されている「…」をクリックし、表示された操作メニューから「削除」を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 「削除」 ボタンをクリックします。



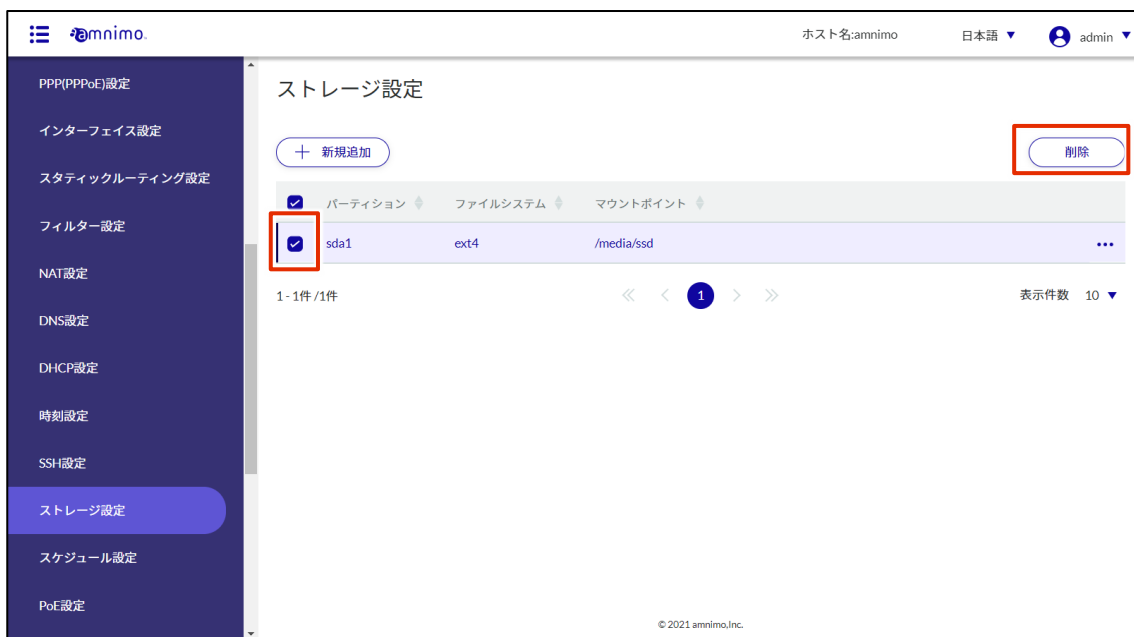
ストレージ設定が削除されます。

ストレージ設定を複数選択して削除する

削除したいストレージ設定にチェックを付けてから削除する方法です。複数のストレージ設定を一括で削除する際に便利です。ストレージ設定を1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「ストレージ設定」画面で、削除したいストレージ設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [削除] ボタンをクリックします。



選択したストレージ設定が削除されます。

2.21 スケジュールを設定する



グループ設定にて権限が付与されていないタブは表示されません。

スケジュールは、「一般」、「キープアライブ」、「ユーザー定義」というスケジュールタイプに分類されます。キープアライブタイプのスケジュールでは、指定の送信先ホストに ping リクエストを送信し、ping が失敗した場合にタスクのアクションを実行します。ユーザー定義タイプのスケジュールでは、ユーザーが設定したコマンドを実行します。

2.21.1 スケジュールの一覧を表示する

スケジュールを設定するための「スケジュール設定」画面を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「[詳細設定・制御] - [スケジュール設定]」をクリックします。
「スケジュール設定」画面が表示されます。



- 2 [一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。
スケジュールタイプが切り替わります。



スケジュール一覧の「タスク名」「有効/無効」「時刻」「アクション」([ユーザー定義] タブの場合はコマンド)をクリックすることで、それぞれの降順/昇順でスケジュールを並び替えることができます。

| <input type="checkbox"/> | タスク名 | 有効/無効 | 時刻 | アクション |
|--------------------------|-------|-------|-------------------|-----------------|
| <input type="checkbox"/> | task3 | ● 有効 | 3月 1日 (月) 5時 0分 | モバイル回線切断 |
| <input type="checkbox"/> | task2 | ● 有効 | 2月 25日 (木) 8時 30分 | PPP回線切断 |
| <input type="checkbox"/> | task1 | ● 有効 | 2月 20日 (土) 12時 0分 | Software reboot |

2.21.2 スケジュールを追加する

新規でスケジュールを追加します。



以下の手順では、「キープアライブ設定の追加」画面を使用して説明しています。

操作手順

- 1 「スケジュール設定」画面で、追加するスケジュールタイプに応じて [一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは「ユーザー定義」タブをクリックします。



- 2 [新規追加] ボタンをクリックします。



スケジュールタイプに応じて、「スケジュール設定の追加」画面、「キープアライブ設定の追加」画面または「ユーザー定義設定の追加」画面が表示されます。

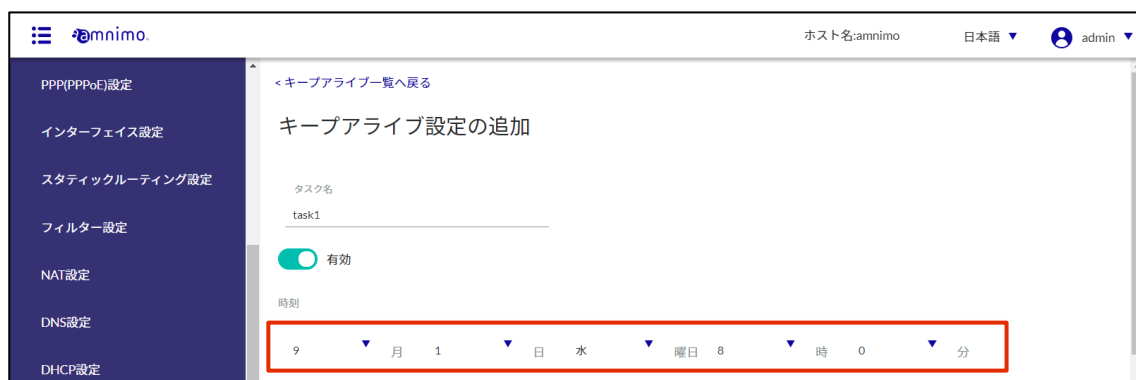
- 3 タスク名を入力します。



4 トグルをスライドし、スケジュールを有効に設定します。



5 タスクを実行する時刻を設定します。



6 アクションの設定をします。

① アクションを選択します。



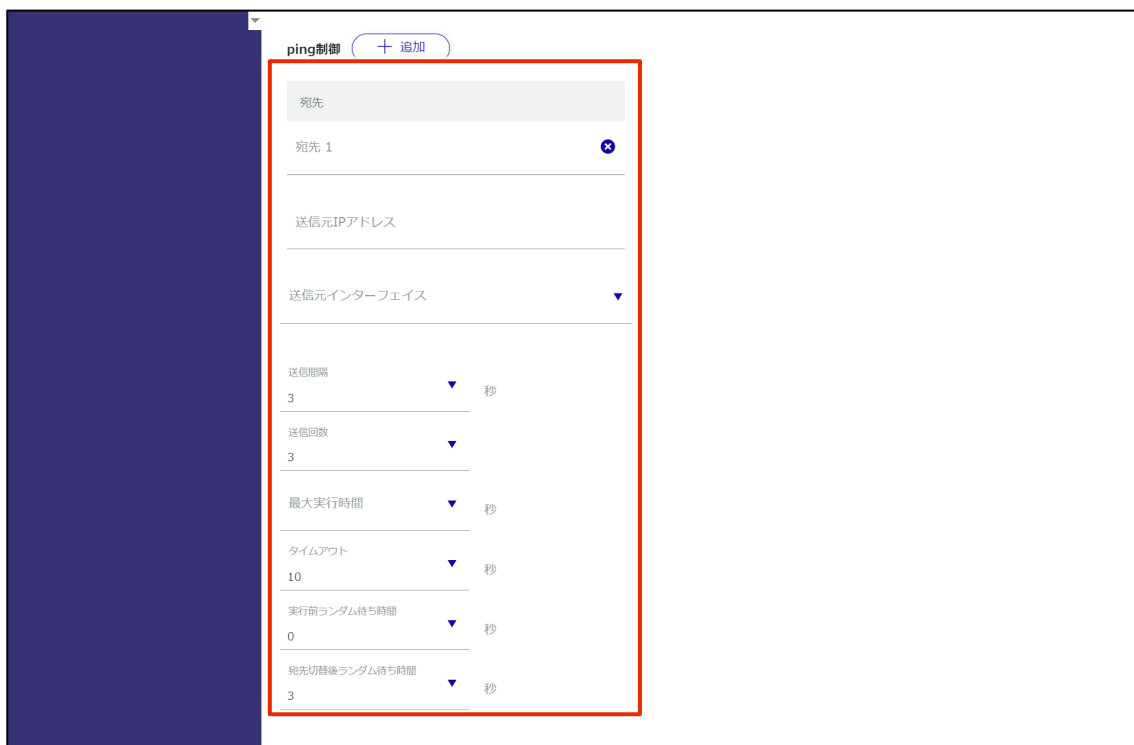
- スケジュールタイプによって選択可能なアクションは異なります。
- ➔ アクションの設定項目については、『2.21.3 スケジュールの設定項目』を参照してください。
- 「ユーザー定義設定の追加」画面では、実行したいコマンドを入力します。

② ①で選択したアクションに応じた設定をします。



7 キープaliveタイプのスケジュールの場合、「ping 制御」の設定をします。

→ ping 制御の設定項目については、『2.21.3 スケジュールの設定項目』を参照してください。








8 [設定] をクリックします。








スケジュールが追加されます。

2.21.3 スケジュールの設定項目

| 項目 | 内容 |
|-----------------|--|
| タスク名 | タスク名を入力します。 タスク名は 32 文字以内の英数字で設定可能です。 |
| 有効/無効 | トグルを左右にスライドして、タスクの有効化と無効化を切り替えます。 |
| 時刻 | タスク実行の日時を指定します。 |
| アクション | 実行するタスクの内容を選択します。 |
| Software reboot | <p>ソフトウェアリブートを実行します。 追加で以下の設定をする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再起動モード 再起動モードを選択する必要があります。 normal : タスク実行日時にソフトウェアリブートを実行 uptime : タスク実行日時にソフトウェアリブートを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります(経過するまではソフトウェアリブートは実行されません)。 random : タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点でソフトウェアリブートを実行 ※ここでの待ち時間は、0~ランダム実行時間の間のランダムな秒数(86400を設定した場合0~86399秒の範囲)です。 ● 起動経過時間(秒)、ランダム実行時間(秒) 再起動モード(uptime / random)を選択した場合、任意の時間を設定します。 起動経過時間 : 3600~604800 ランダム実行時間 : 60~ 86400 ● フェイルセーフ 使用する場合はチェックを付けます。 ● 再起動 フェイルセーフで再起動する最大回数を指定します。 <p> 再起動モードは、スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。 再起動モードの random, uptime のオプションは、V1.11.0 以降のファームウェアで対応しています。</p> |

| 項目 | 内容 |
|-----------------|---|
| Hardware reboot | <p>ハードウェアリブートを実行します。 追加で以下の設定をする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 再起動モード 再起動モードを選択する必要があります。 normal：タスク実行日時にハードウェアリブートを実行 uptime：タスク実行日時にハードウェアリブートを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります(経過するまではハードウェアリブートは実行されません)。 random：タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点でハードウェアリブートを実行 ※ここでの待ち時間は、0～ランダム実行時間の間のランダムな秒数(86400を設定した場合0～86399秒の範囲)です。 ● 起動経過時間(秒)、ランダム実行時間(秒) 再起動モード(uptime / random)を選択した場合、任意の時間を設定します。 起動経過時間：3600～604800 ランダム実行時間：60～86400 ● フェイルセーフ 使用する場合はチェックを付けます。 ● 再起動 フェイルセーフで再起動する最大回数を指定します。 <p> 再起動モードは、スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。 再起動モードの random, uptime のオプションは、V1.11.0 以降のファームウェアで対応しています。</p> |
| PoE reset | <p>PoE 給電リセットを実行します。 追加で以下の設定をする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インターフェイス PoE インターフェイス名を指定します。 ● ダウンタイム PoE 給電停止時間を入力します。 <p> IoT ルーター屋内タイプ(AR10)、コンパクトルーター屋内タイプ(AC10)、無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋内タイプ(AC15)は PoE に対応していないため、PoE reset は表示されません。</p> |
| PPP 回線接続 | <p>PPP 回線を接続します。 PPP のインターフェイスを選択する必要があります。</p> <p> スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。</p> |
| PPP 回線切断 | <p>PPP 回線を切断します。</p> |
| モバイル回線接続 | <p>モバイル回線を接続します。 モバイルのインターフェイスを選択する必要があります。</p> <p> スケジュールタイプが「一般」の場合にのみ選択できます。 通信モジュールが無い機器では、設定しても利用できません。</p> |

| 項目 | 内容 |
|-------------|--|
| モバイル回線切断 | <p>モバイル回線を切断します。</p> <p>モバイルのインターフェイスを選択する必要があります。</p> <p>「電源制御」にチェックを付けると、モバイル回線が切断されたときに、通信モジュールがリセットされます。</p> <p> 通信モジュールが無い機器では、設定しても利用できません。</p> |
| 無線 LAN リセット | <p>無線 LAN リセットをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リセットモード リセットモードを選択する必要があります。 normal：タスク実行日時に無線 LAN リセットを実行 uptime：タスク実行日時に無線 LAN リセットを実行 ※直近の起動から、設定した起動経過時間を経過している必要があります（経過するまでは無線 LAN リセットは実行されません）。 random：タスク実行日時から、設定したランダム実行時間が経過した時点で無線 LAN リセットを実行 ※ここでの待ち時間は、0～ランダム実行時間の中のランダムな秒数（86400 を設定した場合 0～86399 秒の範囲）です。 ● 起動経過時間（秒）、ランダム実行時間（秒） 再起動モード（uptime / random）を選択した場合、任意の時間を設定します。 起動経過時間：3600～604800 ランダム実行時間：60～86400 <p> スケジュールタイプが「キープアライブ」の場合は、リセットモードの選択ができません。 無線 LAN 搭載コンパクトルーターにのみ表示されます。</p> |
| IPsec 切断 | <p>IPSec を切断します。</p> <p>IPSec の設定名を入力する必要があります。</p> <p>スケジュールタイプが「キープアライブ」かつ編集時にのみ選択できます。</p> |
| コマンド | <p>設定した任意のコマンドを実行します</p> <p> スケジュールタイプが「ユーザー定義」の場合にのみ設定します。 エッジゲートウェイ、AI エッジゲートウェイ、IoT ルーターにのみ表示されます。</p> |
| ping 制御 | <p>ping リクエストの設定をします。</p> <p> スケジュールタイプが「キープアライブ」の場合にのみ設定します。</p> |
| 宛先 | <p>ping リクエストの送信先ホストを入力します。</p> <p>ping の入力はカンマ区切りで複数設定可能です。</p> <p> 複数の宛先を設定した場合、全ての宛先において ping 失敗が発生した場合にアクションが実行されます。 エッジゲートウェイ（AG10、AG20）、無線 LAN 搭載コンパクトルーター（AC15、AC25）は、「追加」ボタンをクリックすることで複数の宛先が設定できます。</p> |
| 送信元 IP アドレス | ping リクエストの送信元の IP アドレスを入力します。 |
| 送信元インターフェイス | ping リクエストの送信元のインターフェイスを指定します。 |

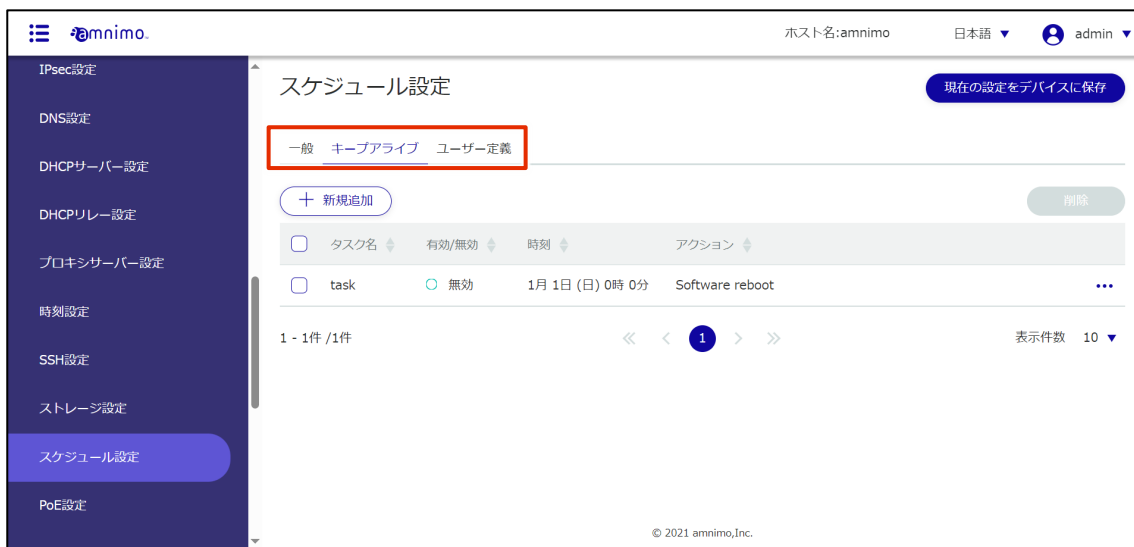
| 項目 | 内容 |
|---------------|-----------------------------|
| 送信間隔 | ping リクエストを送信する間隔を指定します。 |
| 送信回数 | 送信する ping リクエストの最大数を指定します。 |
| 最大実行時間 | ping 最大実行時間を指定します。 |
| タイムアウト | ping リクエストのタイムアウト時間を設定します。 |
| 実行前ランダム待ち時間 | ping 送信実行前のランダム待ち時間を設定します。 |
| 宛先切替後ランダム待ち時間 | ping 送信先切替時のランダム待ち時間を設定します。 |
| フェイルセーフ | チェックを入れることでフェイルセーフが有効になります。 |
| 再起動 | フェイルセーフで再起動する回数を指定します。 |
| リトライ | フェイルセーフでリトライする回数を指定します。 |

2.21.4 スケジュールを編集する

登録されているスケジュールを編集します。

操作手順

- 1 「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。



- 2 編集したいスケジュールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



「スケジュール設定の編集」画面が表示されます。

3 スケジュール情報を編集して、[設定] をクリックします。

➔ 設定項目の詳細については、『2.21.3 スケジュールの設定項目』を参照してください。



スケジュールが更新され、スケジュールの一覧が表示されます。

2.21.5 スケジュールを削除する

登録されているスケジュールの削除には、スケジュールの操作メニューから個別に削除する方法と、削除したいスケジュールをすべて選択してから削除する方法があります。

スケジュールを個別に削除する

スケジュールの操作メニューから削除を選択する方法です。

操作手順

- 1 「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。



- 2 削除したいスケジュールの右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [削除] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

3 [削除] ボタンをクリックします。



スケジュールが削除されます。

スケジュールを複数選択して削除する

削除したいスケジュールにチェックを付けてから削除する方法です。複数のスケジュールを一括で削除する際に便利です。スケジュールを1つだけ選択して削除することもできます。

操作手順

- 1 「スケジュール設定」画面で、[一般] タブ、[キープアライブ] タブまたは [ユーザー定義] タブをクリックします。



- 2 削除したいスケジュールの左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[削除] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

3 [削除] ボタンをクリックします。



選択したスケジュールが削除されます。

2.22 PoE 設定をする



IoT ルーター屋内タイプ (AR10)、コンパクトルーター屋内タイプ (AC10)、無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋内タイプ (AC15) には、この機能はありません。

表示されるインターフェイスは以下の通りです。

- ・ AI エッジゲートウェイ : lan0~lan3
- ・ エッジゲートウェイ : lan0~lan3
- ・ IoT ルーター屋外タイプ (AR20) : eth0, eth1
- ・ 無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋外タイプ (AC25) : lan1

本製品の PoE 設定をします。

ここでは、各インターフェイスにおける PoE 設定状況の確認、編集、初期化の操作について説明します。

2.22.1 PoE 設定の一覧を表示する

PoE 設定の一覧を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [PoE 設定] をクリックします。
「PoE 設定」画面に、各インターフェイスの PoE 設定状況が表示されます。



PoE 一覧の「インターフェイス」と「有効/無効」をクリックすることで、インターフェイスまたは有効/無効の降順/昇順で PoE 設定を並び替えることができます。

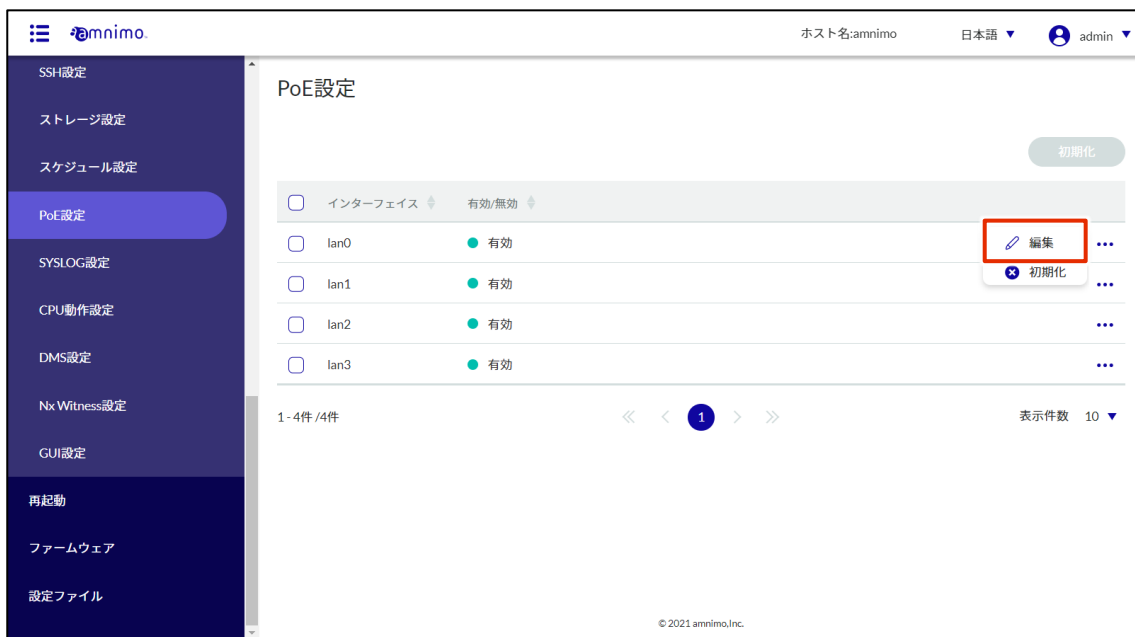
| インターフェイス | 有効/無効 | |
|----------|-------|-----|
| lan0 | 有効 | ... |
| lan1 | 有効 | ... |
| lan2 | 有効 | ... |
| lan3 | 有効 | ... |

2.22.2 PoE 設定を編集する

登録されている PoE 設定を編集します。

操作手順

- 1 「PoE 設定」画面で、編集したい PoE 設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [編集] を選択します。



- 2 「PoE 設定の編集」画面で、必要な項目を設定します。

- 1 トグルをクリックして有効/無効を選択します。
- 2 起動時の遅延時間（秒）を、0～3600 で指定します。
- 3 PoE ポートの電流制限値を設定します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。



PoE 設定の情報が更新され、一覧が表示されます。

2.22.3 PoE 設定を初期化する

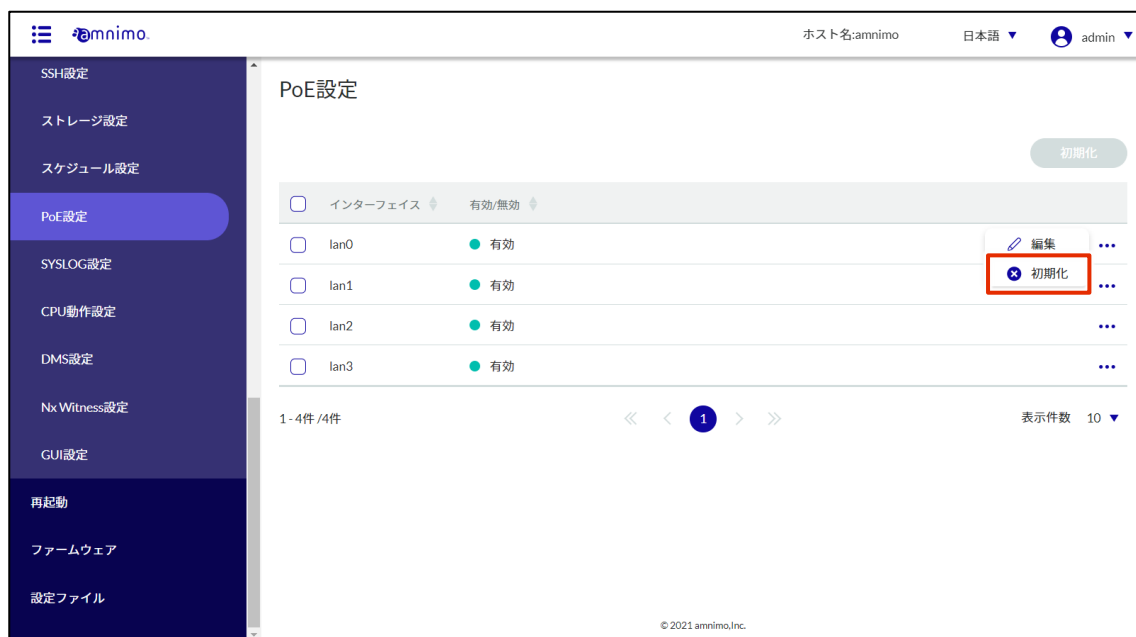
PoE 設定の初期化には、PoE 設定の操作メニューから個別に初期化する方法と、初期化したい PoE 設定をすべて選択してから初期化する方法があります。

PoE 設定を個別に初期化する

PoE 設定のメニューから初期化を選択する方法です。

操作手順

- 1 「PoE 設定」画面で、初期化したい PoE 設定の右に表示されている [...] をクリックし、表示された操作メニューから [初期化] を選択します。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [初期化] ボタンをクリックします。



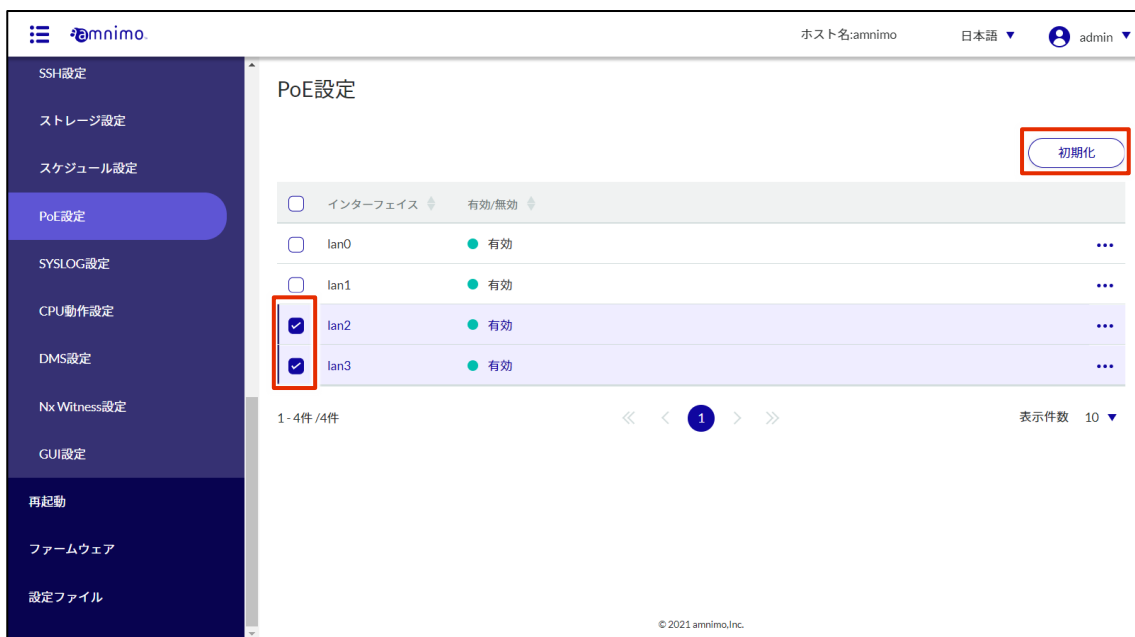
PoE 設定が初期化されます。

PoE 設定を複数選択して初期化する

初期化したい PoE 設定にチェックを付けてから初期化する方法です。複数の PoE 設定を一括で初期化する際に便利です。PoE 設定を 1 つだけ選択して初期化することもできます。

操作手順

- 1 「PoE 設定」画面で、初期化したい PoE 設定の左に表示されているチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、[初期化] ボタンをクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [初期化] ボタンをクリックします。



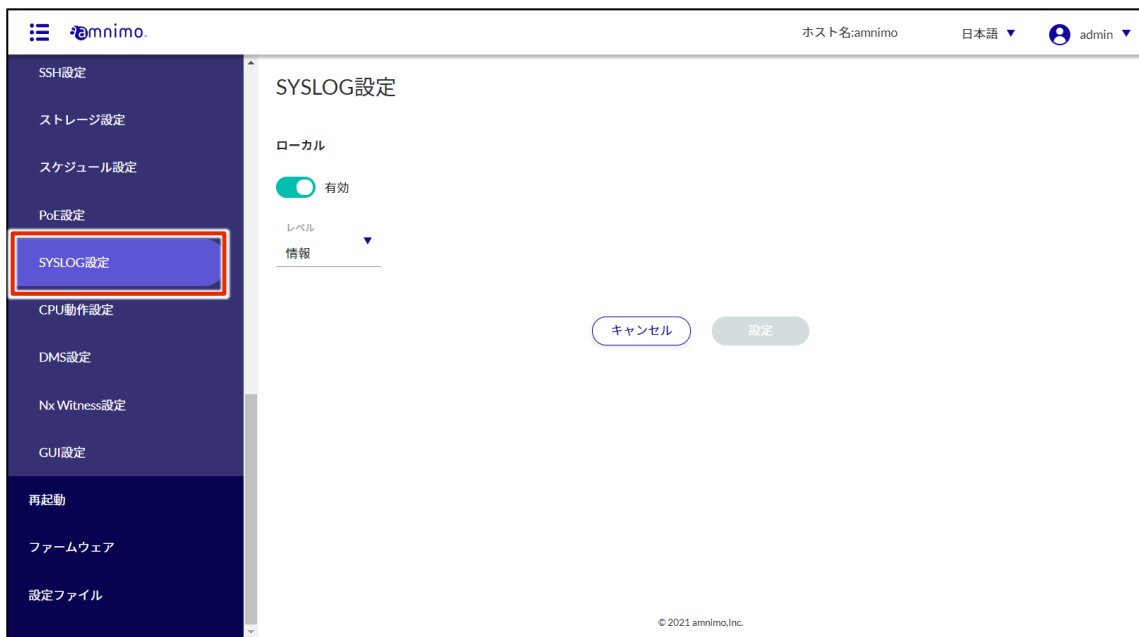
選択した PoE 設定が初期化されます。

2.23 SYSLOG の設定をする

本製品の SYSLOG を保存するための設定をします。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [SYSLOG 設定] をクリックします。
「SYSLOG 設定」画面が表示されます。



- 2 トグルをスライドし、SYSLOG を有効に設定します。



3 出力するログのレベルを選択します。



4 [設定] ボタンをクリックします。



SYSLOG の設定が行われます。

2.24 CPU 動作設定をする



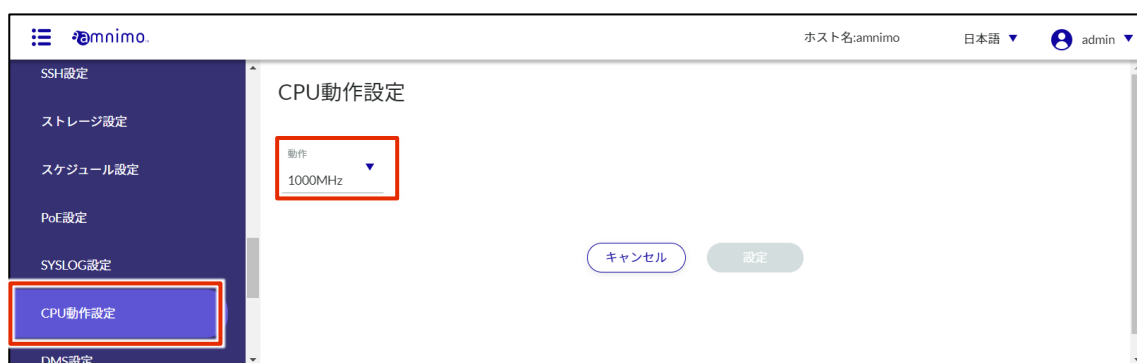
AI エッジゲートウェイ (amnimo X シリーズ)、コンパクトルーター (amnimo C シリーズ) には、この機能はありません。

2.24.1 CPU 動作設定を表示する

CPU 動作設定を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [CPU 動作設定] をクリックします。
「CPU 動作設定」画面に、設定されている CPU 動作周波数が表示されます。



2.24.2 CPU 動作設定をする

CPU 動作設定をします。

操作手順

- 1 「CPU 動作設定」画面で、[動作] ボタンをクリックします。
設定したい CPU 動作周波数を選択し、[設定] をクリックします。



CPU 動作設定の情報が更新されます。

2.25 DMS 設定をする

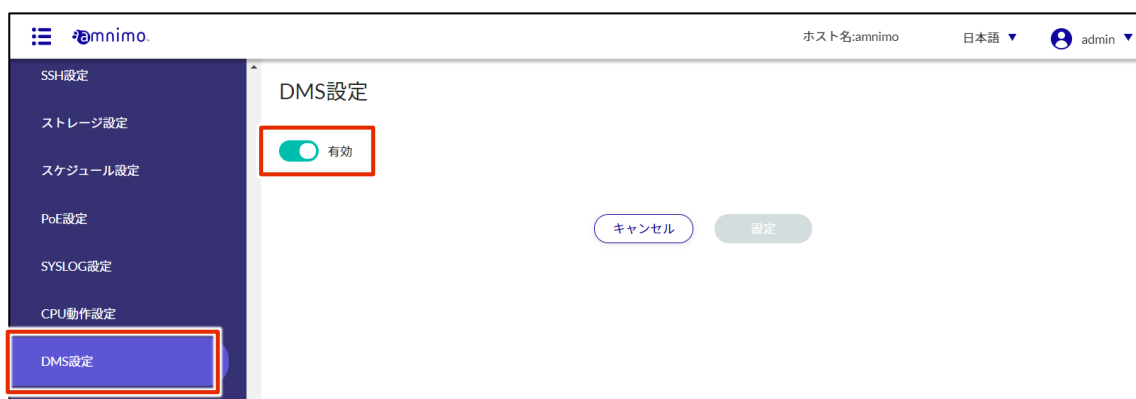
デバイス管理システムを使用するための設定をします。

2.25.1 DMS 設定を表示する

DMS 設定を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [DMS 設定] をクリックします。
「DMS 設定」画面に、現在の DMS 設定状況が表示されます。



2.25.2 DMS 設定を有効化/無効化する

DMS 設定を有効化/無効化します。

操作手順

- 1 「DMS 設定」画面で、トグルをクリックし[有効]または[無効]に変更し、「設定」ボタンをクリックします。



DMS 設定の情報が更新されます。

2.26 Nx Witness 設定をする



IoT ルーター（amnimo R シリーズ）、コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）には、この機能はありません。

本製品の Nx Witness 設定をします。

ここでは、Nx Witness 設定の変更、保存、復帰の操作について説明します。

2.26.1 Nx Witness 設定を表示する

Nx Witness 設定を表示します。

操作手順

- 1 サイドメニューの「詳細設定・制御」 - 「Nx Witness 設定」をクリックします。
「Nx Witness 設定」画面に、現在の Nx Witness 設定状況が表示されます。



2.26.2 Nx Witness 設定を変更する

Nx Witness 設定を変更します。

操作手順

- 1 「Nx Witness 設定」画面で Nx Witness 設定を編集します。
 - ① トグルをクリックして有効/無効を選択します。
 - ② ポート番号を指定します。デフォルト値は 7001 が設定されています。
 - ③ Nx Witness に設定した admin のパスワードを入力します。

設定が完了したら [設定] をクリックします。

The screenshot displays the 'Nx Witness設定' (Nx Witness Settings) page. The interface includes a sidebar with navigation options: SSH設定, ストレージ設定, スケジュール設定, PoE設定, SYSLOG設定, CPU動作設定, DMS設定, Nx Witness設定 (highlighted), and GUI設定. The main content area shows the 'Nx Witness設定' title, a '最終保存日時' (Last saved time) of 2021-08-12T16:19:58+9:00, and buttons for 'Nx Witnessの設定を復元' and 'Nx Witnessの設定を保存'. A toggle switch is set to '有効' (Enabled). Below this are input fields for 'ポート番号' (Port Number) with the value '7001' and 'パスワード' (Password) with masked characters. At the bottom right, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Apply/Save).

Nx Witness 設定の情報が更新されます。

2.26.3 Nx Witness 設定を保存する

Nx Witness 設定を保存します。



この機能を利用するには、あらかじめ NxWitness のパスワードが正しく設定されている必要があります。

パスワードが正しく設定されていない状態で実施するとエラーメッセージが表示されますのでご注意ください。

操作手順

- 1 「Nx Witness 設定」画面で、[Nx Witness の設定を保存]をクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [保存する] ボタンをクリックします。



Nx Witness 設定が保存され、画面左上の最終保存日時が更新されます。

2.26.4 Nx Witness 設定を読み込む

保存されている Nx Witness 設定を読み込みます。

操作手順

- 1 「Nx Witness 設定」画面で、[Nx Witness の設定を復帰]をクリックします。



「確認」画面が表示されます。

- 2 [保存] ボタンをクリックします。



保存されている Nx Witness 設定が読み込まれます。

2.27 remote.it の設定をする

本製品にて remote.it を使用するための設定をします。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [remote.it 設定] をクリックします。
「remote.it 設定」画面が表示されます。



- 2 トグルをスライドし、remote.it を有効に設定します。



- 3 エッジゲートウェイ / IoT ルーターの場合は、[設定]をクリックします。コンパクトルーターの場合は、以下の注意事項の作業を実施します。



コンパクトルーター（amnimo C シリーズ）の場合、レジストレーションコードを登録する必要があります。

レジストレーションコードは、別途 remote.it の Web ページから取得する必要があります。

➔ 設定方法については、『[amnimo C シリーズ コンパクトルーター スタートアップガイド](#)』などを参照してください。



なお、レジストレーションコードを入力せずに [設定] をクリックすることで、登録済のレジストレーションコードを削除することが可能です。

2.28 GUI の設定をする

本書で説明している GUI 設定画面に関する設定をします。

操作手順

- 1 サイドメニューの [詳細設定・制御] - [GUI 設定] をクリックします。
「GUI 設定」画面が表示されます。



- 2 GUI の設定をします。

- 1 プロトコルとして「HTTP」または「HTTPS」を選択します。
- 2 ポート番号を入力します。



- ポート番号は、1～65535 の範囲で設定することができます。
- HTTP では標準で 80 番ポートを、HTTPS では 443 番ポートを使用します。
ポート番号を変更した場合、クライアントはそのポート番号を指定して接続する必要があります。
そのため、注意が必要です。



4 [設定] をクリックします。



GUI の設定が行われます。

改訂履歴

| 版数 | 発行日 | 改訂内容 |
|------|-------------|---|
| 初版 | 2021年4月1日 | 初版発行 |
| 第2版 | 2021年9月10日 | ファームウェア V 1.3.0 リリースによる機能追加・仕様変更のため。 <ul style="list-style-type: none">● [運用情報]-[インターフェイス]の追加● [運用情報]-[ルーティング]の追加● [運用情報]-[モバイル通信]の追加● [運用情報]-[ストレージ]の追加● [運用情報]-[PoE]の追加● [詳細設定]-[PPP(PPPoE)設定]の追加● [詳細設定]-[インターフェイス設定]の追加● [詳細設定]-[スタティックルーティング設定]の追加● [詳細設定]-[フィルター設定]の追加● [詳細設定]-[NAT 設定]の追加● [詳細設定]-[DNS 設定]の追加● [詳細設定]-[DHCP 設定]の追加● [詳細設定]-[ストレージ設定]の追加● [詳細設定]-[PoE 設定]の追加● [詳細設定]-[CPU 動作設定]の追加● [詳細設定]-[DMS 設定]の追加● [詳細設定]-[Nx Witness 設定]の追加 |
| 第3版 | 2021年10月18日 | ファームウェア V 1.4.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● 屋外タイプエッジゲートウェイ、屋外タイプ IoT ルーターを対象機器として追加 |
| 第4版 | 2022年5月1日 | ファームウェア V 1.5.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● [運用情報]-[DHCP リース状況]の追加● [運用情報]-[接点変化履歴]の追加 |
| 第5版 | 2022年7月1日 | ファームウェア V 1.6.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● コンパクトルーターに関連する項目に追記 |
| 第6版 | 2022年10月1日 | コンパクトルーター用ファームウェア V 1.7.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● [運用情報]-[IPsec]の追加● [詳細設定]-[IPsec 設定]の追加● [詳細設定]-[DHCP リレー設定]の追加● [詳細設定]-[remote.it 設定]の追加 |
| 第7版 | 2022年11月28日 | コンパクトルーター用ファームウェア V 1.8.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● [詳細設定]-[グループ設定]の追加● [詳細設定]-[プロキシサーバー設定]の追加 |
| 第8版 | 2023年1月 | エッジゲートウェイ・IoT ルーター用ファームウェア V 1.8.2 リリースによる機能追加のため。 |
| 第9版 | 2023年6月14日 | コンパクトルーター用ファームウェア V 1.10.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● 屋内タイプ無線 LAN 搭載コンパクトルーターを対象機器として追加 |
| 第10版 | 2023年6月30日 | コンパクトルーター (AC10) 用ファームウェア V 1.11.0 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none">● スケジュール設定に再起動モードの選択を追加 |

| 版数 | 発行日 | 改訂内容 |
|--------|------------------|--|
| 第 11 版 | 2023 年 9 月 1 日 | コンパクトルーター用ファームウェア V 1.12.0 リリースによる機能追加のため。 無線 LAN 搭載コンパクトルーター屋外タイプを対象機器として追加 |
| 第 12 版 | 2023 年 9 月 29 日 | amnimo C シリーズ ファームウェア V1.13.0 リリース、amnimo G/R シリーズ ファームウェア V1.9.7 に伴い、ファームウェアのバージョンを最新のものに更新。 |
| 第 13 版 | 2023 年 10 月 24 日 | amnimo G/R シリーズ ファームウェア V1.9.8 に伴い、ファームウェアのバージョンを最新のものに更新。 |
| 第 14 版 | 2023 年 11 月 16 日 | amnimo G シリーズ ファームウェア V2.1.0 リリースによる表記変更、機能変更のため。 <ul style="list-style-type: none"> ● 時刻設定（手動設定）の NTP 同期の表記変更 ● スケジュール設定ーキープアライブ設定の ping 宛先を複数設定可能に変更 |
| 第 15 版 | 2024 年 1 月 24 日 | AC15/AC25 ファームウェア V2.3.0 リリースによる表記変更、機能変更のため。 <ul style="list-style-type: none"> ● モバイル通信画面に通信継続時間を追加 ● 機器情報画面にモバイル FW バージョンを表示するように変更 ● 時刻設定（手動設定）の NTP 同期の表記変更 ● スケジュール画面のキープアライブ設定の追加・編集画面の宛先の設定方法を変更 ● インターフェイス設定の追加・編集画面 (br0,lan0,lan1,wlan0,wlan1) の IP アドレスの設定方法が変更 |
| 第 16 版 | 2024 年 2 月 1 日 | AC15/AC25 ファームウェア V2.3.0 リリースによるファームウェアダウンロード URL 変更のため。 |
| 第 17 版 | 2024 年 2 月 19 日 | AI エッジゲートウェイを対象機器として追加。 |
| 第 18 版 | 2024 年 3 月 27 日 | AG/AX/AR ファームウェア V2.4.2 リリースによる機能追加のため。 <ul style="list-style-type: none"> ● スケジュール設定にユーザー定義タブを追加 |
| 第 19 版 | 2024 年 4 月 17 日 | AC10/AC15/AC25 ファームウェア V2.5.0 リリースによる表記変更、機能変更のため。 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定ファイルの保存が未完了の場合に、その旨を表示 ● アムニモ診断情報のダウンロードを追加 ● PPP (PPPoE) 設定の対象機器に AC10 を追加 ● AC10 のスケジュール設定でアクションとして PPP 回線接続と PPP 回線切断を追加 ● スケジュールの設定項目として、無線 LAN リセット、送信元インターフェイス、リトライを追加 |



エッジゲートウェイシリーズ GUI ユーザーズマニュアル
2024年4月17日 第19版

IM AMD03A02-01JA

All Rights Reserved. Copyright © 2021, amnimo Inc